

「使い捨てプラスチック等に関する消費者意識調査」
報告書

令和元年9月

富 山 県

目次

I 調査の概要	2
1 調査の目的	2
2 調査概要	2
3 調査結果の分析手法	3
4 調査結果のみかた	3
II 調査結果	4
1 各設問の集計結果と回答率	4
2 回答者の地域属性	8
3 問1 回答者の性別、年代、家族構成	9
4 問2 普段している「プラスチックごみの削減の取組み」	10
5 問3 小売店・飲食店等が提供する「プラスチックに関するサービス」への認識	16
6 問4 小売店・飲食店等が実施する「使い捨てプラスチックの削減の取組み」への協力意向	22
7 問5 プラスチック・廃棄物に関する言葉に対する認知度	28
8 問4回答と問5回答との相関分析による仮説検証	38
9 問2、問3、問4ごとのご意見	46
III まとめ	59
1 普段行っているプラスチックごみ削減の取組み	59
2 小売業・飲食店等におけるプラスチックに関するサービスに対する認識	60
3 小売店・飲食店等の使い捨てプラスチックの削減の取組みへの協力意向	60
4 プラスチック・廃棄物に関する言葉の認知度	61
5 言葉の認知度と協力意向との間の相関	61
資料 調査票	62

I 調査の概要

1 調査目的

富山県では、これまでレジ袋無料配布廃止やとやまエコ・ストア制度での食品トレイやペットボトル等の回収などに、県民、事業者、行政が連携して取り組んできた。

近年、マイクロプラスチックなど海洋ごみ問題への世界的な関心が高まるなか、国ではG20大阪サミットに向けて5月に「プラスチック資源循環戦略」を策定したところであり、今後、レジ袋有料化義務化などの取組みが強化される見込みである。

このため、県が今後のプラスチック削減対策を検討する際の基礎資料とするため、県内の世帯を対象に使い捨てプラスチック等の利用状況や削減意識をアンケート調査により把握する。

2 調査概要

●調査地域：富山県全域

●調査対象：富山県在住の1,500人

●抽出方法

性別（男・女）、年代（20代・30代・40代・50代・60代～）の各区分の調査数を150人とし、市町村の人口比で案分して、下表のとおり抽出人数を決定した。調査対象者の住所、氏名については、住民基本台帳法第11条の規定に基づき、富山県が各市町村の住民基本台帳の一部の写しを閲覧して、無作為に収集した。

【調査対象者の構成】

市町村	男 20代	男 30代	男 40代	男 50代	男 60代～	女 20代	女 30代	女 40代	女 50代	女 60代～	合計
富山市	68	63	62	60	56	67	64	62	60	55	617
高岡市	22	23	24	24	25	23	23	23	24	25	236
魚津市	6	6	6	6	6	5	6	6	6	6	59
氷見市	5	6	6	6	8	5	5	6	7	8	62
滑川市	5	5	5	5	4	5	5	5	4	5	48
黒部市	6	6	6	6	6	5	6	5	6	6	58
砺波市	6	7	7	7	6	7	7	7	7	7	68
小矢部市	4	4	4	4	5	4	4	4	4	5	42
南砺市	5	6	6	7	8	6	6	6	7	8	65
射水市	13	13	13	12	13	13	13	14	12	12	128
舟橋村	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
上市町	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	30
立山町	3	4	4	4	4	3	3	4	4	4	37
入善町	3	3	3	4	4	3	3	3	4	4	34
朝日町	1	1	1	2	2	1	1	1	2	2	14
合計	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	1,500

●調査期間：令和元年7月4日（木）～ 8月9日（金）

●調査方法：調査対象者への郵送配布・郵送回収（無料返信封筒／代金後納郵便）

● 配布数及び回収数・率

配布数（件）	有効回答数（件）	有効回答率（％）
1,500	666	44.4%

【回答者の構成】

市町村	男 20代	男 30代	男 40代	男 50代	男 60代～	女 20代	女 30代	女 40代	女 50代	女 60代～	合計
富山市	10	24	12	34	32	22	34	38	32	32	270
高岡市	3	5	8	9	12	9	16	16	14	18	110
魚津市	1	0	2	2	2	0	4	4	1	5	21
氷見市	1	1	3	1	1	1	0	2	4	4	18
滑川市	1	2	2	2	2	0	2	3	4	3	21
黒部市	0	3	2	4	6	1	1	3	4	2	26
砺波市	0	1	3	4	3	2	2	6	3	5	29
小矢部市	0	3	0	3	2	1	1	0	2	4	16
南砺市	3	1	2	3	4	1	1	4	2	3	24
射水市	2	4	4	6	11	1	5	8	7	11	59
舟橋村	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
上市町	0	2	1	0	2	1	3	1	2	2	14
立山町	1	2	3	3	1	1	1	0	5	3	20
入善町	0	0	0	1	3	1	2	1	6	3	17
朝日町	0	0	0	0	1	1	1	2	2	0	7
合計	22	48	42	72	82	42	74	88	88	95	653

※性別、年代、居住市町村のいずれにも無効回答がない回答者を集計

3 調査結果の分析手法

- ・ 回答結果の分析に当たり、性別、年代、家族構成、居住市町村の各項目とのクロス集計表を作成し、クロス分析を行った。また必要に応じ、設問間でのクロス集計およびクロス分析も行った。
- ・ 2変量解析であるクロス分析を補うため、必要に応じ、クロス集計表のデータを用い、コレスポンデンス分析（多変量解析）を行った。
- ・ コレスポンデンス分析は、クロス集計表の表頭カテゴリーと表側カテゴリーとの相関を最大にする解析手法である。計算結果は散布図で表現され、プロットされた点同士の距離の遠近が、相互の関係の強弱を示す。距離が近いほど相関関係が強いと判断し、距離が離れるほど相関は低いと判断する。
- ・ 回答結果の分析に当たり、全国の趨勢との比較検討を行うため、環境省の消費者リデュース取組意向調査結果（2018）を用い、本調査結果とのクロス分析およびコレスポンデンス分析を行った。

4 調査結果のみかた

- ・ 回答結果の割合「％」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第1位で四捨五入したものである。
- ・ 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていないものである。
- ・ 図表中において「無効」とあるものは、回答の判別が困難なものである。
- ・ 図表中の「N」は、集計対象者総数（母集団）を表している。また「n」は、アンケート調査の回答者数（標本）を表している。

II 調査結果

1 各設問の集計結果と回答率

1) 問1の集計結果と回答率

問1					
あなたの性別・年代・家族構成を教えてください。					
性別		年代		家族構成	
男	267	20代	64	一人暮らし	43
女	388	30代	122	夫婦のみ	118
無回答	6	40代	130	二世帯同居	349
計	661	50代	165	三世帯同居	100
回答率	44%	60代～	185	その他	50
—	—	無回答	0	無回答	3
—	—	計	666	計	663
—	—	回答率	44%	回答率	44%

※無効回答は除く

2) 問2の集計結果と回答率

問2							
あなたが普段している「プラスチックごみの削減の取組み」を教えてください。【はい、いいえのどちらか1つを○で選択】 ((7)のみ OA (Open Answer))							
	(1) 買い物には、極力、マイバッグを持っていく。	(2) レジで袋が要らないときは、レジ袋をもらうのを断る。	(3) 外出する際は、マイボトルを持っていき、ペットボトル飲料をなるべく買わないようにする。	(4) 旅行や出張に出かける際は、自分の歯ブラシセットや髭剃りを持っていく。	(5) カフェ、ファストフード店等で、ストローをもらうのを断る。	(6) 雨天時には、傘とともに傘袋を持って出かける。	(7) その他、上記以外で普段している「プラスチックごみの削減の取組み」があれば、ご記入ください。
はい	563	582	276	431	101	78	—
いいえ	100	80	385	229	553	582	—
無回答	0	0	0	0	1	0	—
計	663	662	661	660	655	660	—
回答率	44%	44%	44%	44%	44%	44%	—

※無効回答は除く

3) 問3の集計結果と回答率

		はい	いいえ	無回答	計	回答率	
問 3	小売店・飲食店等が提供する「プラスチックに関するサービス」に対して、過剰と思うかどうかを教えてください。 【はい、いいえのどちらか1つを○で選択】 ((17)のみ OA (Open Answer))	(1)小売店のレジで、店員がレジ袋を、商品購入者に必要かどうか確認せずに入れる。	318	325	2	645	43%
		(2)小売店のレジで、店員が箸・フォーク・スプーンを、商品購入者に必要かどうか確認せずに入れる。	342	304	2	648	43%
		(3)食料品購入時に、使い捨てのおしぼりが付いてくる(店員が商品購入者に必要かどうか確認せずに入れる)。	348	297	2	647	43%
		(4)生鮮食品が使い捨ての食品トレイに入っている。	291	349	4	644	43%
		(5)小売店等で販売されている弁当容器の中で、おかずをさらにプラスチック製のカップに入れる。	335	305	3	643	43%
		(6)お寿司やお弁当にバラが入っている。	409	233	2	644	43%
		(7)小売店で量り売りしているものの脇に無料のプラスチック袋が置いてある。	216	418	2	636	42%
		(8)カフェ、ファストフード店等で、店員が商品購入者に必要かどうか確認せずにストローをつける。	290	349	2	641	43%
		(9)カフェ、ファストフード店等で飲料を購入した際、カップにフタをつける。	288	351	3	642	43%
		(10)贈答品のお菓子に、個数分のフォークやスプーンが入っている。	372	269	4	645	43%
		(11)衣料品店において、店員が商品購入者に必要かどうか確認せずに、ブランド名等が入ったショッピングバックに入れて商品を渡す。	261	380	2	643	43%
		(12)クリーニング店で、クリーニング済みの衣類等をハンガーにかけたりビニール袋に入れた状態で引き渡す。	274	369	3	646	43%
		(13)ホテル、旅館等で、無料のアメニティグッズ(歯ブラシセット、かみそり)が部屋に置いてある。	257	384	2	643	43%
		(14)街中やイベント等で、無料でうちわが配布される。	373	261	4	638	43%
		(15)通販等で購入した際に、商品よりもかなり大きな箱、包装で配送される。	529	115	2	646	43%
		(16)雨天時に、商店等の入り口で、プラスチック製の傘袋が提供される。	232	409	3	644	43%
		(17)その他、「プラスチックに関するサービス」で過剰だと思うものがあれば、ご記入ください。	—	—	—	—	—

※無効回答は除く

4) 問4の集計結果と回答率

			はい	いいえ	無回答	計	回答率
問 4	小売店・飲食店等が実施する「使い捨てプラスチックの削減の取組み」に対して、協力できると思うかどうかを教えてください。 【はい、いいえのどちらか1つを○で選択】 (20)のみ OA (Open Answer)	(1)スーパーのレジ袋を無料で配布しない(必要な場合は購入)。	606	39	2	647	43%
		(2)コンビニのレジ袋を無料で配布しない(必要な場合は購入)。	456	189	2	647	43%
		(3)ストロー、箸、フォーク、スプーンを無料で配布しない(必要な場合は購入)。	405	234	3	642	43%
		(4)使い捨てのおしぼりを無料で配布しない(必要な場合は購入)。	411	229	2	642	43%
		(5)生鮮食品の容器を、簡易包装(ビニール袋、ノントレイ)や紙製包装で提供する。	440	198	2	640	43%
		(6)生鮮食品の容器を、使い捨て食品トレイに代わり、繰り返し使用できるデポジット容器※で提供する。(※ 容器の預かり金を上乗せして販売し、使用后、所定の場所に返却された場合に預かり金を返す仕組みのこと。ビール瓶や一升瓶に導入されています。)	369	266	3	638	43%
		(7)小売店等で販売されている弁当容器のなかでおかずを別のカップに入れない。	475	166	2	643	43%
		(8)お寿司やお弁当にバランを入れない。	538	105	2	645	43%
		(9)小売店で量り売りしているものは、持参した容器に入れる(持参していない場合は容器を購入)。	373	260	5	638	43%
		(10)カフェ、ファストフード店等で飲料カップにフタをつけない(必要な場合は購入)。	436	205	2	643	43%
		(11)カフェ、ファストフード店等で持ち帰り用の飲料カップを無料で提供しない(必要な場合は購入)。	331	306	3	640	43%
		(12)イベントやお祭り会場の食品・飲料はリユース容器で提供する(空になった容器は専用の回収BOXに戻す)。	559	81	3	643	43%
		(13)贈答品のお菓子であっても、フォークやスプーンを無料で入れない(必要な場合は購入)。	491	152	2	645	43%
		(14)衣料品店においてショッピングバッグを無料で配布しない(必要な場合は購入)。	387	249	4	640	43%
		(15)クリーニング店のハンガー、袋を無料で配布しない(必要な場合は購入)。	380	259	5	644	43%
		(16)ホテル、旅館等で、アメニティグッズ(歯ブラシセット、かみそり)を部屋に無料で置かない(必要な場合は購入)。	307	335	2	644	43%
		(17)街中やイベント等で、うちわを無料で配布しない。	541	101	4	646	43%
		(18)通販等で注文された商品を、簡易包装で配送する。	590	54	2	646	43%
		(19)傘立てを設置して、プラスチック製の傘袋を配布しない。	484	159	4	647	43%
		(20)その他、「使い捨てプラスチックの削減の取組み」で協力できると思うものがあれば、ご記入ください。	—	—	—	—	—

※無効回答は除く

5) 問5の集計結果と回答率

	問5				
	最後に、次のプラスチック・廃棄物に関する言葉についてご存知か教えてください。				
	(1) 3R	(2) プラマーク	(3) SDGs	(4) 海洋プラスチックごみ	(5) マイクロプラスチック
言葉も意味も知っている	215	419	60	373	273
言葉は知っているが、意味は知らない	97	132	80	146	195
言葉も意味も知らない	342	105	510	135	184
無回答	1	1	1	1	1
計	655	657	651	655	653
回答率	44%	44%	43%	44%	44%

※無効回答は除く

2 回答者の居住地域属性

1. 居住地域別の回答者数（単位：人）

調査票の識別ナンバーを対象者の居住市町村ナンバー（※）と照合し、居住市町村ごとの回答状況を確認した。

回答者を居住市町村別で見ると、以下の通りで、富山市（41%）と高岡市（16%）、射水市（9%）で66%を占めていた。

一方それ以外の市町村は、有効回答者 659 人に占める構成比が5%以下で、回答者数もすべて50人を切っていた。特に舟橋村は1人であった。

富山市と高岡市は回答者が三桁に達しており、統計解析上の要件を満たしているが、それ以外の市町村の回答データに対する分析と考察の際、上記回答者数における状況を考慮し、分析と考察を行うこととする。

（※県内15市町村に対応する15のナンバーを付与）

表 1-1 回答者の居住地域ごとの家族構造別の分布

家族構成	富山市	高岡市	魚津市	氷見市	滑川市	黒部市	砺波市	小矢部市	南砺市	射水市	舟橋村	上市町	立山町	入善町	朝日町	計	構成比
一人暮らし	18	6	1	4	1	3	3	0	0	5	0	0	0	1	1	43	7%
夫婦のみ	59	16	2	1	3	7	3	4	4	11	0	1	0	5	1	117	18%
二世帯同居	152	56	12	4	16	13	13	9	7	31	1	7	15	11	2	349	53%
三世帯同居	28	21	5	8	1	2	6	1	9	8	0	4	5	0	2	100	15%
その他	15	12	1	1	1	1	4	3	4	4	0	2	0	0	2	50	8%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
計	272	111	21	18	22	26	29	17	24	59	1	14	20	17	8	659	
構成比	41%	16%	3%	3%	3%	4%	4%	3%	4%	9%	0%	2%	3%	2%	1%		

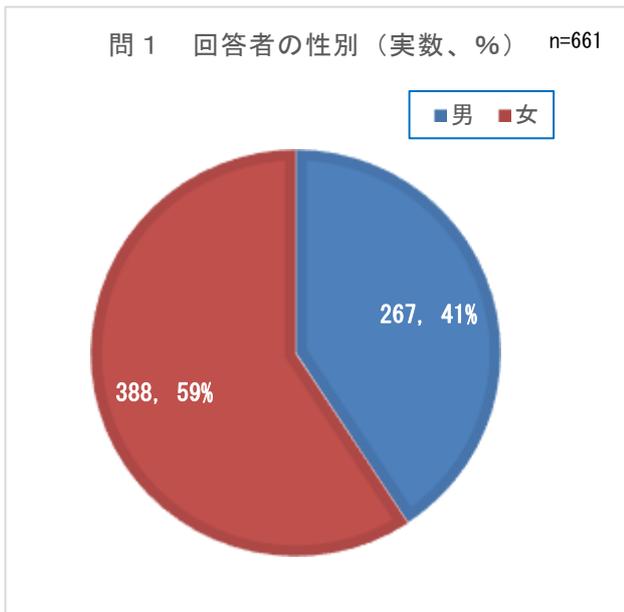
※無効回答は除く

3 問1 回答者の性別、年代、家族構成

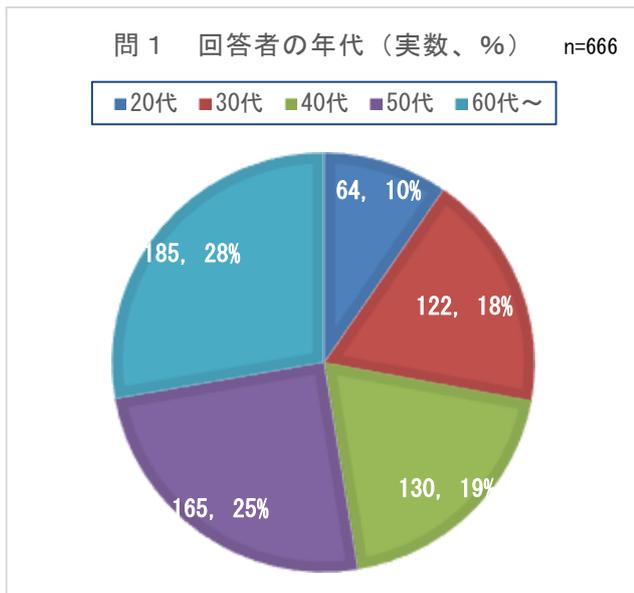
問1 あなたの性別・年代・家族構成を教えてください。【それぞれ1つを○で選択】

問1では、回答者のプロフィールを聞いた。
性別、年代、家族構成ごとの構成比は以下の通りであった。

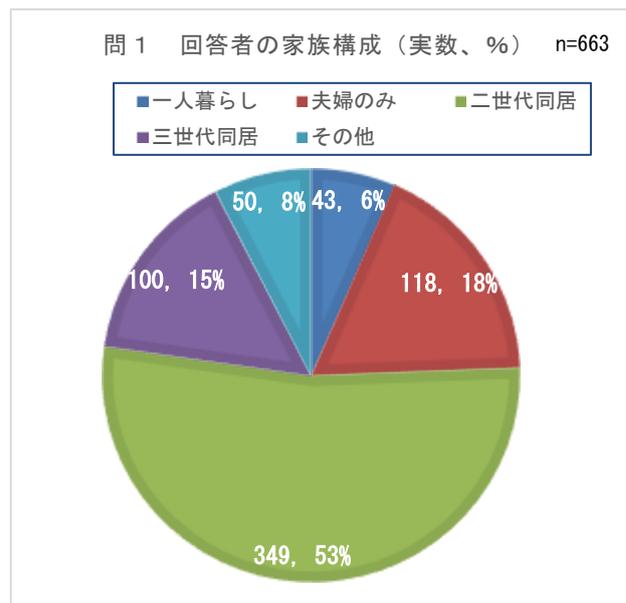
グラフ1-1



グラフ1-2



グラフ1-3

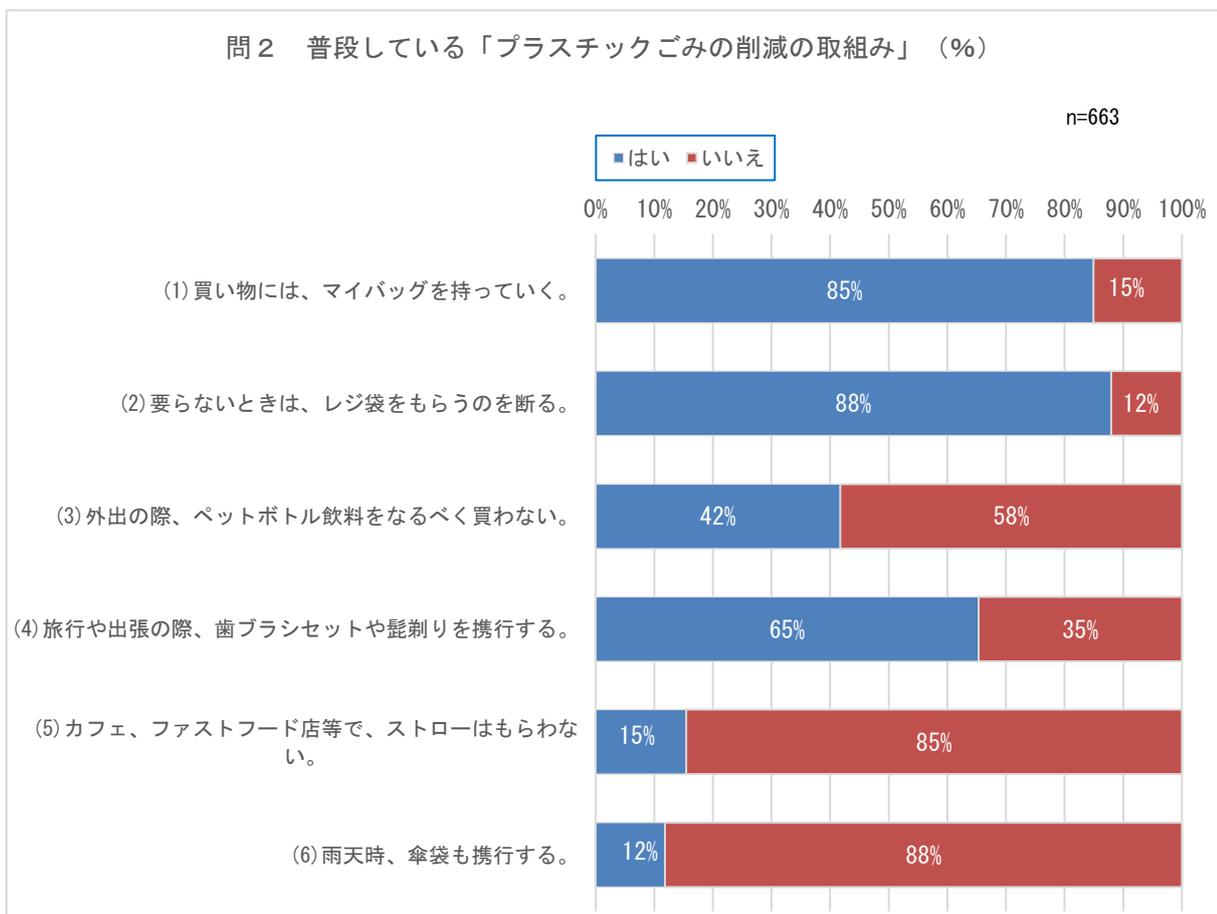


4 問2 普段している「プラスチックごみの削減の取組み」

問2 あなたが普段している「プラスチックごみの削減の取組み」を教えてください。【それぞれ「はい」または「いいえ」から1つを○で選択】

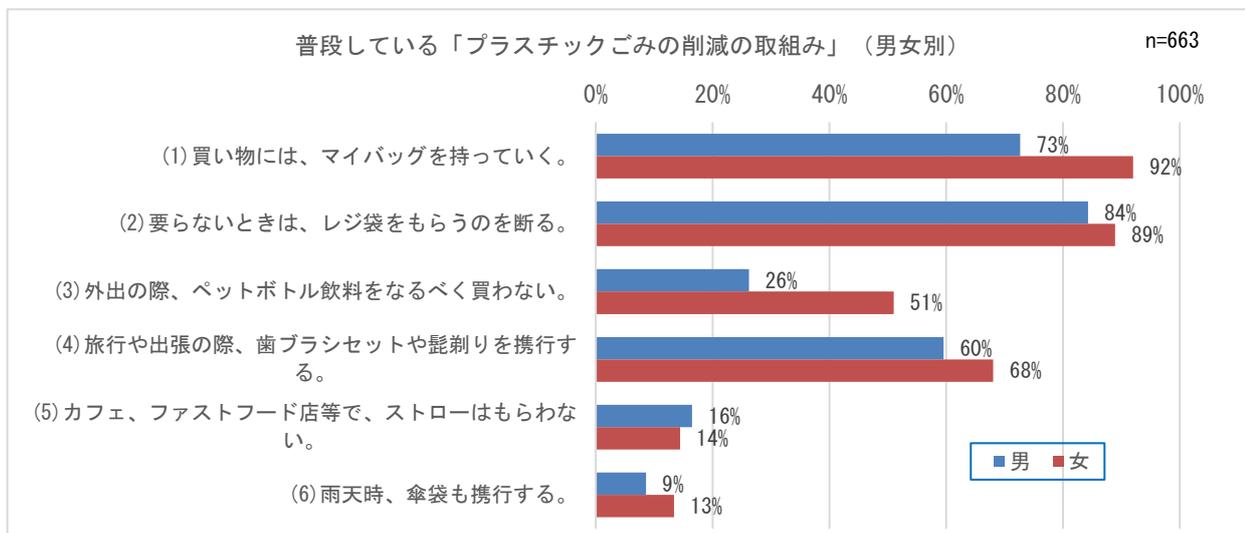
普段行っている「プラスチックごみの削減の取組み」について聞くと、「(2)レジ袋が要らないときは、レジ袋をもらうのを断る」が88%と最も高く、次いで「(1)買い物には、極力、マイバッグを持っていく」が85%、「(4)旅行や出張に出かける際は、自分の歯ブラシセットや髭剃りを持っていく」が65%であった。

グラフ 2-1



男女別でみると、全体として女性の実施率がやや高い傾向にあり、特に「(3)外出の際、ペットボトル飲料はなるべく買わない」は男性のほぼ倍の51%であった。

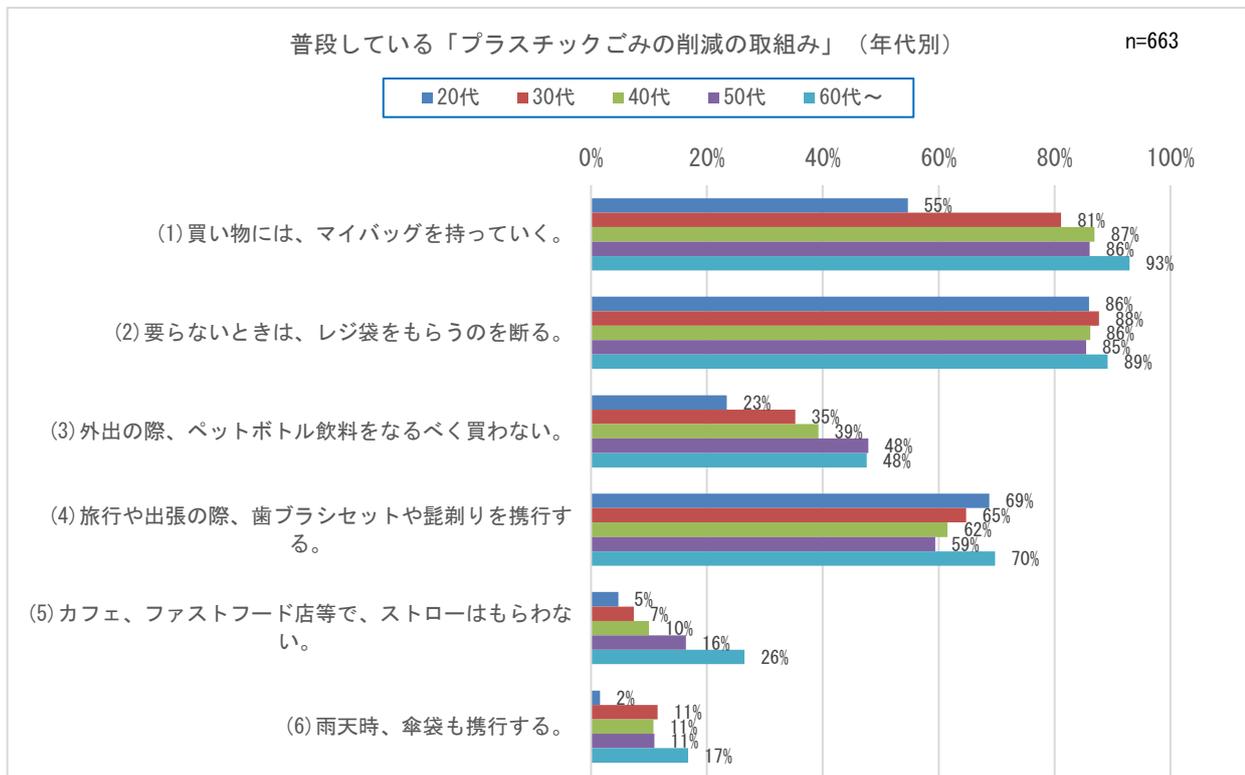
グラフ 2-2



年代別では、全体として年代が上がるほど実施率が上昇する傾向がみられた。「(3)ペットボトル飲料の買い控え」、「(5)ストローの遠慮」は、年代とともに実施率が高くなる傾向にあった。

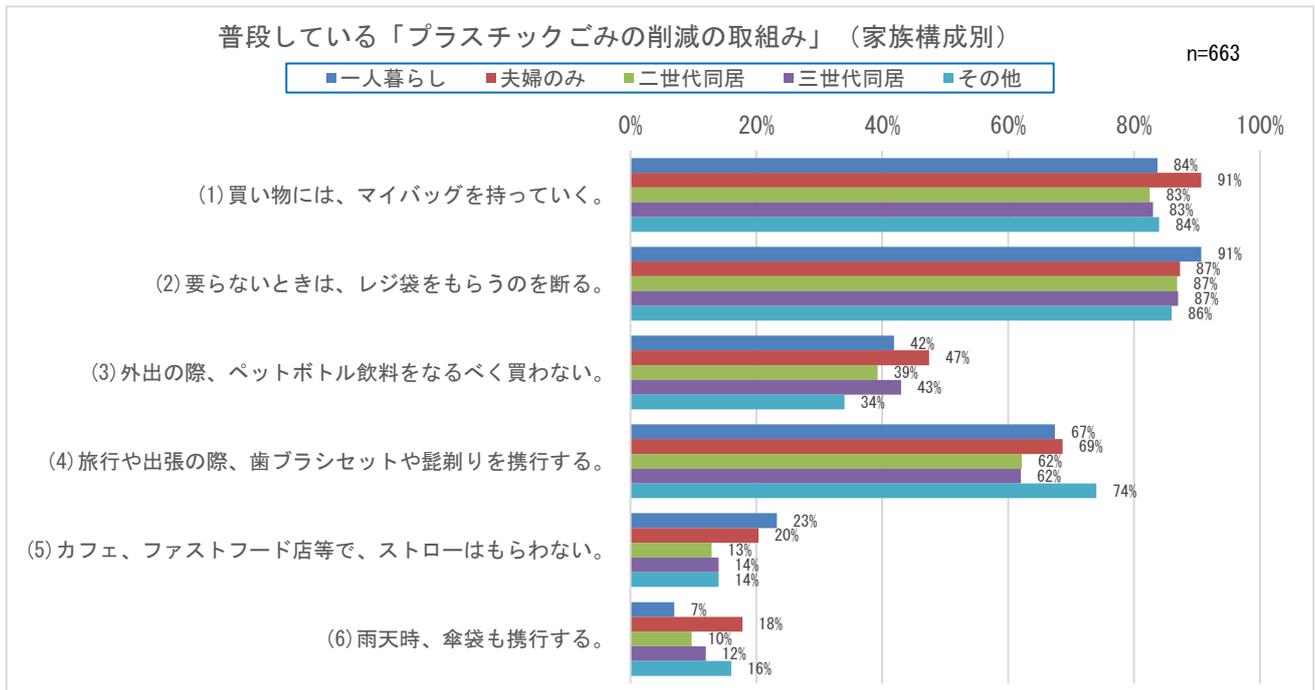
一方、20代は、他の世代に比べ実施率の低い項目が目立ち、特に「(1)マイバッグの持参」、「(6)傘袋の携行」では他の世代との乖離が見られる。

グラフ 2-3



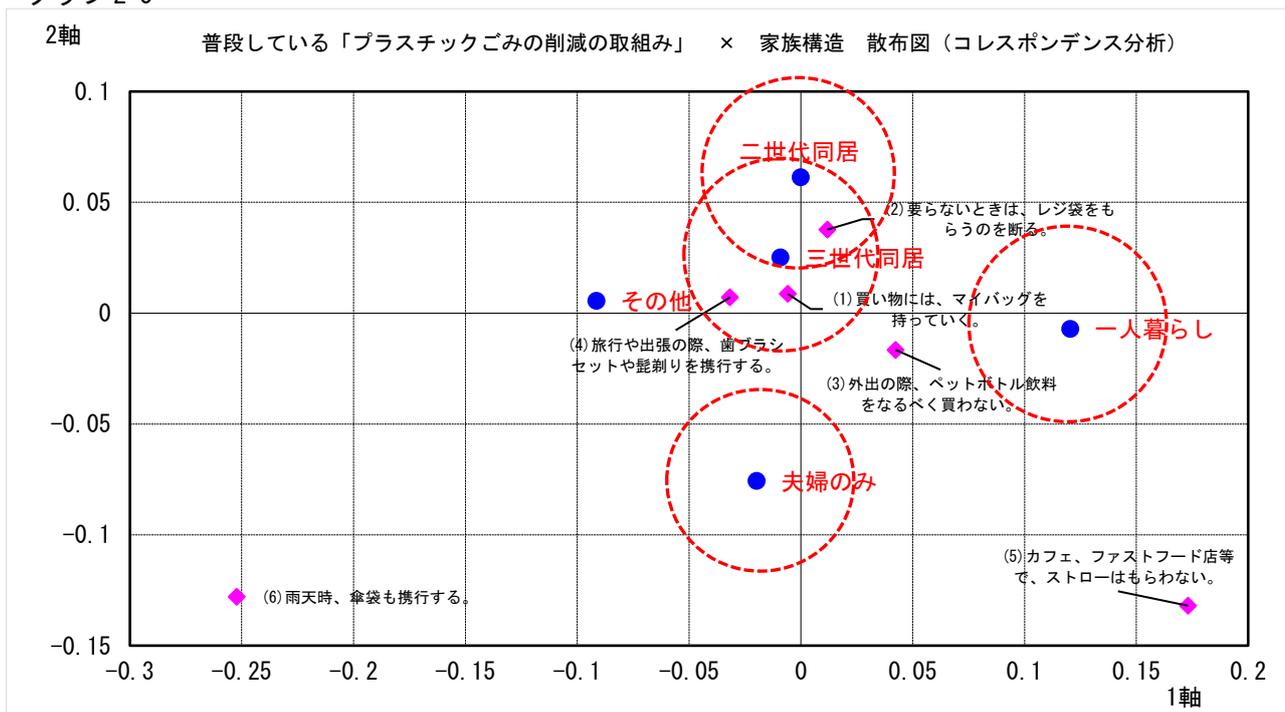
家族構成別では、差異はほとんど見られなかった。

グラフ 2-4



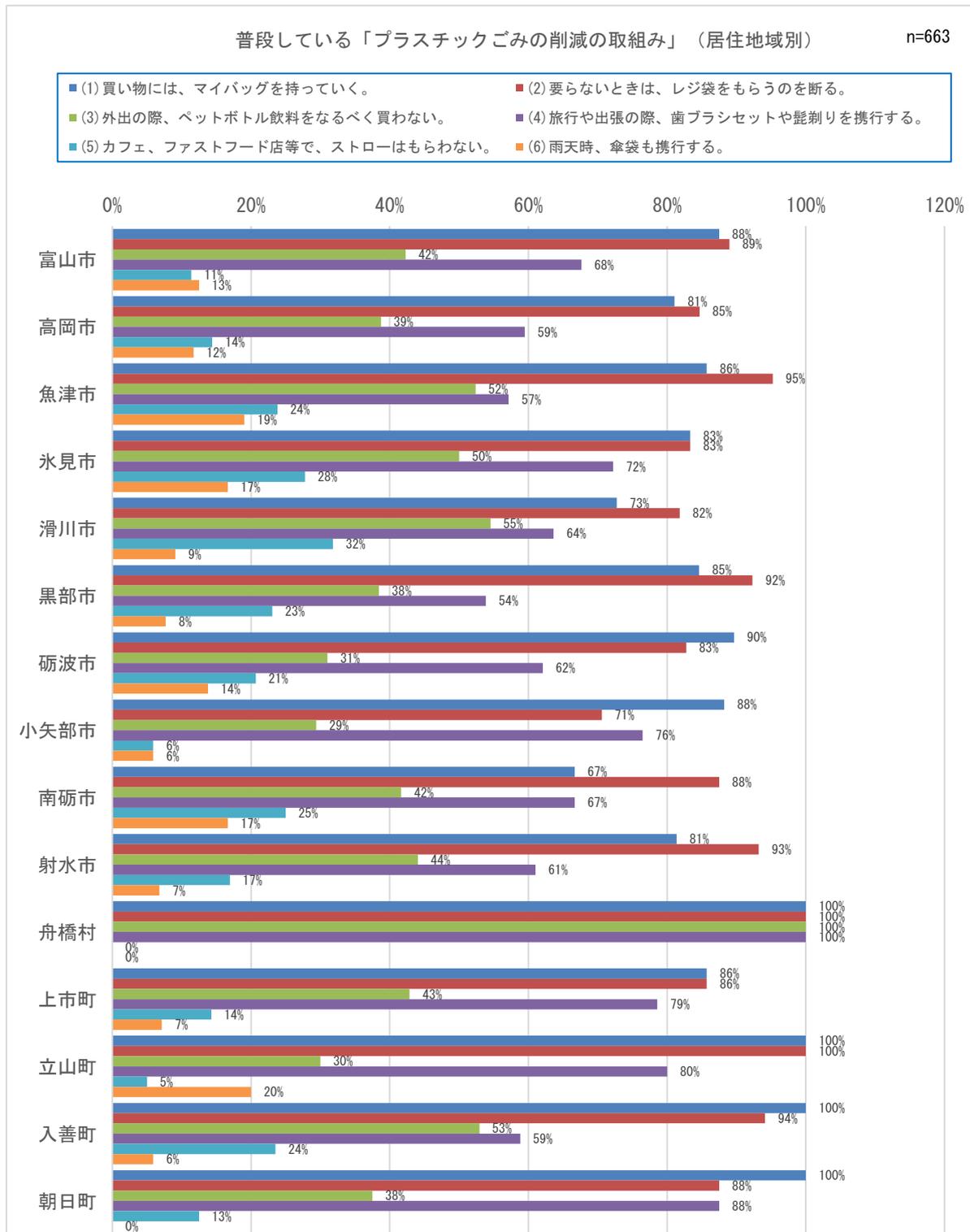
しかし、コレスポンデンス分析でみると、「(2)レジ袋をもらうのを断る」、「(1)マイバッグを持っていく」、「(4)旅行や出張時、自分の歯ブラシセットや髭剃りを持っていく」に対して、一人暮らしや夫婦のみはやや距離を置いている傾向がみられた。

グラフ 2-5



居住市町村別では、顕著な差は見られなかったが、「(6)雨天時、傘袋も携行する」の励行率については、富山市や高岡市など人口集積地を抱える自治体が、農山漁村の広がる周辺自治体より僅差ながら高い傾向が見られた。ただし、富山市及び高岡市以外の市町村のサンプル数が二桁（舟橋村は1人）であり、統計上の有意差について検討が必要である。

グラフ 2-6

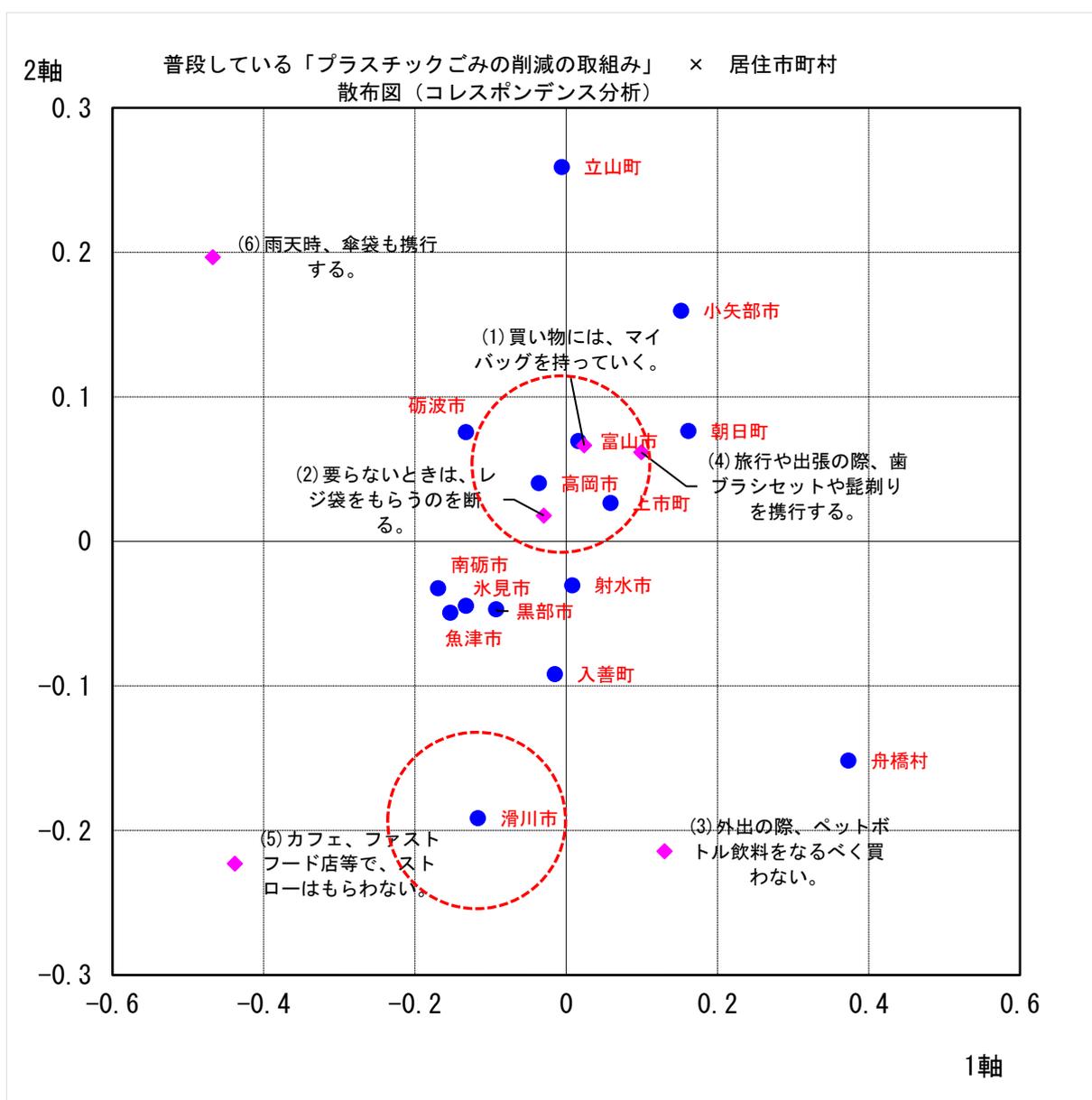


この結果をコレスポネンス分析でみると、上市町も富山市及び高岡市とポジションが近い。一概には結論付けられないが、富山市や高岡市では「(1)買い物には、マイバッグを持っていく」、「(2)要らないときは、レジ袋をもらうのを断る」、「(4)旅行や出張の際、歯ブラシセットや髭剃りを携行する」の励行度が高い傾向である一方、人口密度の低い周辺部市町村では、これら3項目とやや距離がみられる結果となった。

滑川市は、「(5)カフェ、ファストフード店等で、ストローはもらわない」、「(3)外出の際、ペットボトル飲料をなるべく買わない」とやや近い。

しかし、それ以外の市町村は、いずれも「(6)雨天時、傘袋も携行する」、「(5)カフェ、ファストフード店等で、ストローはもらわない」、「(3)外出の際、ペットボトル飲料をなるべく買わない」と距離が開いており、クロス分析で見られた県全域での実施率の低さが、コレスポネンス分析でよりはっきりと確認できた。

グラフ 2-7

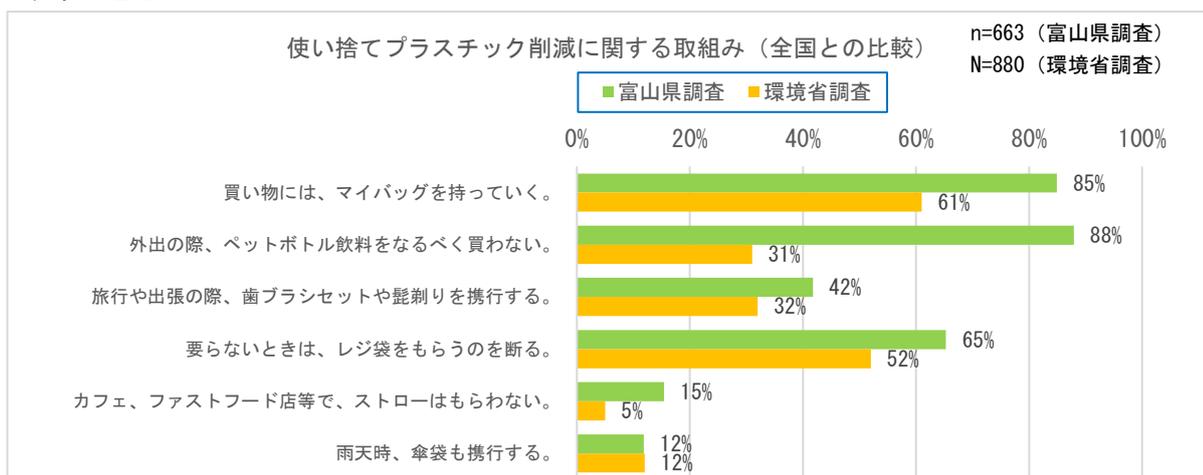


■全国（環境省調査）との比較

普段行っている「プラスチックごみの削減の取組み」について、全国（環境省調査）と比較すると、「傘袋の携行」を除けば、富山県は全体的に実施率が顕著に高い。

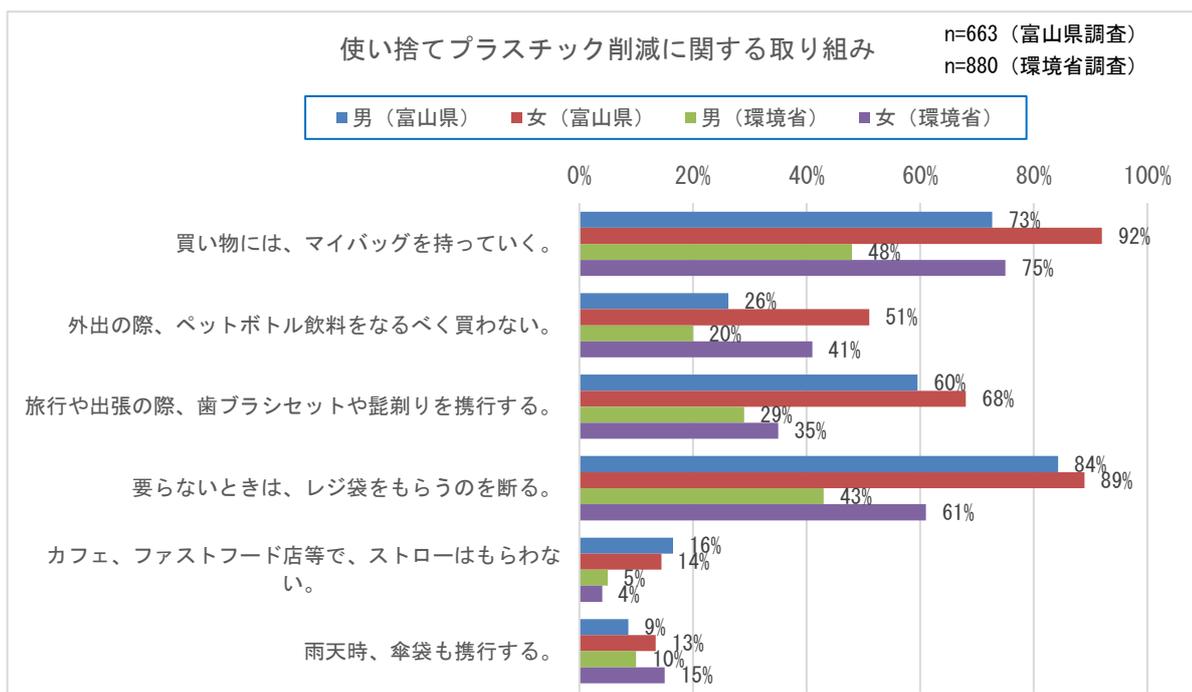
特に「外出の際、ペットボトル飲料をなるべく買わない」は88%の実施率と最も高く、全国の31%と比べ際立っていた。

グラフ 2-8



男女別でみると、いずれの調査結果でも全体として女性の実施率がやや高い傾向にある。「傘袋の携行」を除けば、富山県は全体的に実施率が高く、なかでも「歯ブラシセットや髭剃りの携行」、「レジ袋をもらわない」、「ストローをもらわない」は1.5～3倍の実施率となっていた。

グラフ 2-9



5 問3 小売店・飲食店等が提供する「プラスチックに関するサービス」への認識

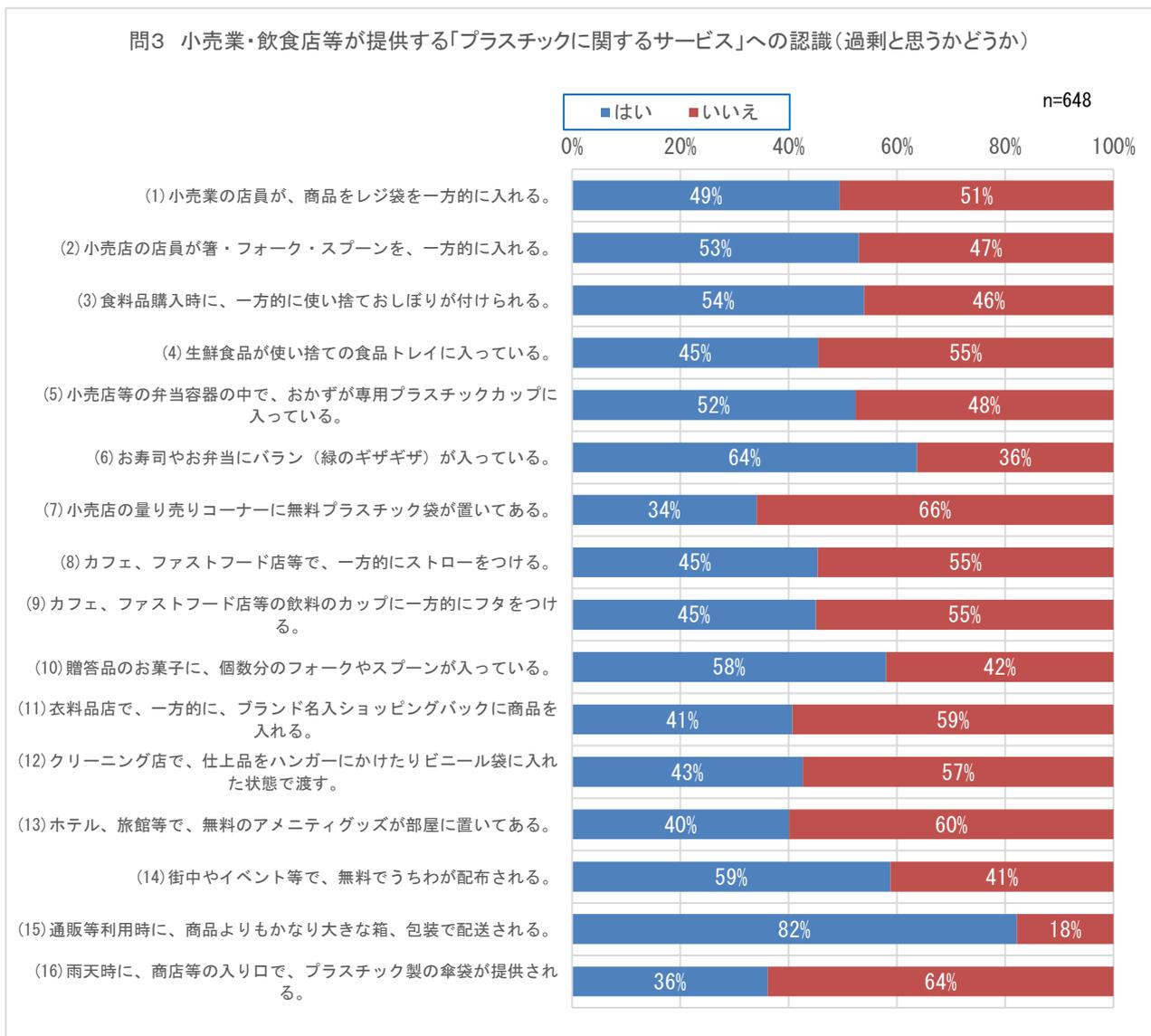
問3 小売店・飲食店等が提供する「プラスチックに関するサービス」に対して、過剰と思うかどうかを教えてください。【それぞれ「はい」または「いいえ」から1つを○で選択】

小売業・飲食店等における「プラスチックに関するサービス」に対する認識（「過剰なサービス」か否かの認識）を聞いた。

「(15)通販等で商品よりも大きな箱で配送される」ことに対して、過剰であると認識している方が8割以上であった。また「(6)バラ（緑のギザギザ）」、「(10)贈答品のお菓子に入ったフォーク・スプーン」、「(14)無料のうちわ」も、6割前後の方が過剰としていた。

一方、「(7)量り売り用の無料プラ袋」、「(11)ブランド名入りショッピングバッグ」、「(13)ホテル等のアメニティグッズ」、「(16)傘袋」などに対しては、過剰とする割合が4割前後と比較的に低かった。

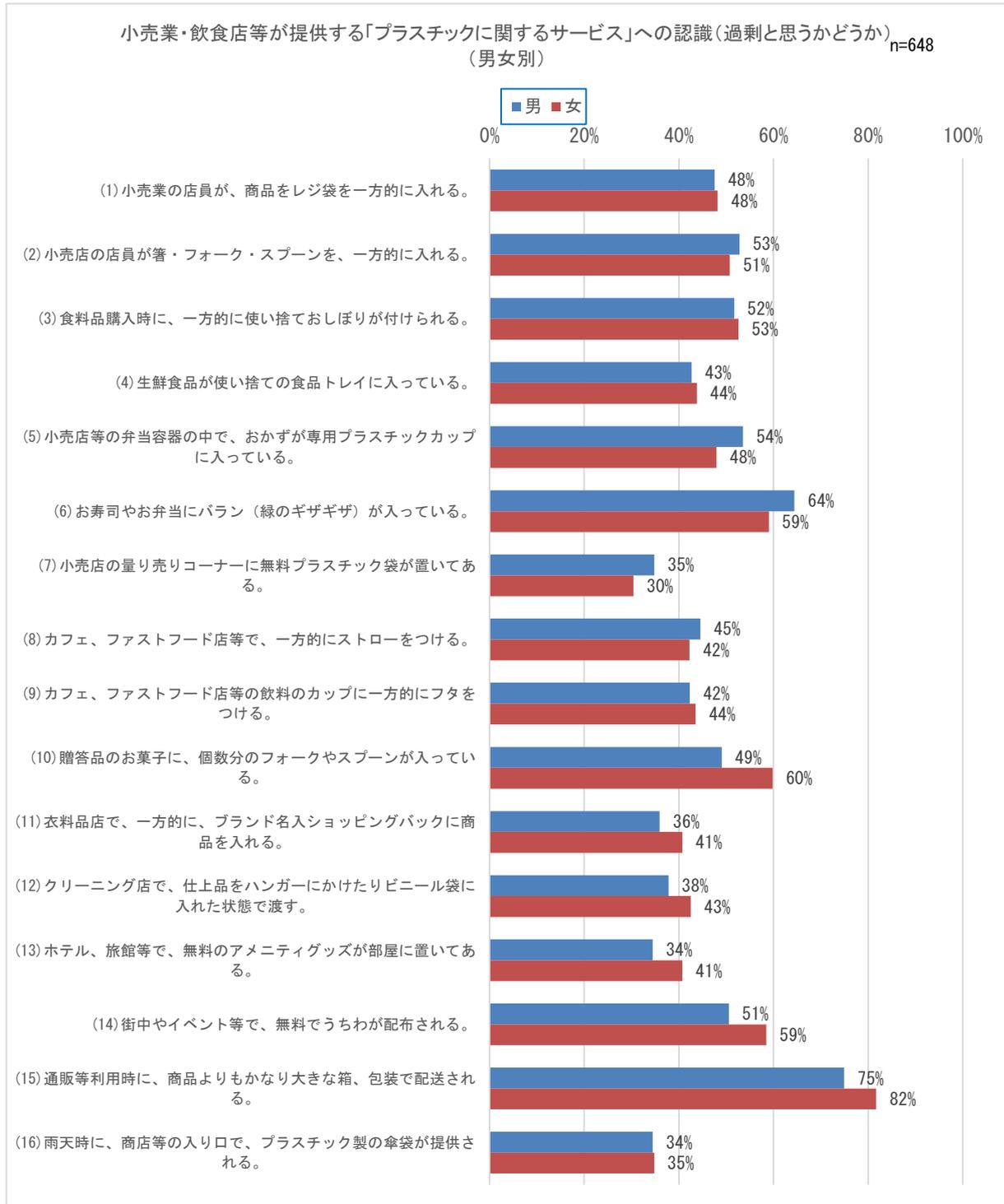
グラフ 3-1



男女別では、目立った認識差はなかった。ただ、僅差ながら過剰と認識している項目が女性の方がやや多い傾向がみられる。

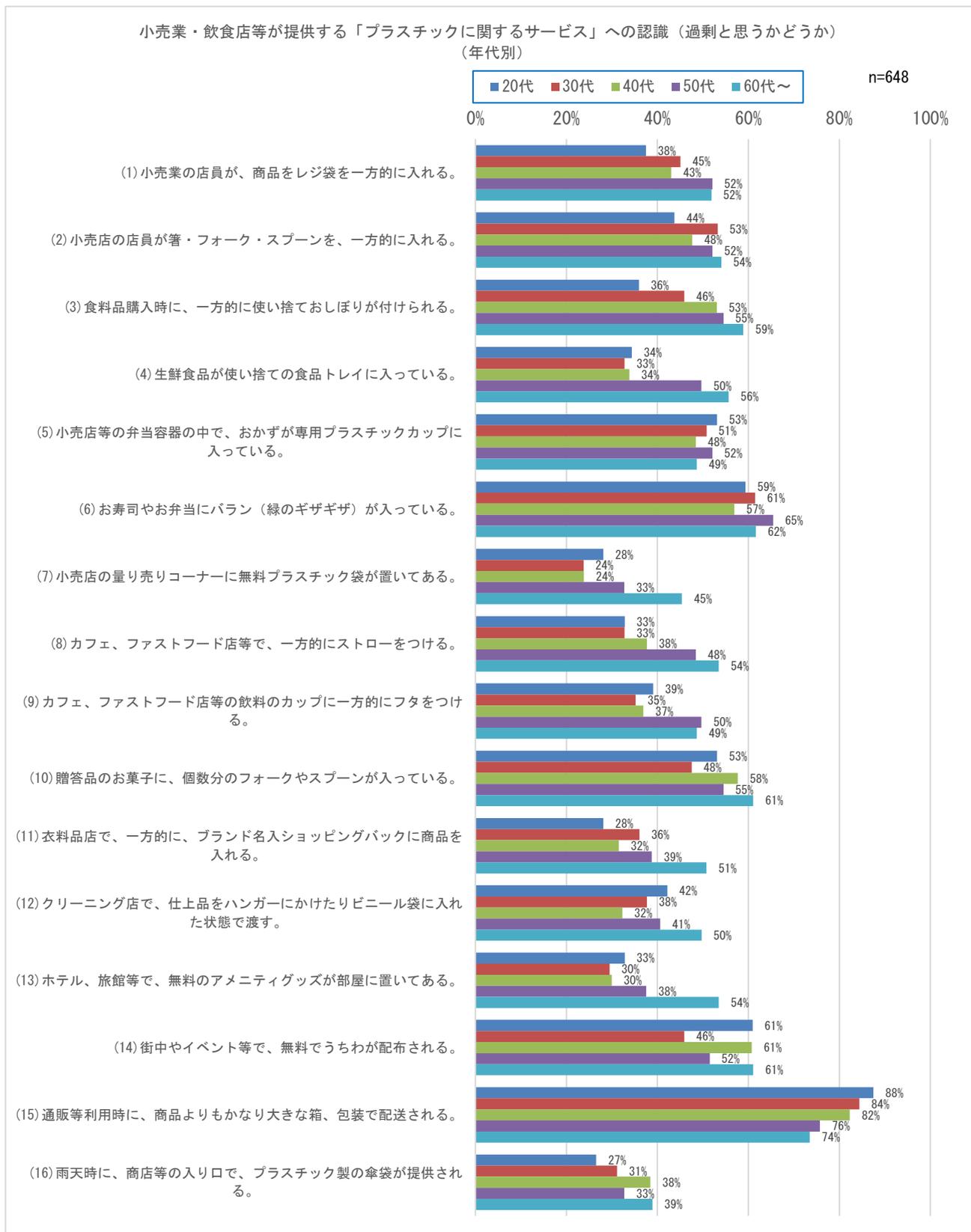
特に「(10)贈答品のお菓子に入ったフォーク・スプーン」が11ポイント、「(14)無料のうちわ」が8ポイント、男性より多くなっていた。

グラフ 3-2



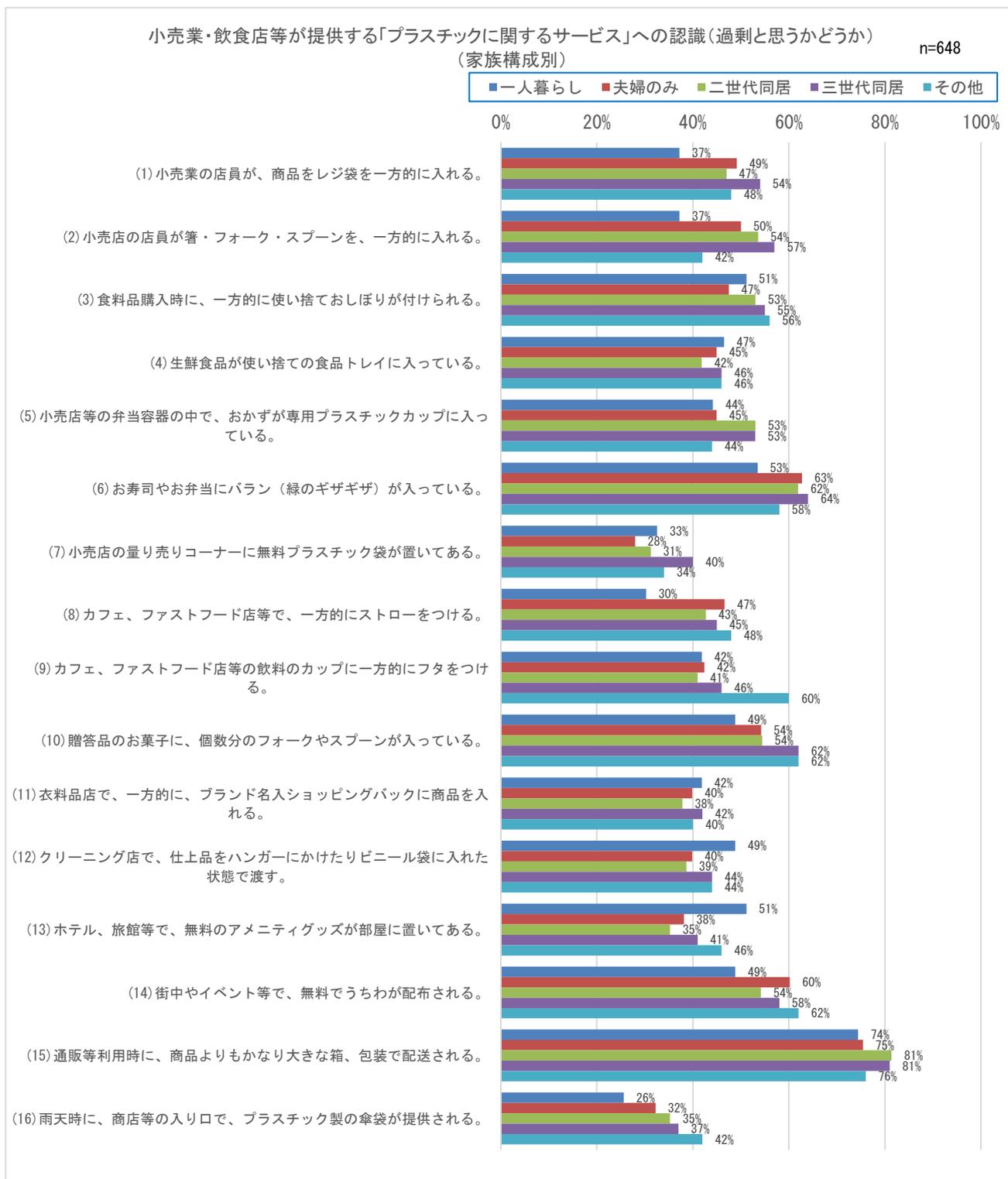
年代別にみると、僅差ながら、「(1)レジ袋を一方的に入れる」、「(3)一方的におしぼりが付けられる」「(8)一方的にストローを付ける」では、年代が上がるほど過剰と認識する傾向が見られた。一方、「(15)通販等の大きな箱」は、年代が下がるほど過剰と認識する傾向が見られた

グラフ 3-3



家族構成別にみると、僅差ながら「一人暮らし」が、「(1)レジ袋を一方的に入れる」、「(2)フォーク・スプーンを一方的に入れる」、「(8)一方向的にストローを付ける」では「過剰」の認識が低く、他の家族構成との間で差異が見られた。

グラフ 3-4

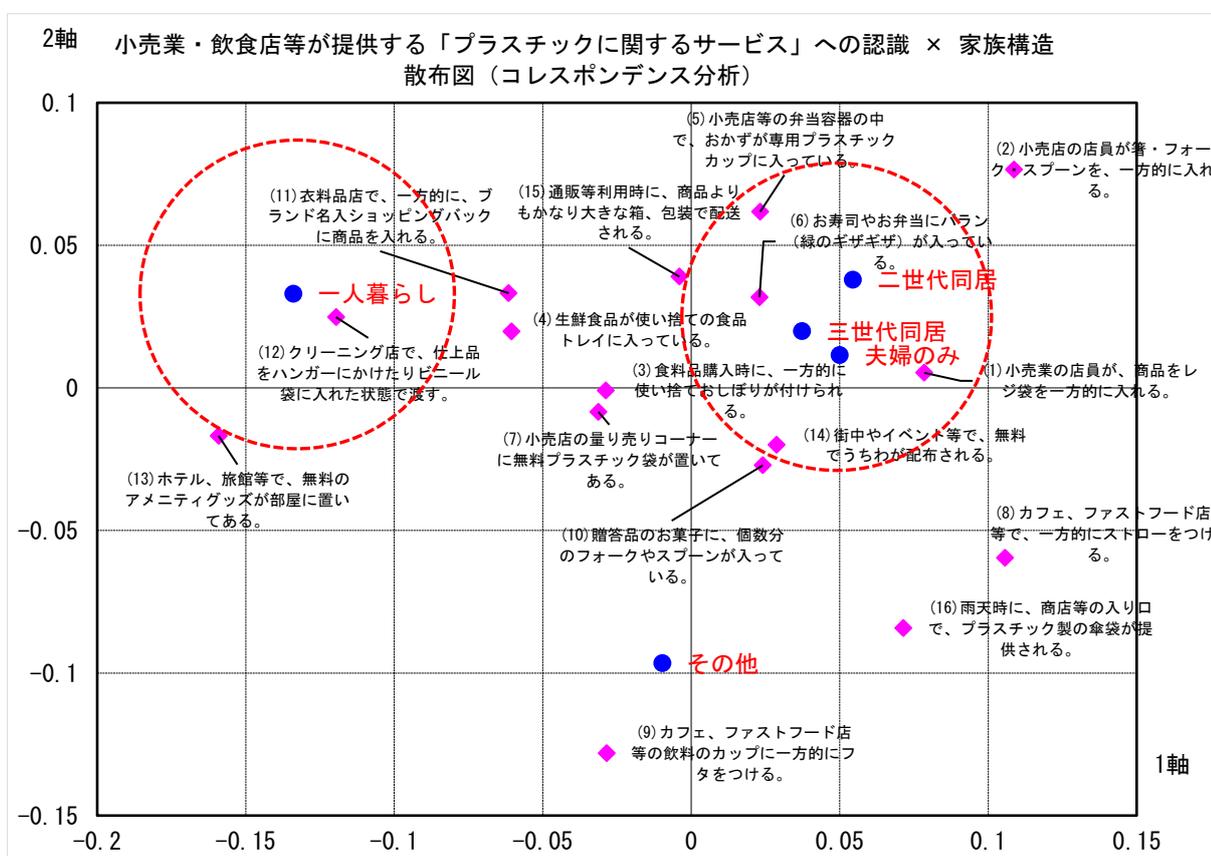


この結果をコレスポネンス分析でみると、「二世世代同居」、「三世世代同居」、「夫婦のみ」と「一人暮らし」との間で乖離が見られた。

「二世世代同居」、「三世世代同居」、「夫婦のみ」が、「(1)レジ袋を一方的に入れる」、「(6)お寿司やお弁当にバラ（緑のギザギザ）が入っている」、「(5)小売店等の弁当容器の中で、おかずが専用プラスチックカップに入っている」、「(14)街中やイベント等で、無料でうちわが配布される」、「(15)通販等利用時に、商品よりもかなり大きな箱、包装で配達される」などと比較的近い位置（＝過剰との認識が強い）にあった。

一方、「一人暮らし」は上記の項目とはかなり距離がある一方、「(12)クリーニング店で、仕上がり品をハンガーにかけたりビニール袋に入れた状態で渡す」、「(13)ホテル、旅館などで、無料のアメニティグッズが部屋に置いてある」などで距離が近い（＝過剰との認識が強い）、という対照的な結果が見られた。

グラフ 3-5

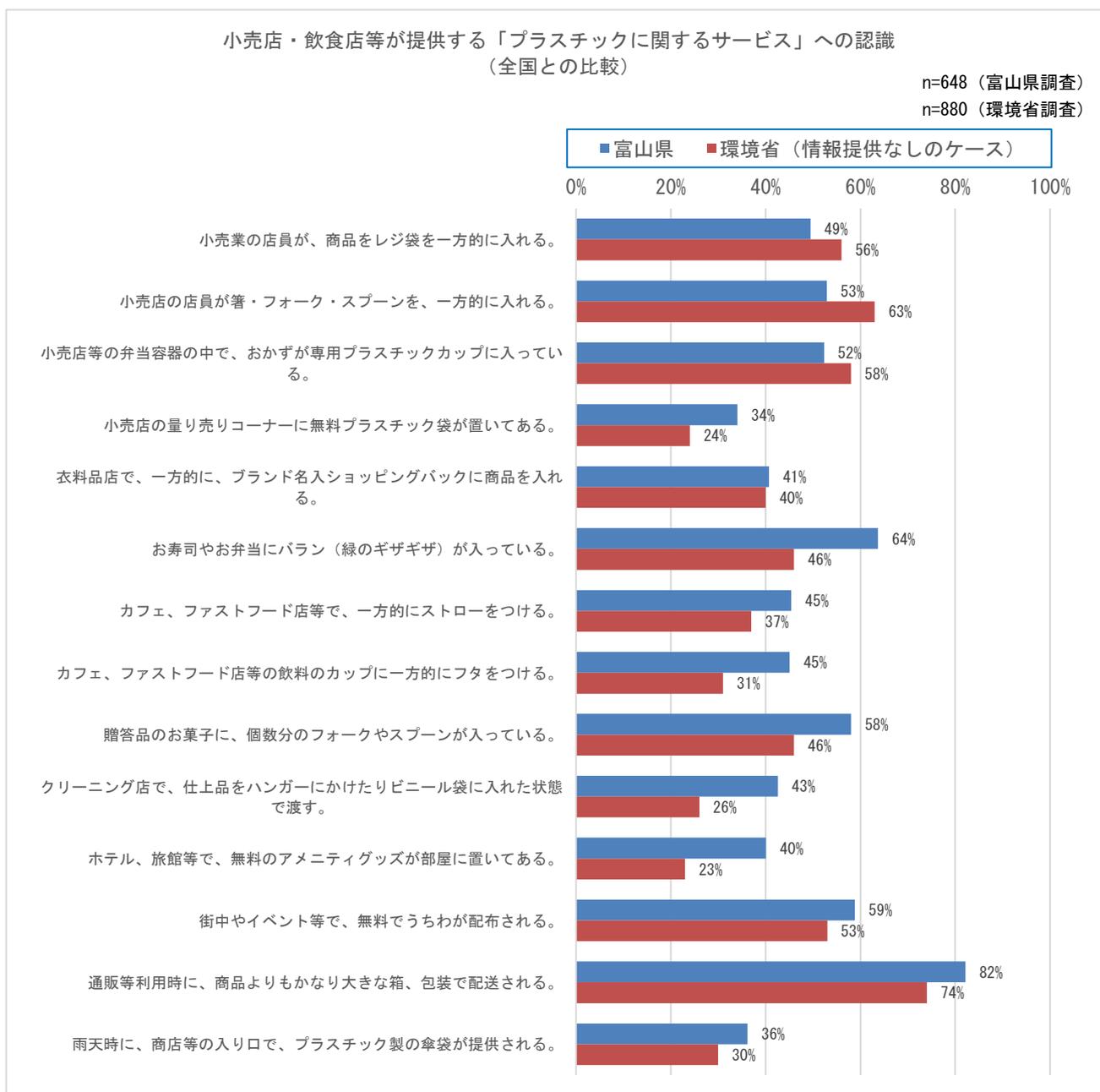


■全国（環境省調査）との比較

小売店・飲食店等が提供する「プラスチックに関するサービス」について、全国（環境省調査）と比較すると、「レジ袋」、「フォーク・スプーン」、「弁当容器のおかず専用プラカップ」を除けば、富山県は全体として過剰との認識が高い傾向にあった。

特に、「バラン（緑のギザギザ）」、「クリーニング店の仕上品用ビニール袋」、「ホテル等の無料アメニティグッズ」は、全国と比べ過剰とする比率が20ポイントほど多かった。

グラフ 3-6



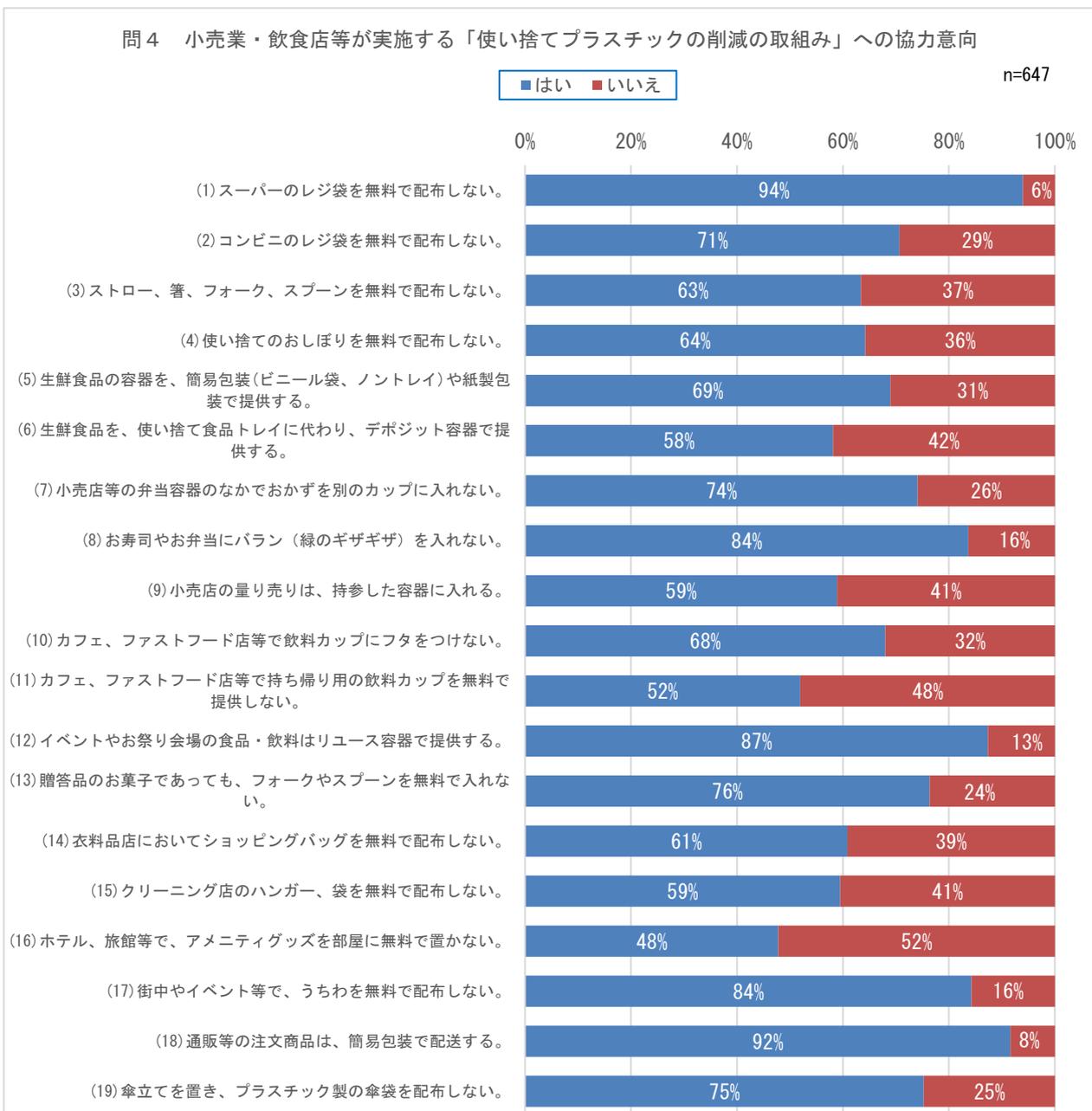
※環境省の調査は、対象者を「プラスチック・廃棄物に関する情報提供を行ったケース」と「プラスチック・廃棄物に関する情報提供を行わなかったケース」の2つに二分して実施された。富山県調査との比較は、「情報提供を行わなかった対象者」とで実施した。

6 問4 小売店・飲食店等が実施する「使い捨てプラスチックの削減の取組み」への協力意向

問4 小売店・飲食店等が実施する「使い捨てプラスチックの削減の取組み」に対して、協力できると思うかどうかを教えてください。【それぞれ「はい」または「いいえ」から1つを○で選択】

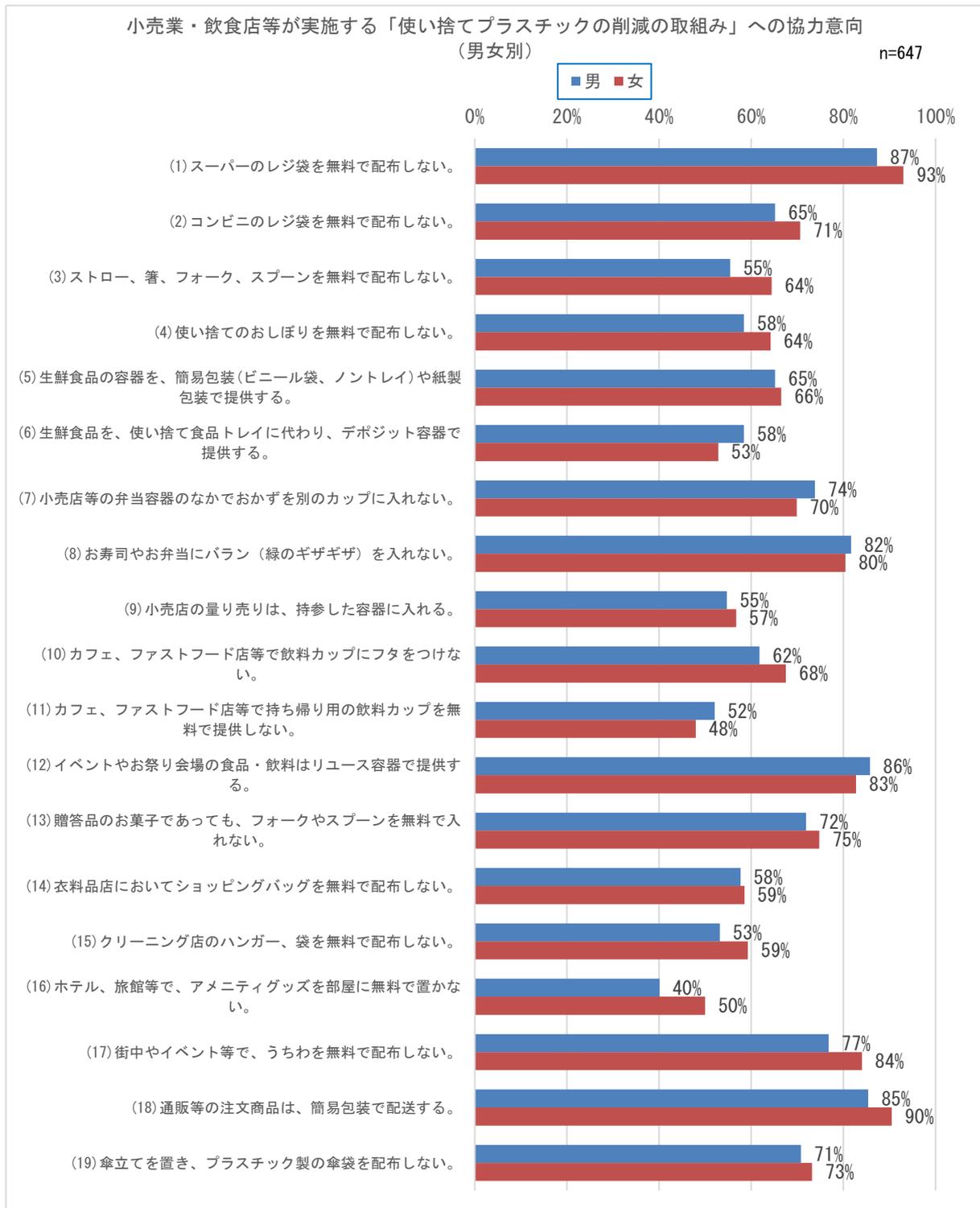
「使い捨てプラスチック削減の取組み」のうち進めていくべき・協力できると思う取組みを確認したところ、「(1)スーパーのレジ袋を無料で配布しない」が94%と最も高く、「(18)通販等注文品の簡易包装化」、「(12)イベント会場等におけるリユース容器の使用」、「(17)うちの無料配布の廃止」、「(8)お寿司やお弁当のバラン廃止」が80~90%台であった。

グラフ 4-1



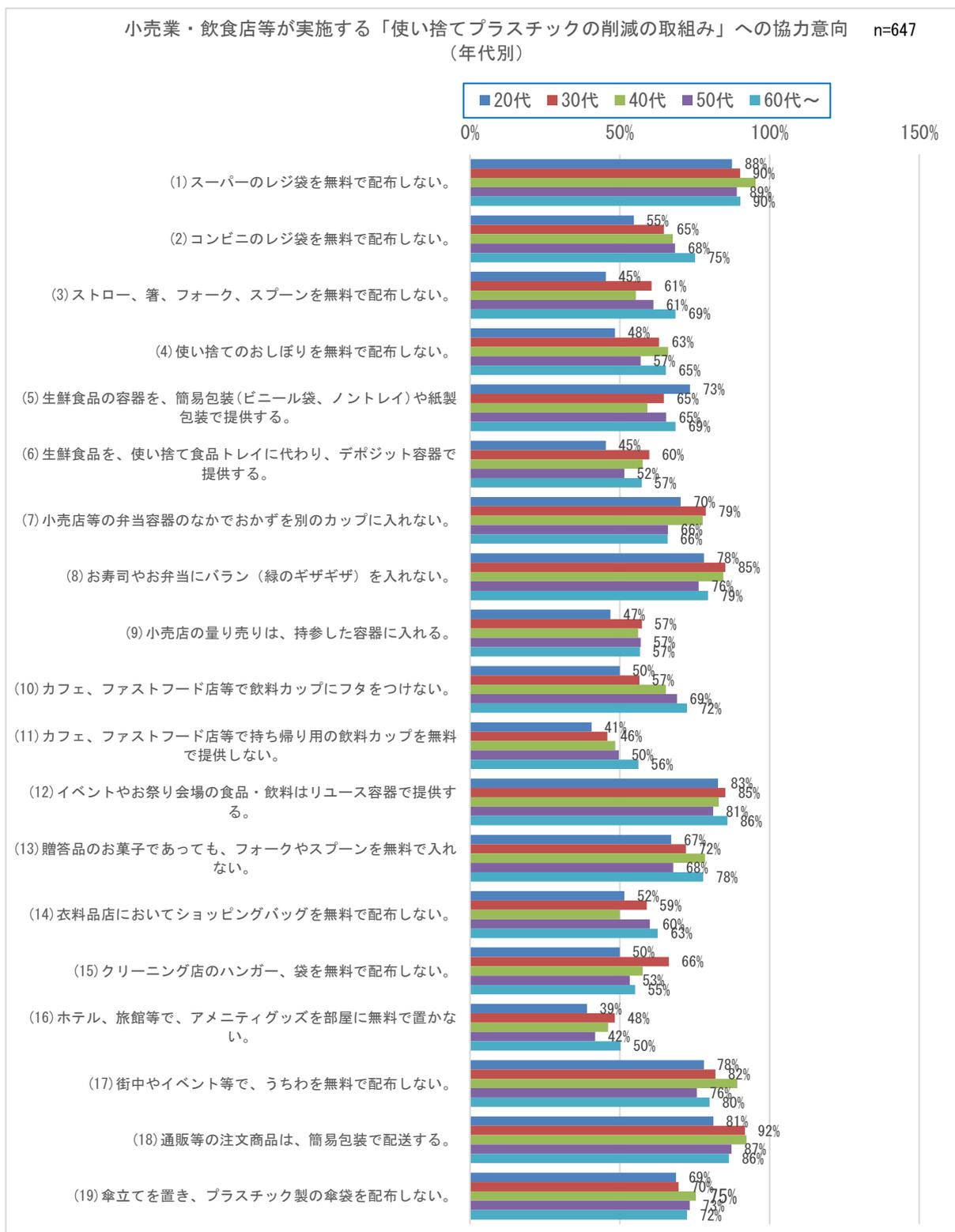
男女別で見ると、差異はあまり見られない、という結果となった。問2の普段行っている「使い捨てプラスチック削減の取組み」では、女性がより積極的に実践している姿勢が確認でき、問3の「過剰なサービス」か否かの認識でも僅差ながら女性の方が過剰と認識している項目がやや多いことが確認できたのとは対照的であった。

グラフ 4-2



年代別にみると、僅差ながら、「(2) コンビニのレジ袋を無料で配布しない」、「(3) ストロー、箸、フォーク、スプーンを無料で配布しない」、「(4) おしぼりを無料で配布しない」、「(10) 飲料カップにフタをつけない」、「(11) 持ち帰り用の飲料カップを無料で提供しない」では、年代が上がるほど協力意向を示す傾向が見られた。

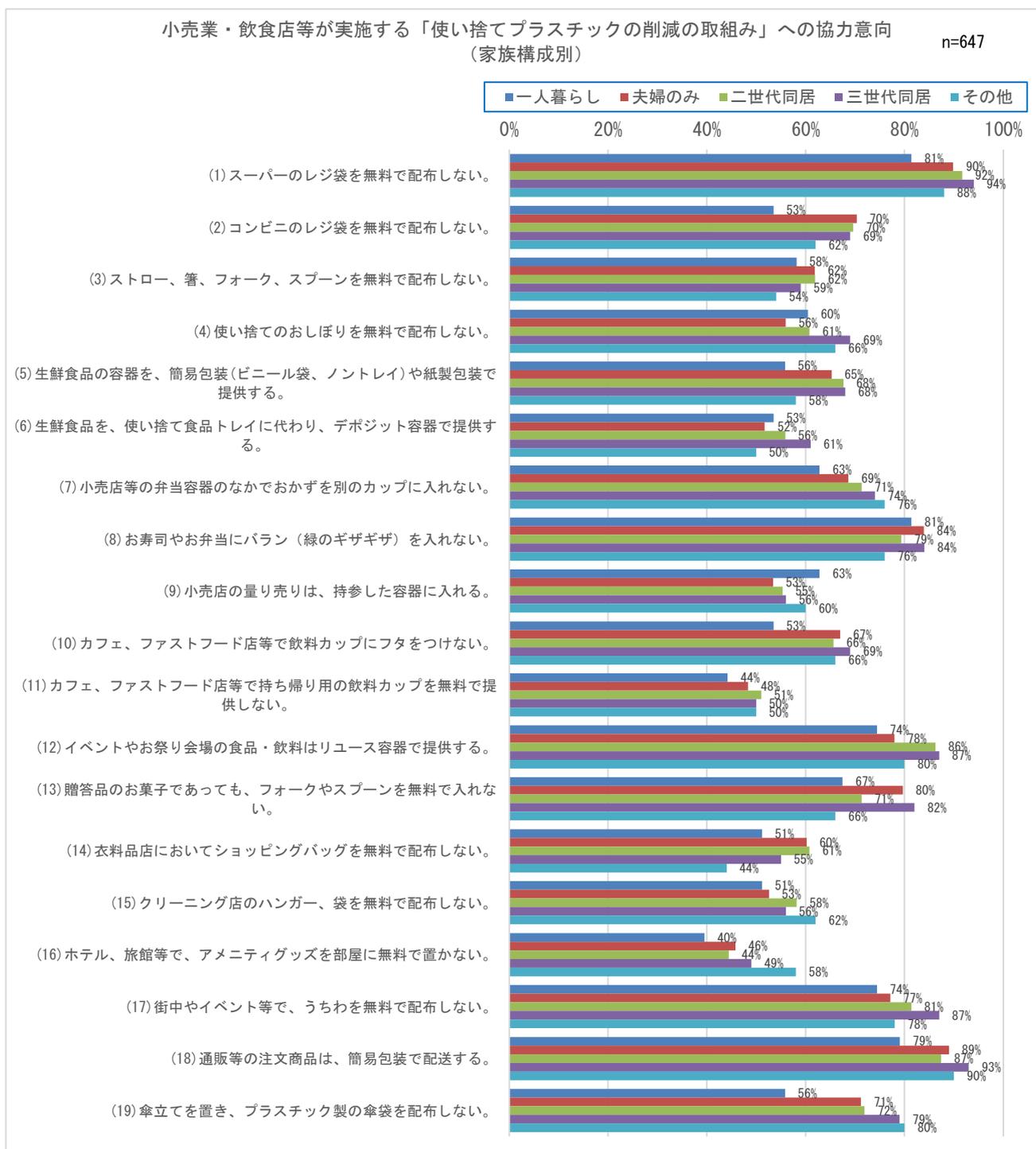
グラフ 4-3



家族構成別にみると、総体としては顕著な差異は見られなかった。

ただ「一人暮らし」は、僅差ながら、「(2) コンビニのレジ袋を無料配布しない」、「(5) 生鮮食品の容器を、簡易包装や紙製包装で提供する」、「(7) 弁当容器のおかずを別カップに入れない」、「(10) 飲料カップにフタをつけない」、「(19) 傘袋を配布しない」等で協力の意向が低くなっており、他の家族構成との間でやや差異が見られた。

グラフ 4-4

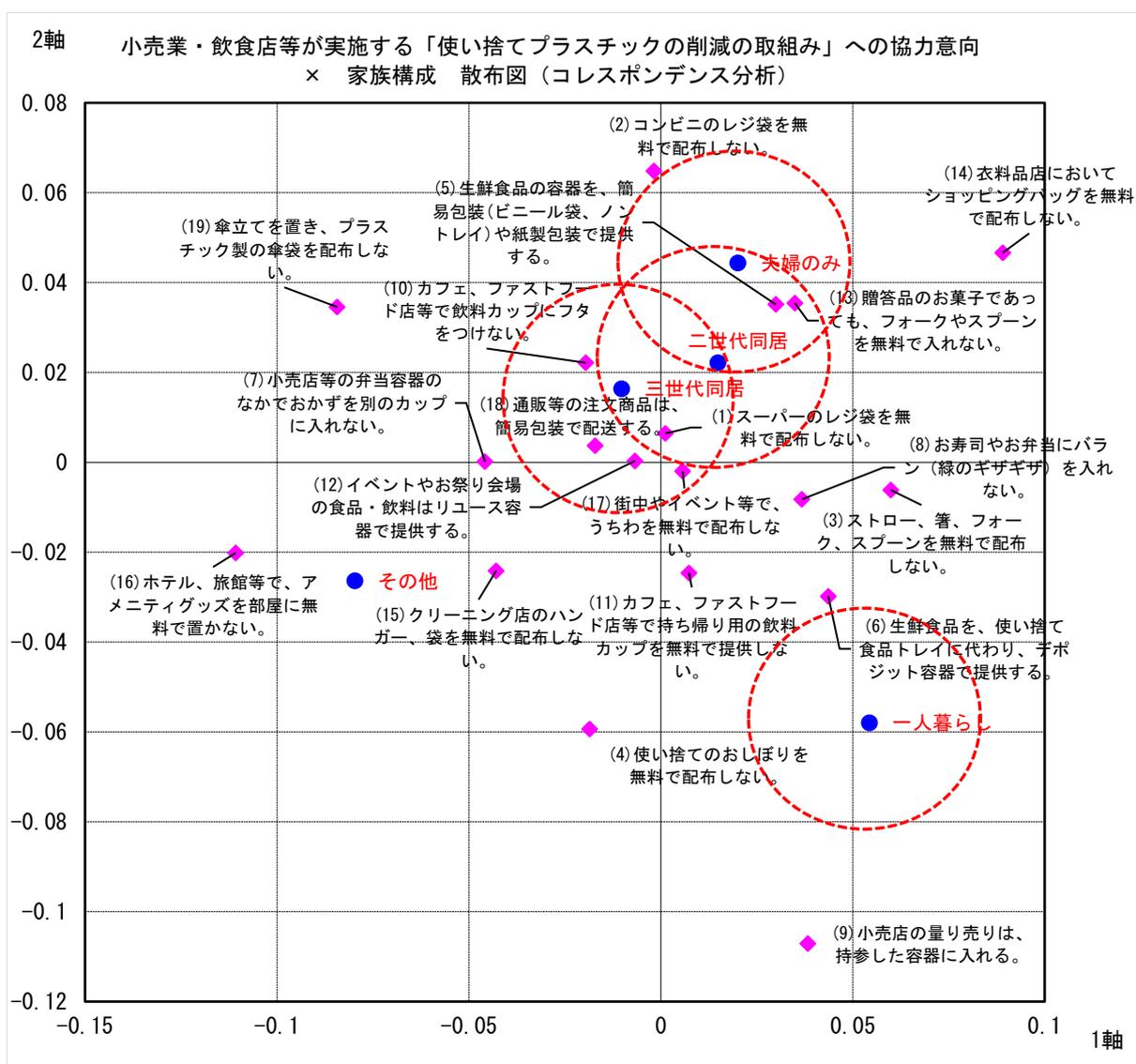


この結果をコレスポネンス分析でみると、「二世世代同居」、「三世世代同居」、「夫婦のみ」と「一人暮らし」との間に乖離が見られた。

「(1)スーパーのレジ袋を無料で配布しない」、「(17)うちわを無料で配布しない」、「(10)カフェ・ファストフード店等で飲料カップにフタをつけない」、「(18)通販等の注文商品は簡易包装で配送する」、「(12)イベントやお祭り会場の食品・飲料はリユース容器で提供する」に距離の近い(=協力意向が強い)「三世世代同居」と「二世世代同居」、そして「(13)贈答品のお菓子であっても、フォークやスプーンを無料で入れない」、「(5)生鮮食品の容器を簡易包装や紙製包装で提供する」に距離の近い(=協力意向が強い)「夫婦のみ」は、比較的近い位置関係にある。

それに対し、「一人暮らし」は「(6)生鮮食品を、使い捨て食品トレイに代わり、デポジット容器で提供する」に比較的近い以外は、他のいずれの項目とも距離が離れ(=協力意向が低い)ており、他の家族構成との間で差異が見られた。

グラフ 4-5



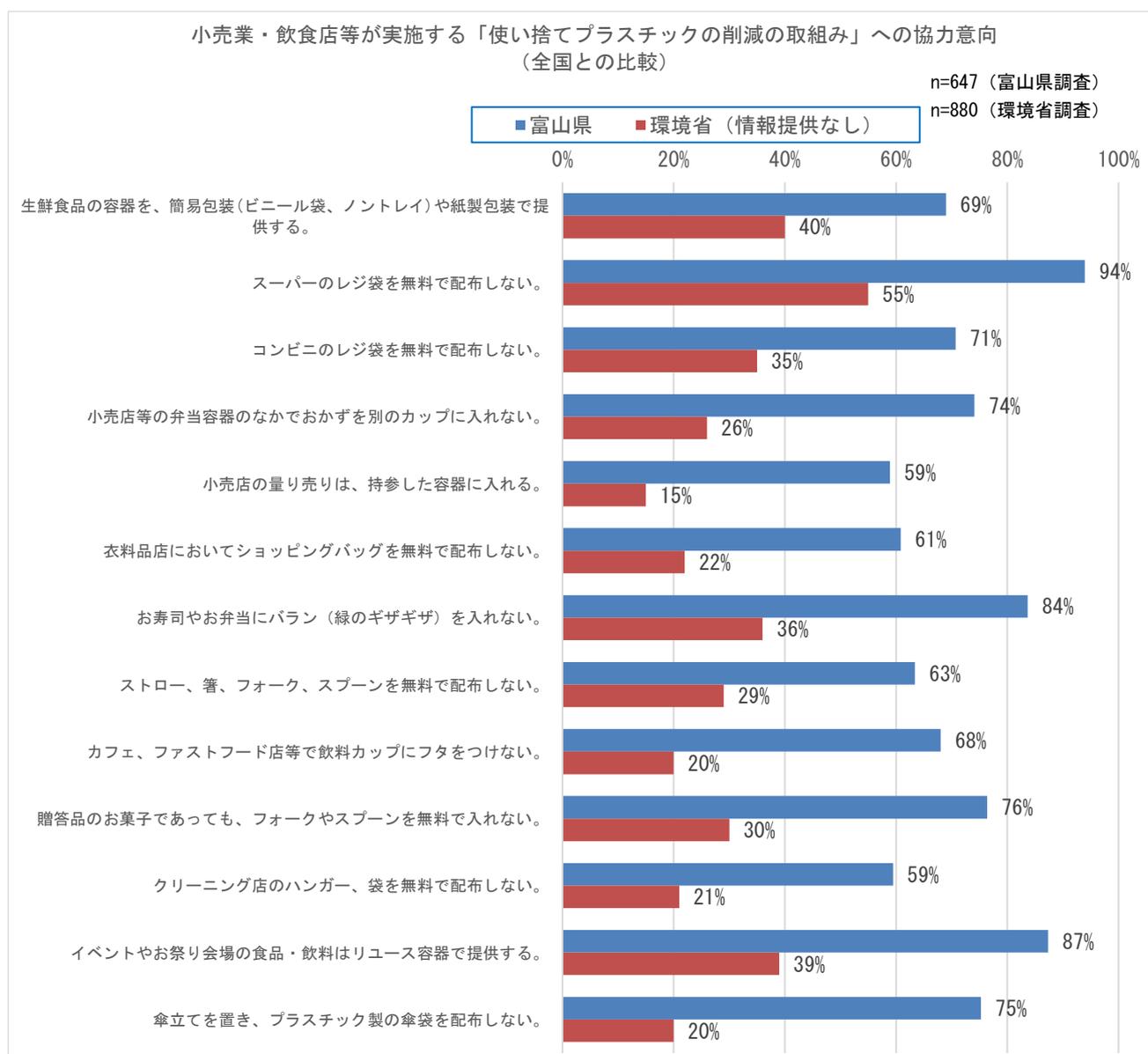
■全国（環境省調査）との比較

小売業・飲食店等が実施する「使い捨てプラスチックの削減の取組み」への協力意向について、全国（環境省調査）と比較すると、富山県は全項目で協力意向がかなり高かった。

特に「スーパーのレジ袋を無料で配布しない」が94%と筆頭で、「飲料はリユース容器で提供する」が87%、「バラ（緑のギザギザ）を入れない」が84%、「贈答品のお菓子にフォークやスプーンを無料で入れない」が76%、「プラスチック製の傘袋を配布しない」が75%などが続いていた。

設問対象項目すべてで、環境省調査の2倍～3倍という高い比率の協力意向が示されており、使い捨てプラスチックのリデュース・リユースに対する富山県民の協力意向は全国水準と比較してかなり高いことが判る。

グラフ 4-7



※環境省の調査は、対象者を「プラスチック・廃棄物に関する情報提供を行ったケース」と「プラスチック・廃棄物に関する情報提供を行わなかったケース」の2つに二分して実施された。富山県調査との比較は、「情報提供を行わなかった対象者」とで実施した。

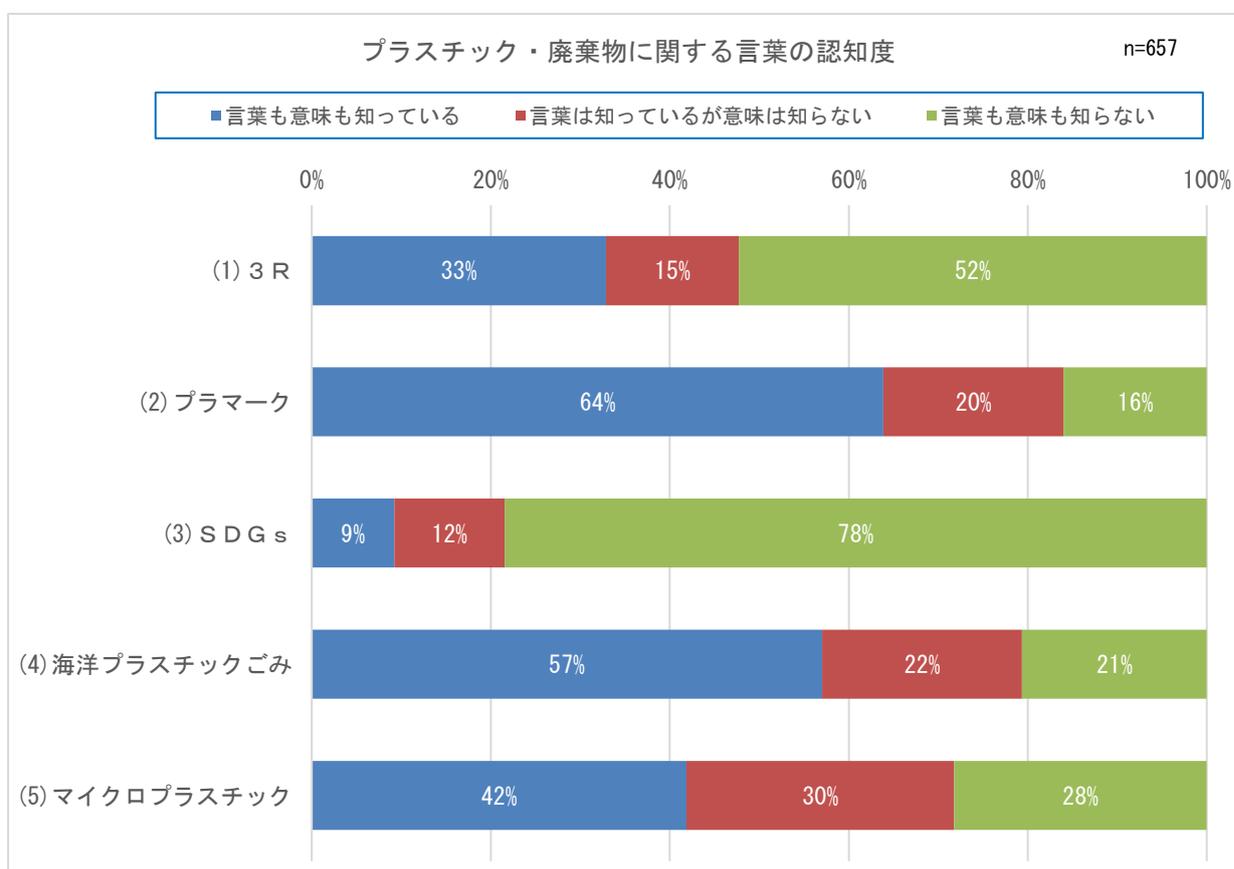
7 問5 プラスチック・廃棄物に関する言葉に対する認知度

問5 最後に、次のプラスチック・廃棄物に関する言葉についてご存知か教えてください。（それぞれ1～3から1つを○で選択）

プラスチック・廃棄物に関する言葉の認知度を聞いた。

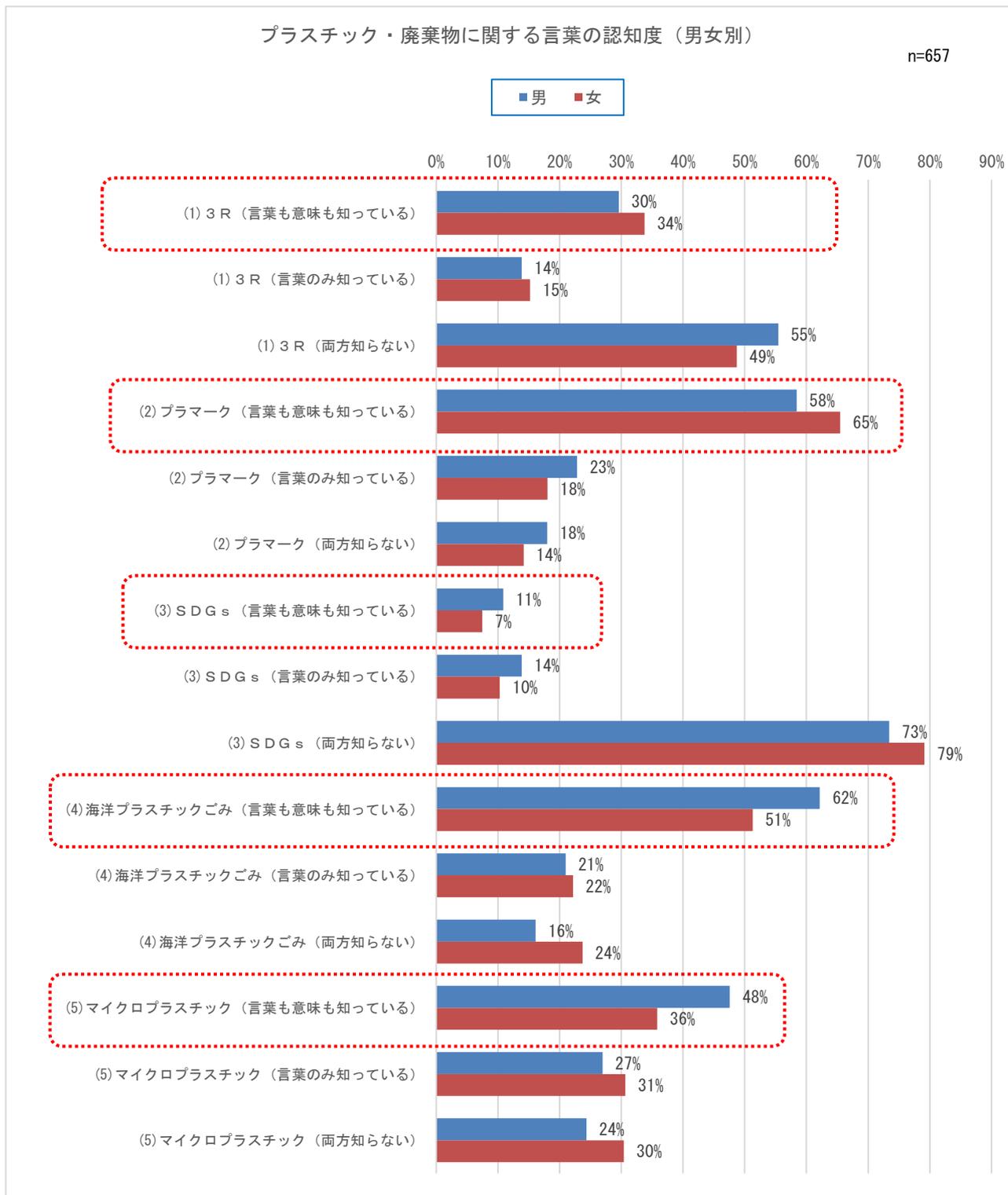
「プラマーク」の認知度（言葉も意味も知っている）が64%と最も高く、次いで「海洋プラスチックごみ」が57%、「マイクロプラスチック」が42%、「3R」が33%と続き、「SDGs」は9%と最も低かった。

グラフ 5-1



男女別では、それぞれ、女性が「3R」、「プラマーク」で、男性が「SDGs」「海洋プラスチックごみ」、「マイクロプラスチック」でやや認知度が高かった。

グラフ 5-2

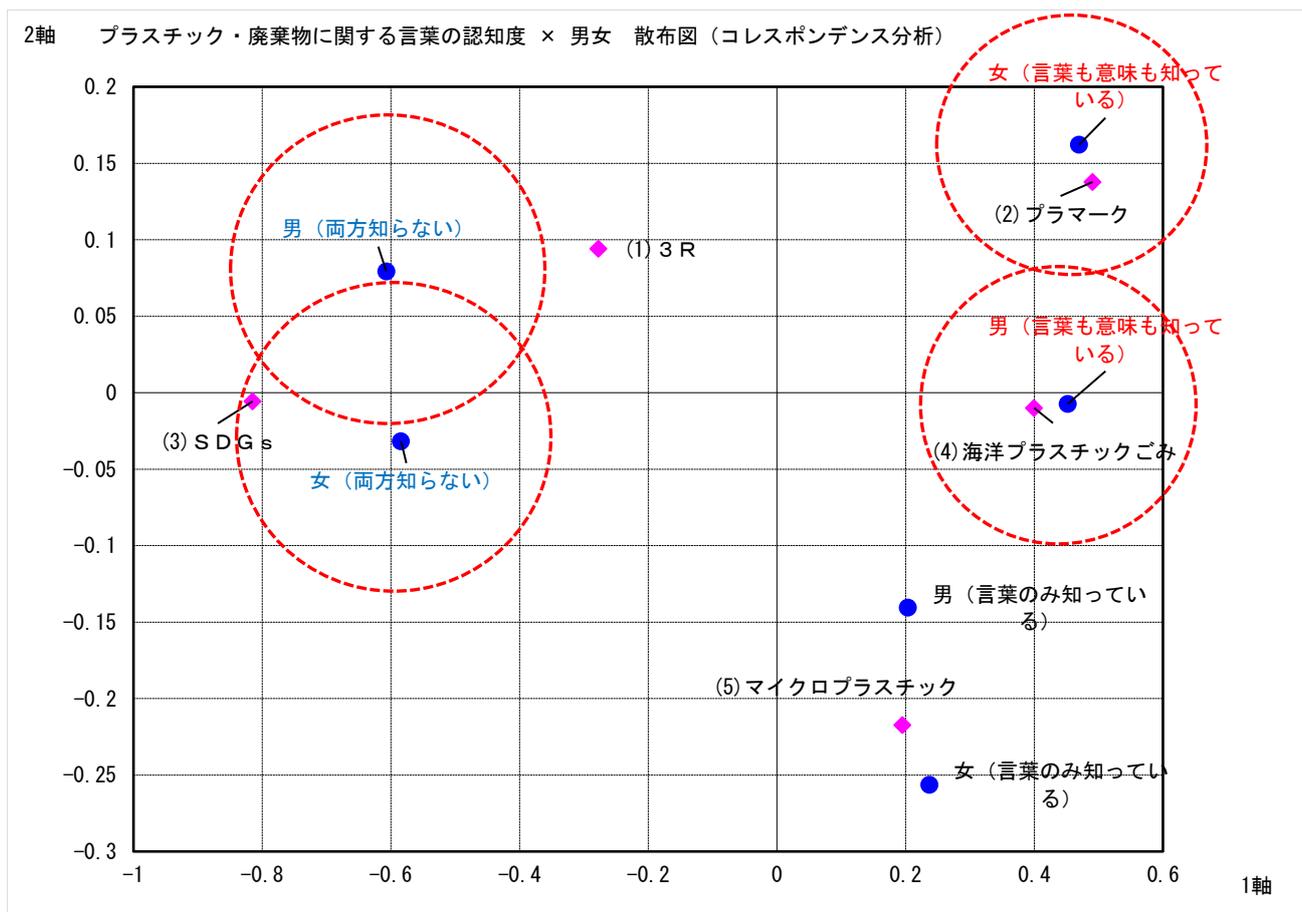


この結果をコレスポネンス分析でみると、男性が「海洋プラスチックごみ」にかなり近い位置にあり、女性は「プラマーク」とかなり近い位置にあった。

一方「SDGs」は、男女ともに「言葉も意味も知らない」と近い位置にあった。

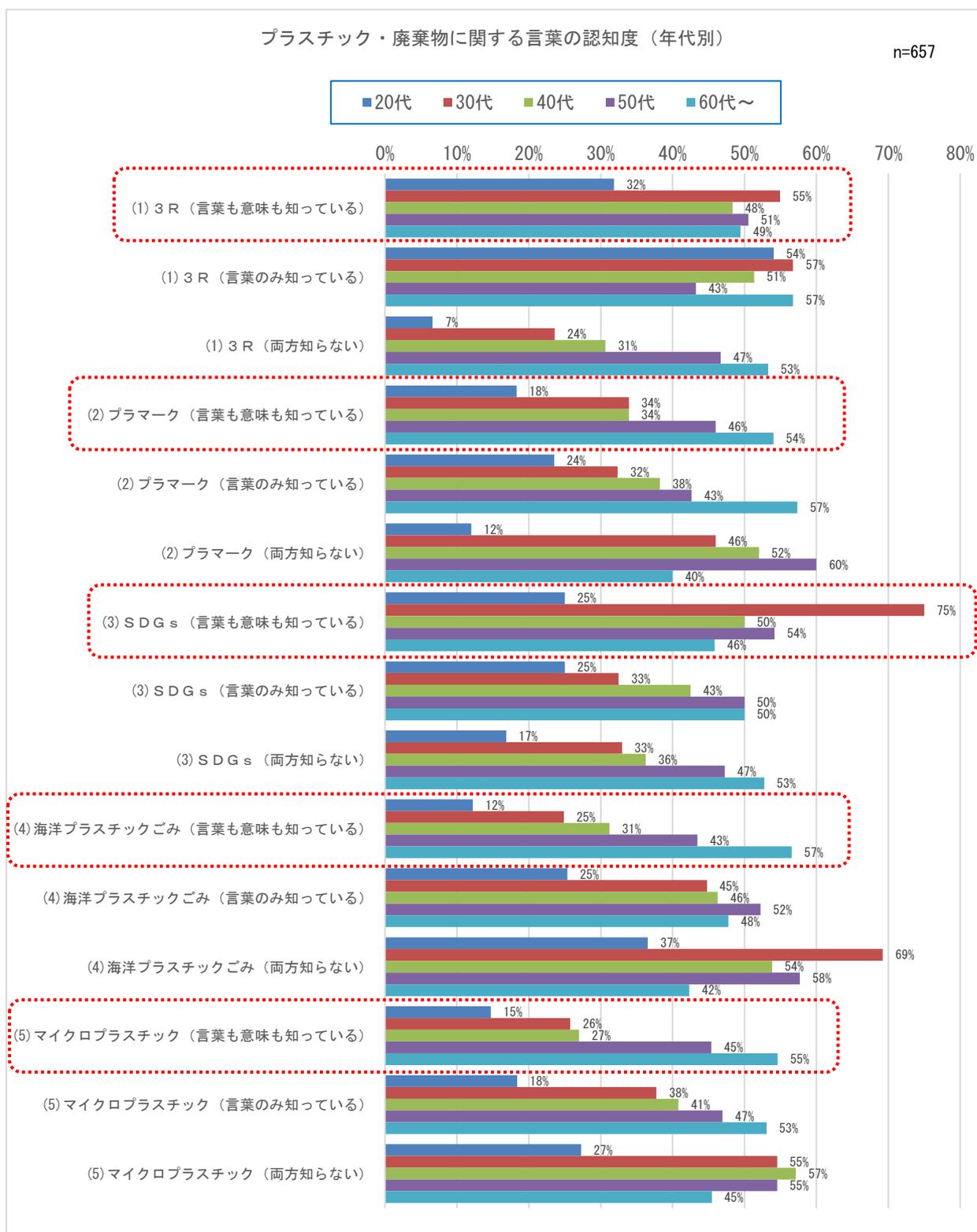
それぞれ、女性が「プラマーク」で、男性が「海洋プラスチックごみ」で認知度が高く、男女共に「SDGs」に対する認知度はかなり低いことを示すものであり、クロス分析でみた結果とほぼ同様の分析結果をより鮮明に示していた。

グラフ 5-3



年代別では、30代が「3R」、「SDGs」の認知度が高く、50代、60代以上で「プラマーク」、「海洋プラスチックごみ」、「マイクロプラスチック」の認知度が高くなる傾向がうかがえた。一方、20代は全体として認知度が低い傾向がみられた。

グラフ 5-4

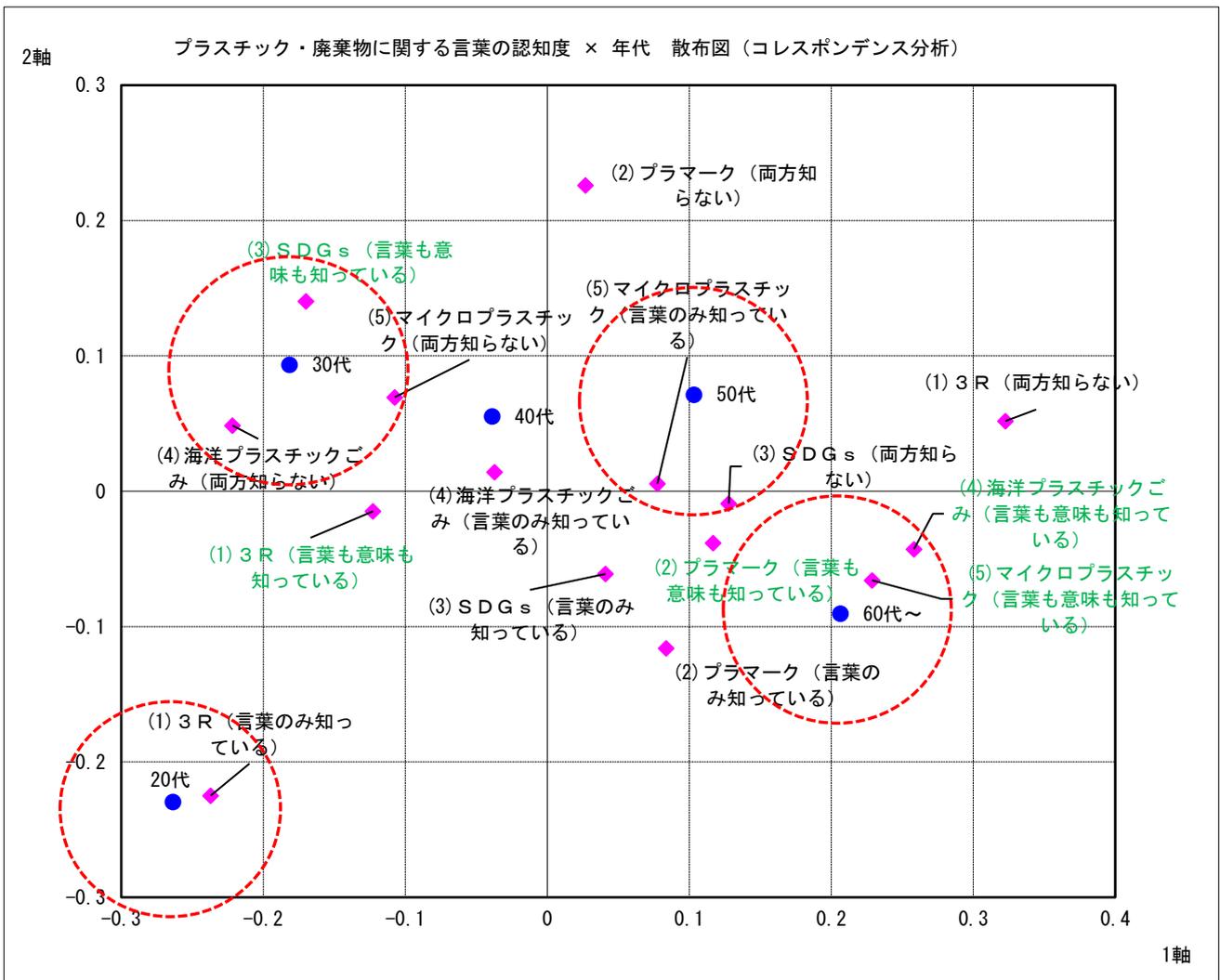


この結果をコレスポンデンス分析でみると、30代が「3R」、「SDGs」に近い位置にあり、60代以上は「プラマーク」、「海洋プラスチックごみ」、「マイクロプラスチック」と近い位置にあった。一方、20代は、プラスチック・廃棄物に関する5つの言葉のいずれとも近い位置になかった。

30代が「3R」、「SDGs」の認知度が高く、60代以上で「プラマーク」、「海洋プラスチックごみ」、「マイクロプラスチック」の認知度が高いことを示すものである。一方、20代は、プラスチック・廃棄物に関する5つの言葉のすべてに対し認知度が低いことを示すものである。

クロス分析でみた結果とほぼ同様の分析結果ながら、より鮮明に示していた。

グラフ 5-5



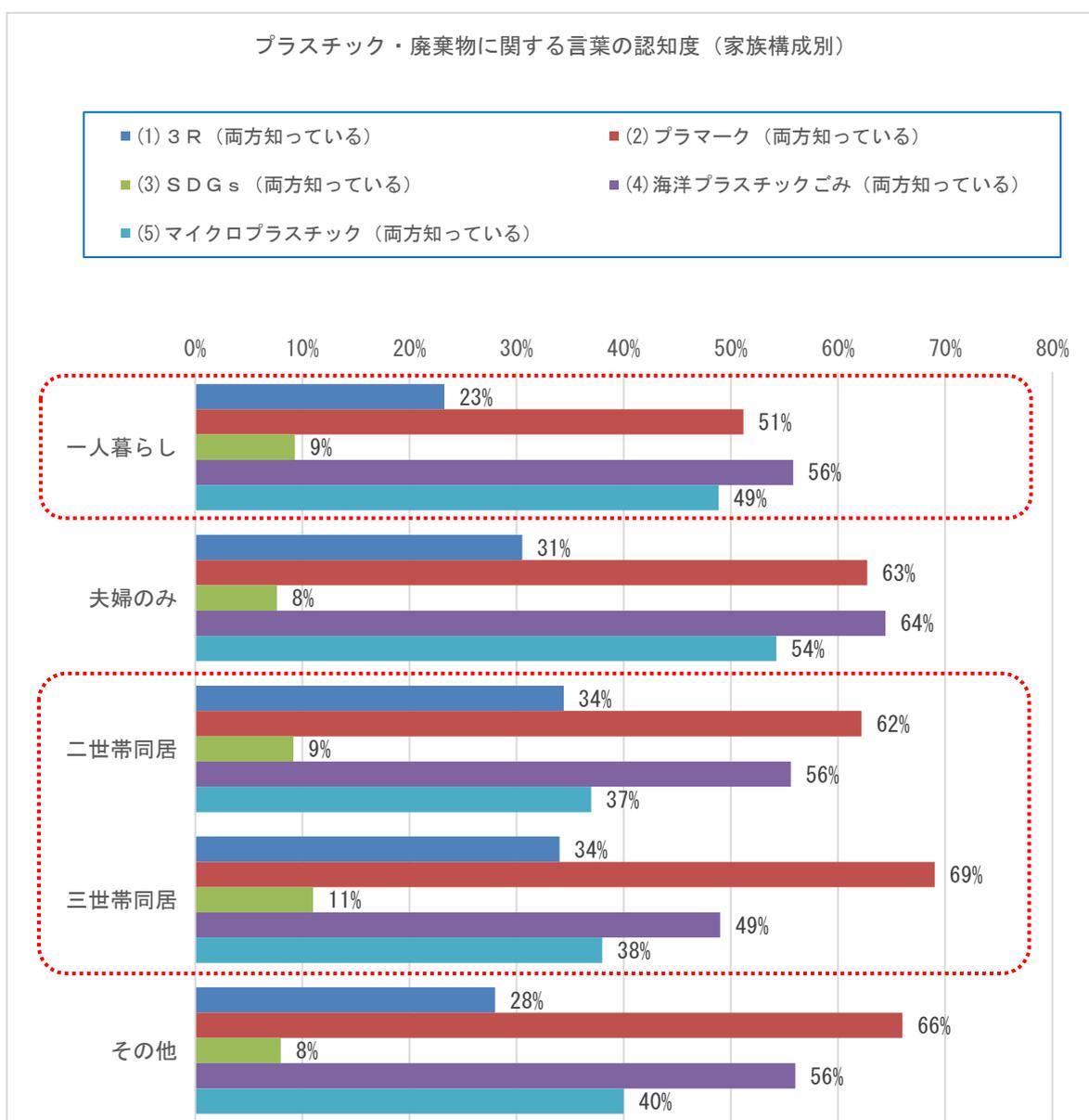
家族構成別では「言葉も意味も知っている」との回答者を対象に見ると、「3R」、「プラマーク」について相対的に認知度が低い一方、「マイクロプラスチック」について相対的に認知度が高かったのが「一人暮らし」であった。

これとは対照的に、「3R」、「プラマーク」について相対的に認知度が高い一方、「マイクロプラスチック」について相対的に認知度が低かったのが「二世帯同居」、「三世帯同居」であった。

「3R」、「プラマーク」の2つは、かなり以前から環境問題の基本用語として知られていたのに対し、「マイクロプラスチック」は、「国連持続可能な開発サミット」(2015年9月)で「国連持続可能な開発目標SDGs」が採択されて以降、一般に認知されるようになった言葉であることが、若年者構成比が高い「一人暮らし」とそれ以外の家族構成との差異につながった可能性はある。

一方、「SDGs」については、家族構成の違いによる差異は見られなかった。

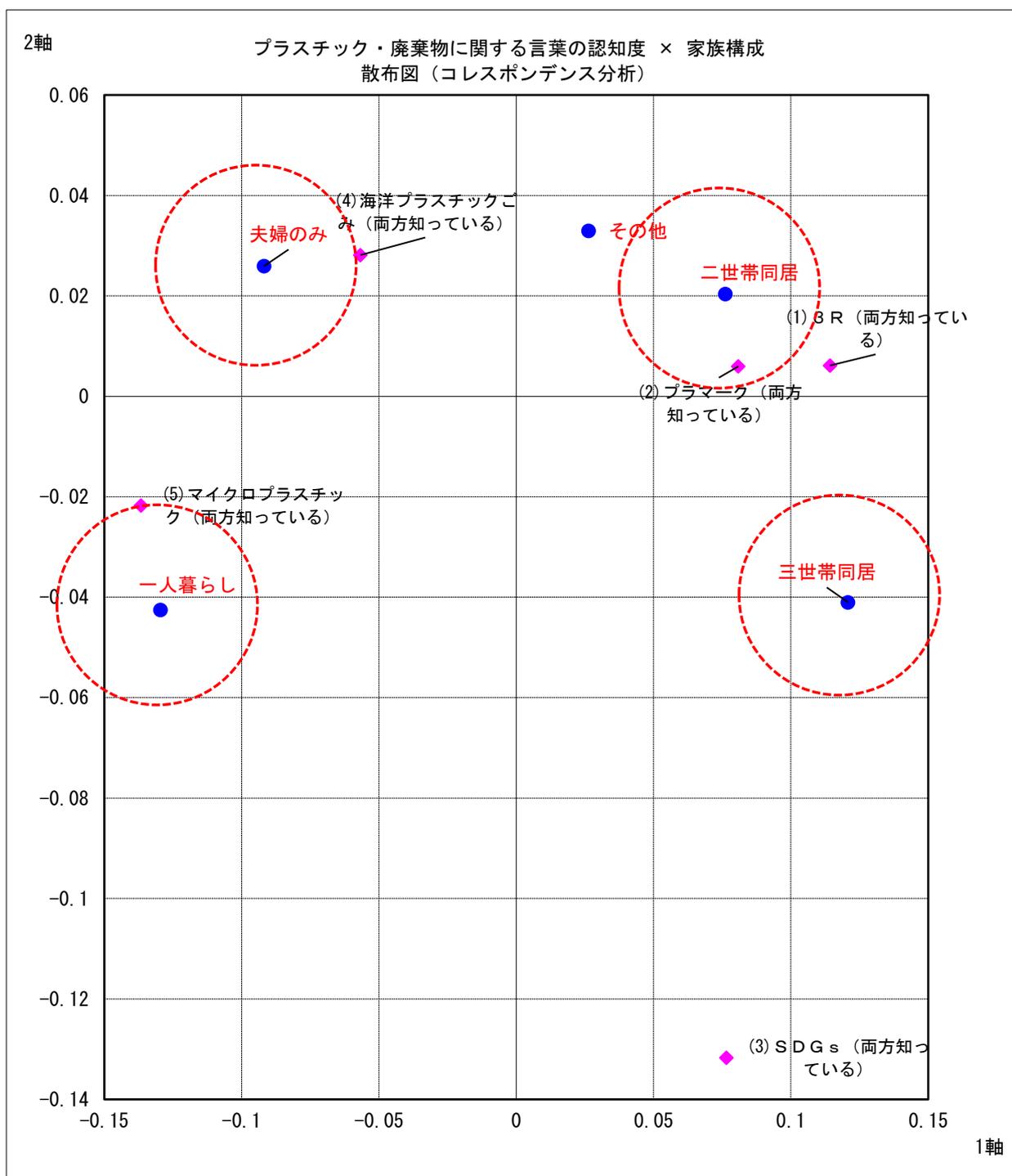
グラフ 5-6



この結果についてコレスポネンス分析で見ると、やはり「3R」、「プラマーク」について距離が離れる一方、「マイクロプラスチック」とはかなり距離が近かったのが「一人暮らし」であった。

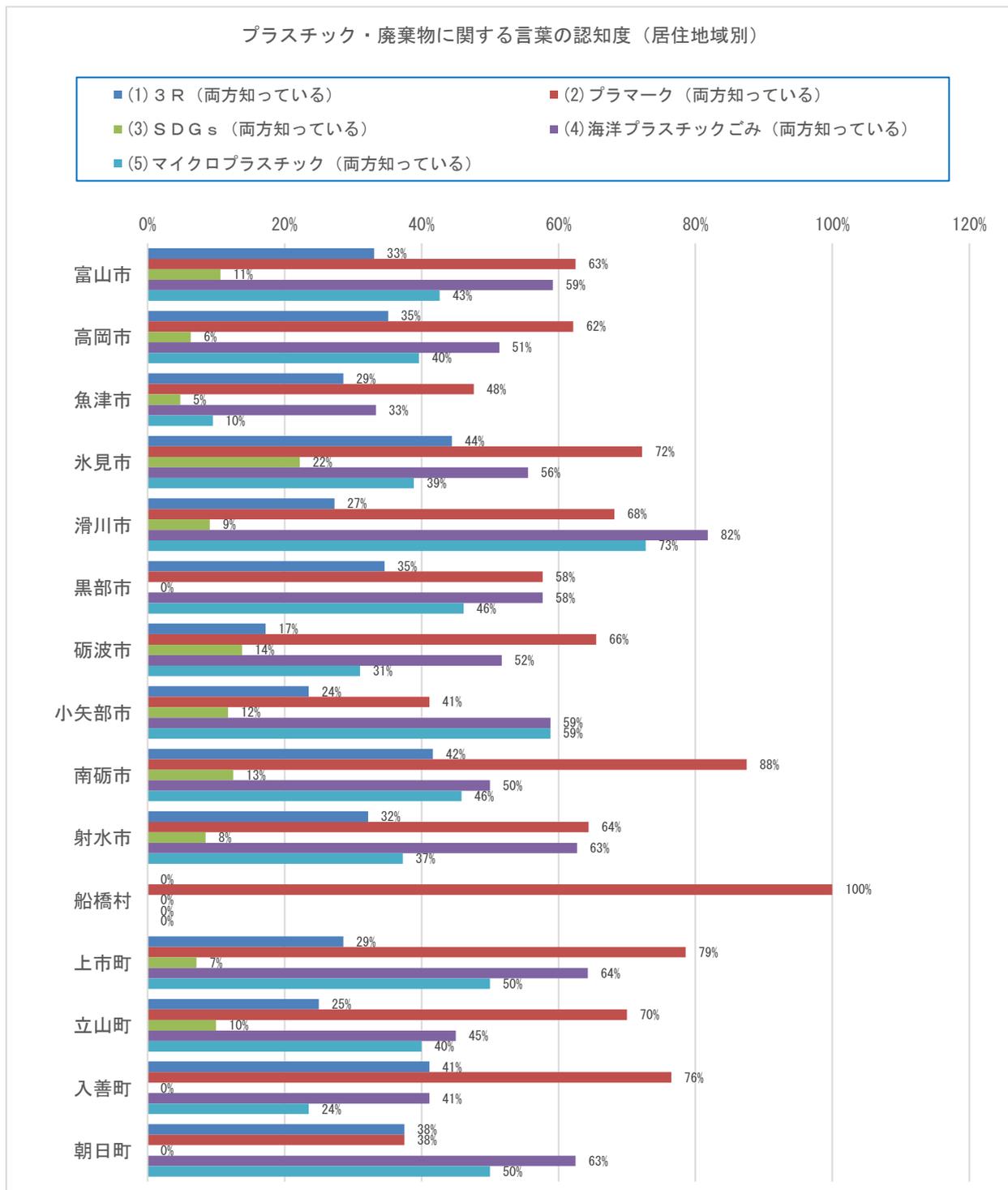
それとは対照的に、「3R」、「プラマーク」について距離が近い一方、「マイクロプラスチック」について距離がかなり離れるのが「二世帯同居」であり、比較的似た位置関係にあったのが「三世帯同居」であった。「SDGs」については、家族構成の違いによる差異は見られなかった。これらがより鮮明に確認できた。

グラフ 5-7



居住地域別の差異について、「言葉も意味も知っている」との回答者を対象に見ると、クロス集計表の情報から目立った特徴を読み取ることはできなかった。

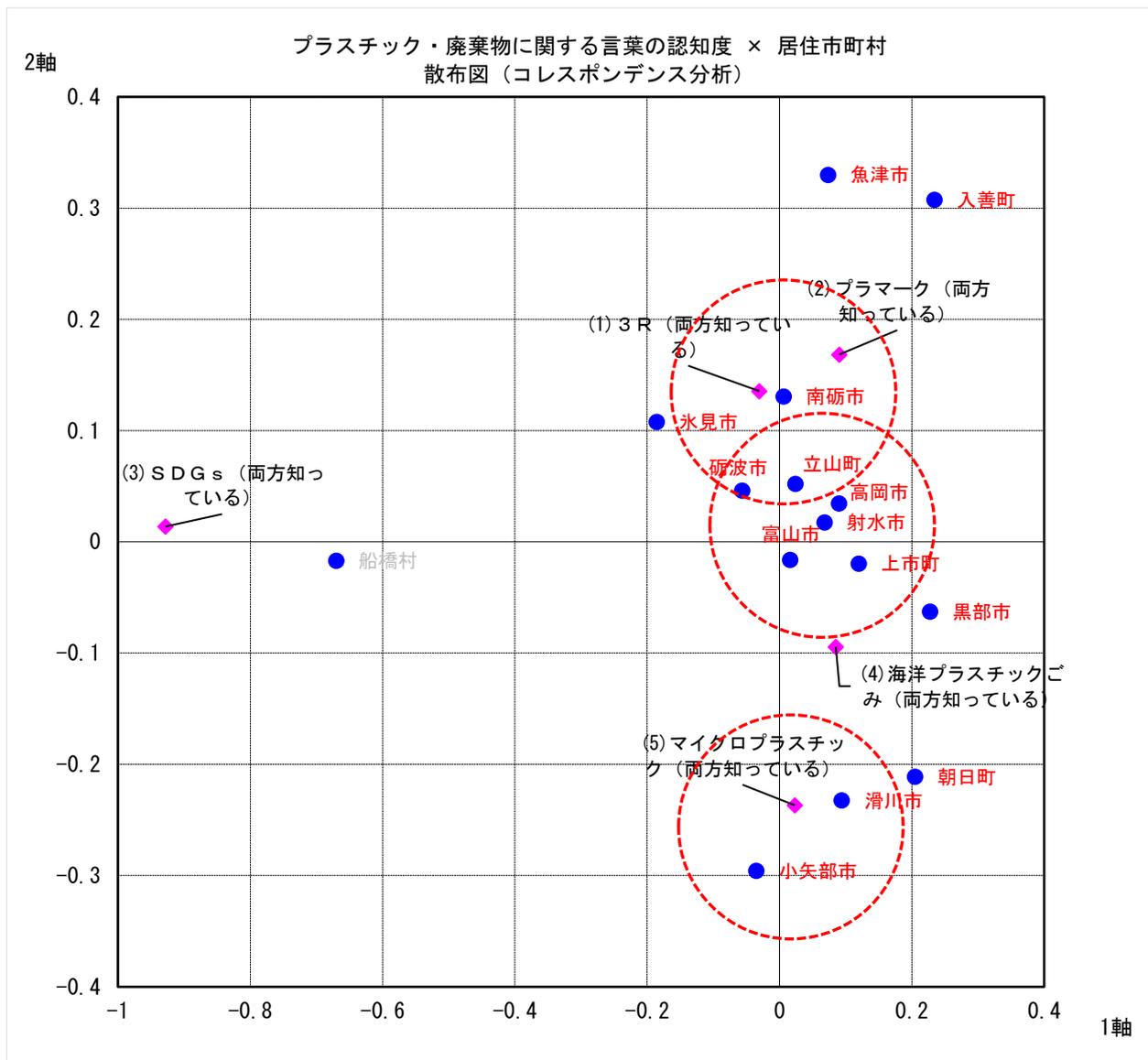
グラフ 5-8



この結果についてコレスポネンス分析で見ると、「3R」、「プラマーク」について距離が近かったのが「南砺市」であった。一方、「マイクロプラスチック」と近かったのが「滑川市」と「小矢部市」であった。

他の市町村（居住者）に目立った特徴は確認できなかった。

グラフ 5-9

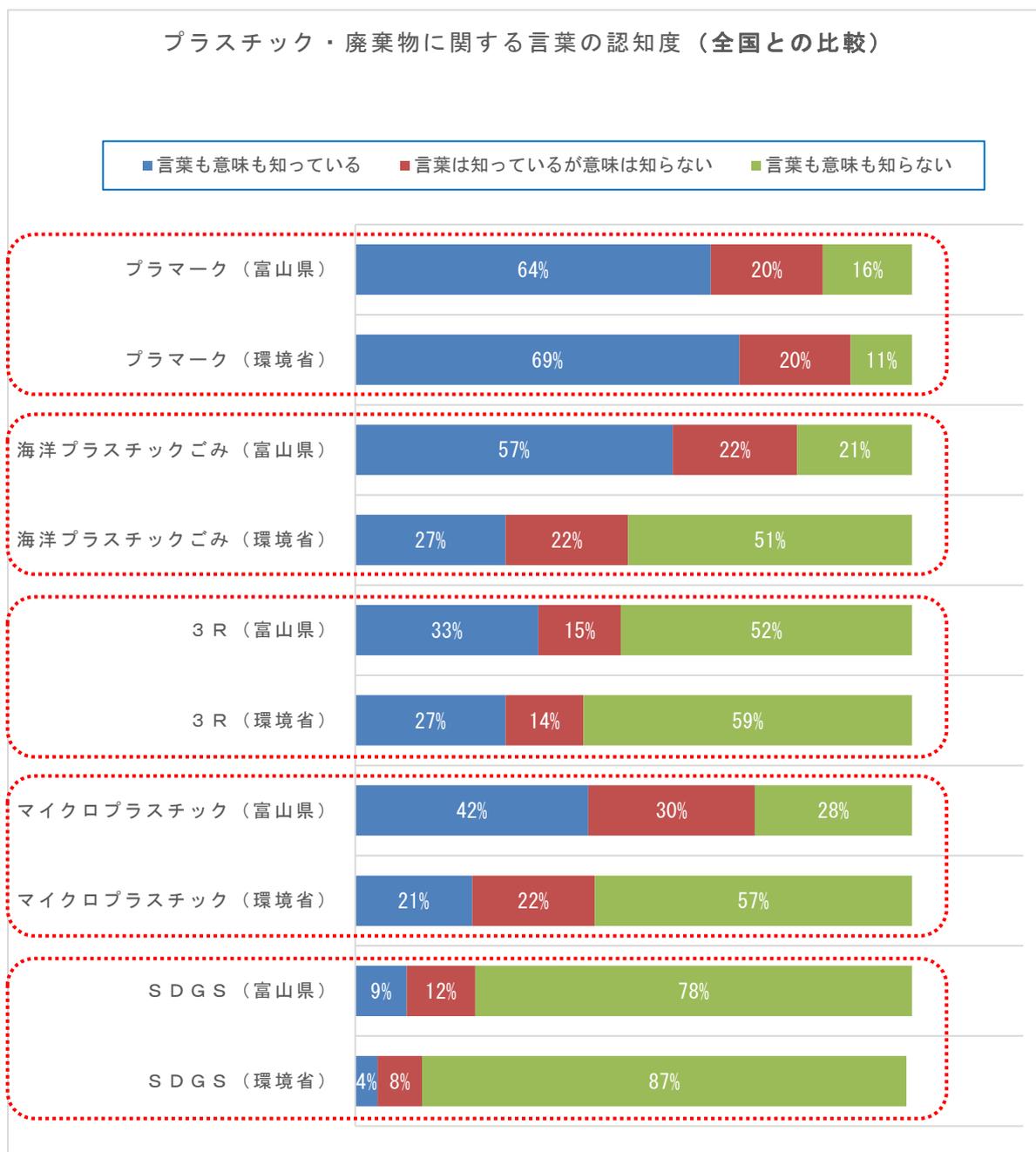


■全国（環境省調査）との比較

「プラスチック・廃棄物に関する言葉の認知度」について、全国（環境省調査）との比較を行うと、概ね富山県は認知度が高かった。

「プラマーク」は64%と全国（69%）よりやや低いものの、「海洋プラスチックごみ」が57%（全国：27%）、「3R」が33%（同：27%）、「マイクロプラスチック」が42%（同：21%）、「SDGs」が9%（同：4%）となっており、特に「海洋プラスチックごみ」と「マイクロプラスチック」については2倍以上とかなり認知度は高かった。

グラフ 5-10



8 問4回答と問5回答の相関分析による仮説検証

最後に、問5で聞いた「3R」、「プラマーク」、「SDGs」、「海洋プラスチックごみ」、「マイクロプラスチック」の各用語に対する認知度の高低が、問4で挙げた19項目の「使い捨てプラスチックの削減の取組み(リデュース・リユース)」への協力意向の強弱に対し、どのような影響を与えているのか、を調べた。

表6-1 問4回答(※)と問5回答のクロス集計表

	(1) PR (両方知っている)	(1) PR (言葉のみ知っている)	(1) PR (両方知らない)	(2) PR (両方知っている)	(2) PR (言葉のみ知っている)	(2) PR (両方知らない)	(3) PR (両方知っている)	(3) PR (言葉のみ知っている)	(3) PR (両方知らない)	(4) PR (両方知っている)	(4) PR (言葉のみ知っている)	(4) PR (両方知らない)	(5) PR (両方知っている)	(5) PR (言葉のみ知っている)	(5) PR (両方知らない)
(1) スーパーのレジ袋を無料で配布しない。	32%	13%	47%	60%	19%	14%	9%	12%	71%	54%	20%	19%	39%	28%	26%
(2) コンビニのレジ袋を無料で配布しない。	25%	9%	35%	46%	13%	11%	7%	9%	53%	42%	15%	13%	30%	22%	18%
(3) ストロー、箸、フォーク、スプーンを無料で配布しない。	22%	9%	32%	41%	12%	10%	6%	9%	47%	39%	12%	11%	29%	18%	15%
(4) 使い捨てのおしぼりを無料で配布しない。	23%	9%	31%	42%	11%	11%	6%	8%	49%	38%	13%	12%	29%	19%	16%
(5) 生鮮食品の容器を、簡易包装(ビニール袋、ノントレイ)や紙製包装で提供する。	24%	9%	35%	45%	14%	10%	7%	9%	52%	40%	15%	13%	31%	19%	18%
(6) 生鮮食品を、使い捨て食品トレイに代わり、デポジット容器で提供する。	20%	8%	29%	36%	11%	11%	6%	8%	43%	34%	12%	11%	25%	16%	16%
(7) 小売店等の弁当容器のなかでおかずを別のカップに入れない。	26%	10%	37%	47%	14%	12%	8%	9%	56%	44%	16%	14%	32%	21%	19%
(8) お寿司やお弁当にバラン(緑のギザギザ)を入れない。	29%	12%	42%	54%	16%	13%	8%	10%	64%	48%	17%	17%	35%	24%	23%
(9) 小売店の量り売りは、持参した容器に入れる。	20%	8%	29%	38%	11%	9%	6%	8%	43%	35%	12%	11%	26%	17%	15%
(10) カフェ、ファストフード店等で飲料カップにフタをつけない。	22%	10%	35%	44%	13%	11%	6%	8%	52%	41%	14%	12%	29%	20%	17%
(11) カフェ、ファストフード店等で持ち帰り用の飲料カップを無料で提供しない。	18%	7%	26%	33%	10%	9%	6%	7%	38%	32%	12%	7%	24%	16%	12%
(12) イベントやお祭り会場の食品・飲料はリユース容器で提供する。	28%	13%	45%	54%	18%	14%	8%	11%	66%	49%	19%	18%	35%	25%	25%
(13) 贈答品のお菓子であっても、フォークやスプーンを無料で入れない。	26%	11%	38%	49%	14%	12%	8%	8%	59%	46%	16%	14%	33%	21%	21%
(14) 衣料品店においてショッピングバッグを無料で配布しない。	21%	8%	31%	38%	12%	10%	5%	8%	46%	36%	13%	10%	26%	19%	15%
(15) クリーニング店のハンガー、袋を無料で配布しない。	20%	10%	28%	38%	12%	9%	5%	8%	45%	35%	12%	11%	26%	18%	15%
(16) ホテル、旅館等で、アメニティグッズを部屋に無料で置かない。	18%	6%	23%	32%	9%	7%	6%	5%	36%	31%	9%	7%	23%	14%	10%
(17) 街中やイベント等で、うちわを無料で配布しない。	29%	12%	42%	55%	15%	13%	8%	9%	65%	49%	17%	16%	35%	25%	22%
(18) 通販等の注文商品は、簡易包装で配送する。	31%	13%	46%	58%	17%	15%	9%	11%	70%	52%	20%	18%	38%	27%	26%
(19) 傘立てを置き、プラスチック製の傘袋を配布しない。	25%	10%	39%	48%	15%	11%	7%	9%	58%	41%	17%	15%	30%	23%	20%

※問4の各設問に対し「はい」(＝協力意向あり)との回答とクロス

これは、「言葉への認知度が低い場合にリデュース・リユースへの協力意向も低いのであれば、言葉への認知度を高めることによって協力意向も高めることができるのではないか？」という仮説を検証するためである。

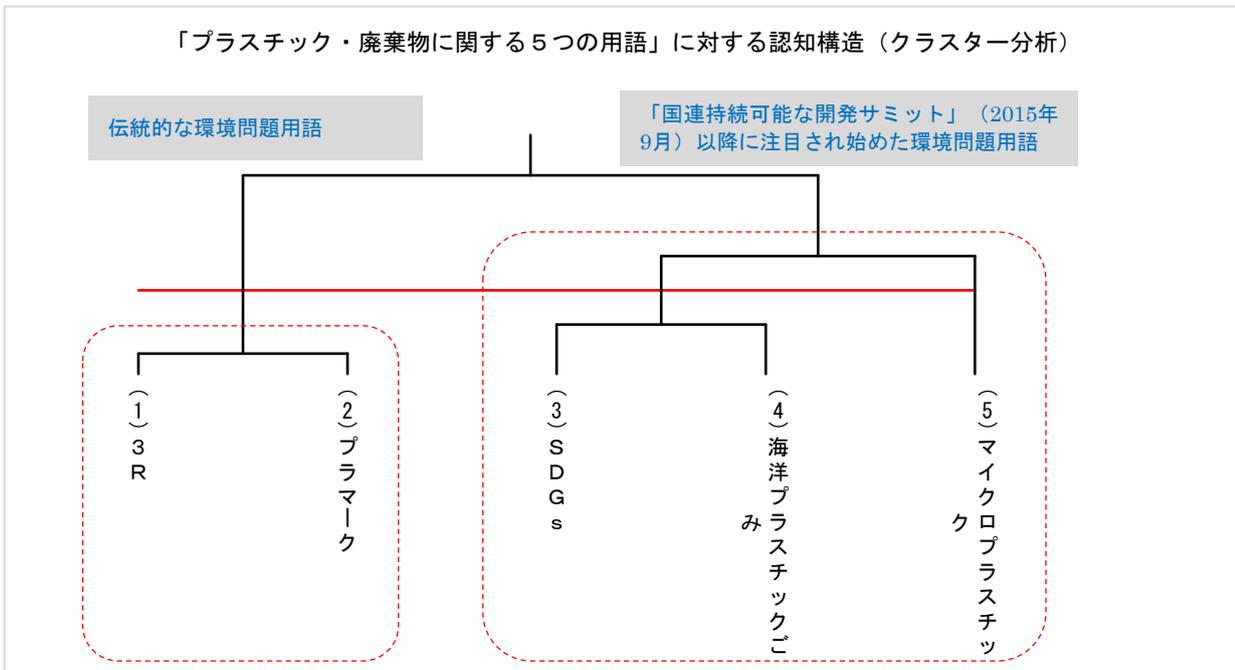
この仮説が正しければ、言葉への認知度を高める「教育」や「広報」といった施策の優先順位を上げることにより、県民の「使い捨てプラスチックのリデュース・リユース」への協力意向をより高められる可能性が出てくる。

分析では、問5で聞いた「プラスチック・廃棄物に関する言葉（5つの用語）への認知度」と、問4で聞いた「使い捨てプラスチックの削減の取組み（リデュース・リユース）への協力意向」との相関を確認した。

(1) 5つの用語に対する認知構造

まず5つの用語間に対する消費者の「認知構造」をクラスター分析で見ると、「3R」、「プラマーク」と、「SDGs」、「海洋プラスチックごみ」「マイクロプラスチック」とで、大きく2分されていた。

グラフ 6-1



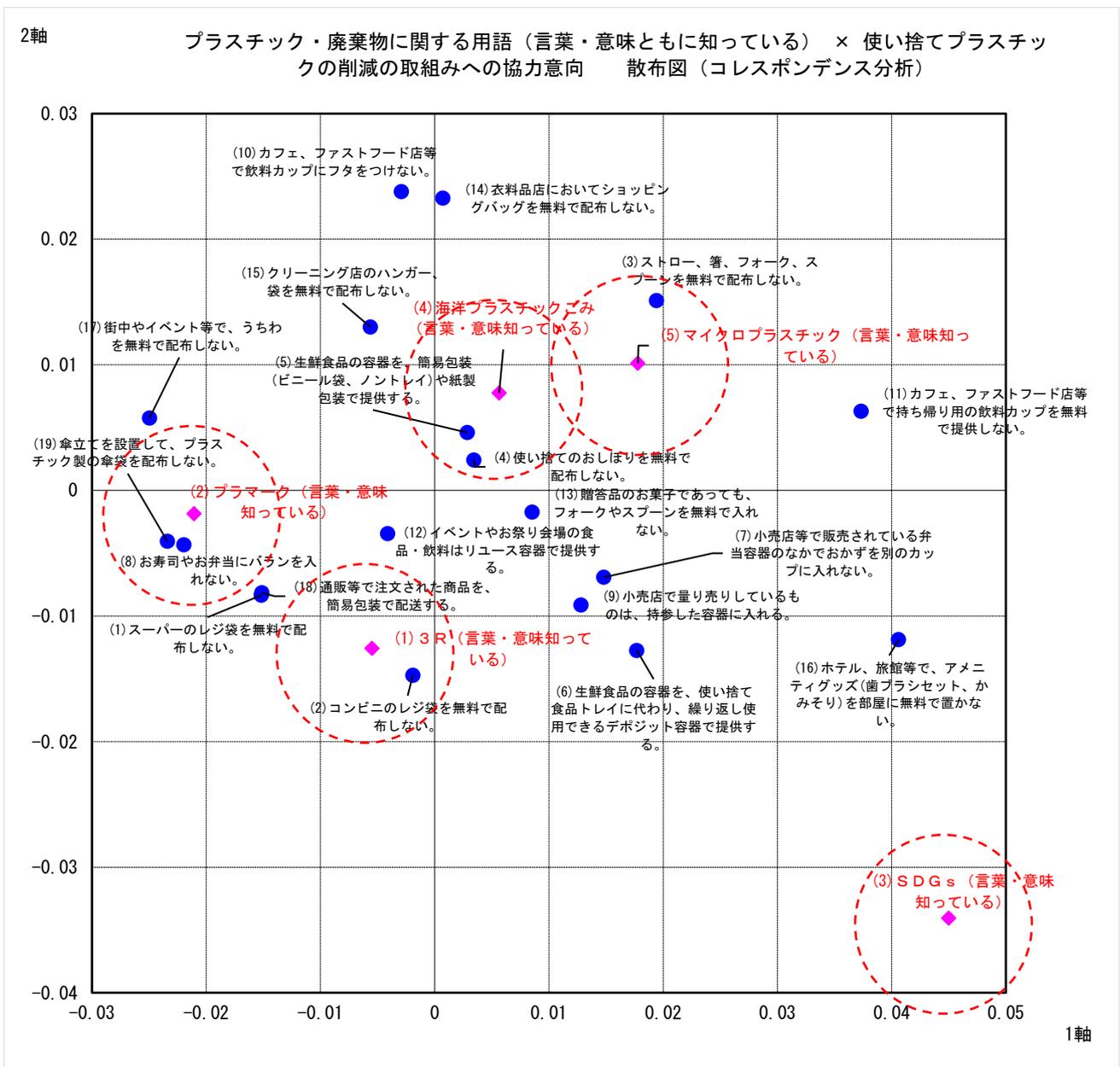
「3R」（循環型社会形成推進基本法／2000年）、「プラマーク」（資源有効利用促進法／1993年）の2つは、かなり以前から環境問題の基本用語として知られていたのに対し、「SDGs（持続可能な開発目標）」「海洋プラスチックごみ」「マイクロプラスチック」の3つは、「国連持続可能な開発サミット」（2015年9月）で「国連持続可能な開発目標 SDGs」が採択されて以降、相互に関連用語として注目され始めたからだと考えられる。

(2) 「言葉も意味も知っている」回答者の協力意向

問5で「言葉も意味も知っている」とした回答者（＝認知度が高い）が、問4で挙げた19項目の「使い捨てプラスチックの削減の取組み（リデュース・リユース）」に協力できると回答した比率データ（クロス集計表）を対象に、コレスポネンズ分析を行った。

「プラマーク」は、「(19)プラスチック製の傘袋を配布しない」や「(8)お寿司やお弁当にバランを入れない」と距離が近く、「3R」は「(2)コンビニのレジ袋を無料で配布しない」と距離が近かった。また、「プラマーク」や「3R」は、「(17)うちわを無料で配布しない」や「(1)スーパーのレジ袋を無料で配布しない」、「(18)通販等の商品を簡易包装で配送する」とも比較的近かった。

グラフ 6-2



一方、「海洋プラスチックごみ」は「(5)生鮮食品の容器を、簡易包装や紙製包装で提供する」や「(4)使い捨ておしぼりを無料で配布しない」に近く、「マイクロプラスチック」は「(3)ストロー、箸、フォーク、スプーンを無料で配布しない」に近かった。なお、「海洋プラスチックごみ」と「マイクロプラスチック」

という2用語間の距離も比較的近かった。

これに対し、「SDGs」はどの「使い捨てプラスチックの削減（リデュース・リユース）」対策とも距離が開いており、他の用語とも距離が開いていた。

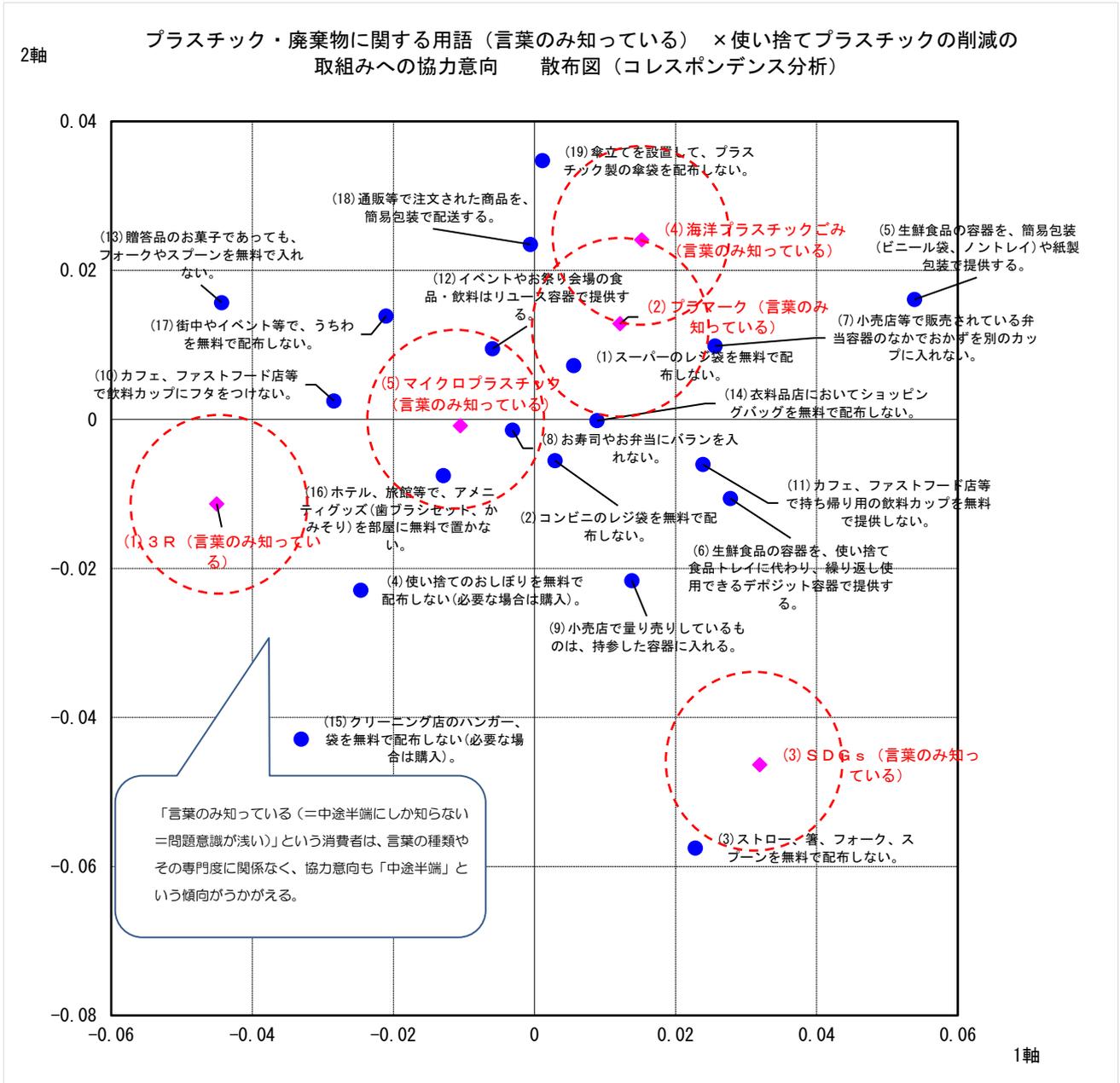
「プラマーク」と「3R」、「海洋プラスチックごみ」と「マイクロプラスチック」という2群に分かれるが、双方ともにはっきりとした相関を持つ「使い捨てプラスチックの削減（リデュース・リユース）」対策が存在しており、全体としては、「言葉も意味も知っている」回答者は、支持する「使い捨てプラスチックの削減（リデュース・リユース）」対策が明瞭である傾向が確認できた。

(3) 「言葉のみ知っている」回答者の協力意向

「言葉のみ知っている」回答者について見ると、「プラマーク」は「(1)スーパーのレジ袋を無料で配布しない」と距離が近く、「マイクロプラスチック」は「(8)お寿司やお弁当にバランを入れない」や「(16)ホテル、旅館等で、アメニティグッズ（歯ブラシセット、かみそり）を部屋に無料で置かない」と距離が近かった。

一方、「3R」及び「SDGs」は距離の近い「使い捨てプラスチックの削減（リデュース・リユース）」対策がなかった。

グラフ 6-3



「言葉のみ知っている」回答者は、はっきりとした相関を持つ「使い捨てプラスチックの削減（リデュース・リユース）」対策が存在しているものの、そのプロット数は少ない。むしろ距離が離れた項目が多い。相関が明瞭でないものや、相関が確認しづらい項目が多かった。

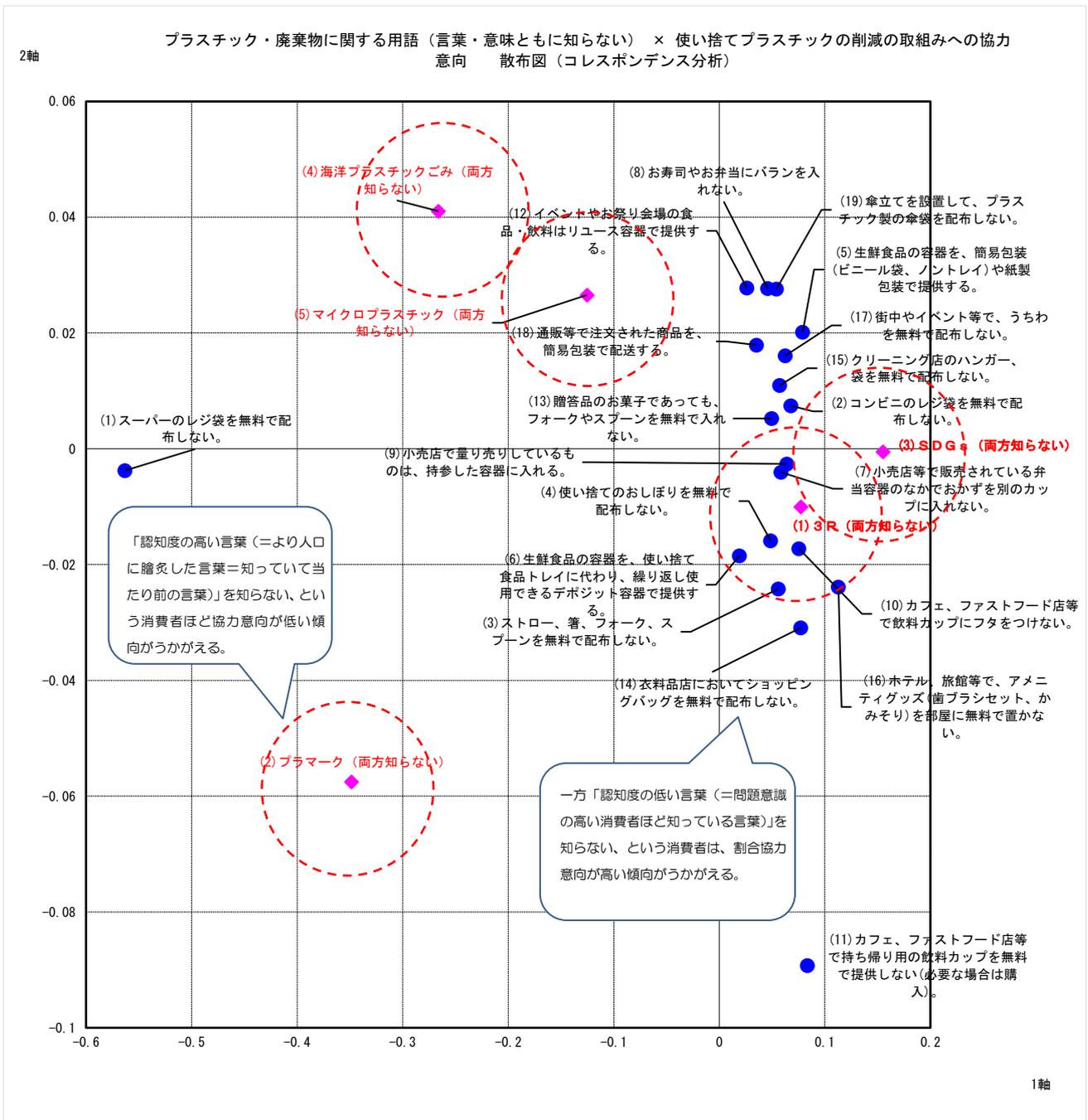
「言葉のみ知っている」回答者は、「言葉も意味も知っている」回答者に比べ、散布図のプロットが全体として散漫であり、言葉の種類やその専門度に関係なく、協力意向も「中途半端」という傾向がうかがえる。「言葉も意味も知っている」回答者に比べ、「使い捨てプラスチックの削減(リデュース・リユース)」に関する情報量が少ない可能性があり、情報量の少なさが『協力意向の持てる「使い捨てプラスチックの削減(リデュース・リユース)」対策』の項目を乏しくしている可能性がある。

(4) 「言葉も意味も知らない」回答者の協力意向

「言葉も意味も知らない」回答者について見ると、「プラマーク」や「海洋プラスチックごみ」は、どの「使い捨てプラスチックの削減（リデュース・リユース）」対策とも距離が大きく離れており、「マイクロプラスチック」も近い距離にある「使い捨てプラスチックの削減（リデュース・リユース）」対策がなかった。

一方、「3R」は、「(7)小売店等で販売されている弁当容器のなかでおかずを別のカップに入れたい」や「(9)小売店で量り売りしているものは、持参した容器に入れる」、「(4)使い捨てのおしぼりを無料で配布しない」、「(19)カフェ、ファストフード店等で飲料カップにフタをつけない」などと距離が近かった。また、「SDGs」は「3R」と距離が近かった。

グラフ 6-4



問5の回答結果は、先ほど見たように、「プラマーク」の認知度（言葉も意味も知っているという回答した割合）が64%と最も高く、次いで「海洋プラスチックごみ」が57%、「マイクロプラスチック」が42%、「3R」が33%と続き、「SDGs」は9%と最も認知度が低かった。

「プラマーク」や「海洋プラスチックごみ」のように6割前後が知っている「認知度の高い言葉」（＝より人口に膾炙した言葉＝知っていて当たり前の言葉）を知らない、という消費者ほど「使い捨てプラスチックの削減（リデュース・リユース）」対策のプロットから離れており、協力意向が低くなる傾向がうかがえる。

一方「SDGs」や「3R」のように「認知度の低い言葉」を知らない、という消費者は、「プラマーク」や「海洋プラスチックごみ」、「マイクロプラスチック」への認知が低い消費者と比較して協力意向が高かった。

「SDGs」や「3R」のように今回の調査で認知度の低かった言葉は、「アルファベットの頭文字で表記された言葉」であることに加え、「複数の概念や言葉を織り込んだ言葉」であるため、環境問題やニュース情報に関心の高いセグメントの消費者（＝問題意識の高い消費者）ほど認知度の高くなった傾向が推測される。

（5）言葉の認知度に比例する協力意向

「言葉も意味も知っている」、「言葉のみ知っている」、「言葉も意味も知らない」という3段階レベルの認知度に対し、19項目の「使い捨てプラスチックの削減（リデュース・リユース）」への協力意向の強弱がどのような相関を持つのかについてこれまで見た。

まず、「言葉も意味も知っている」回答者は、支持する「使い捨てプラスチックの削減（リデュース・リユース）」対策が明瞭である傾向が確認できた。

「言葉のみ知っている」回答者は、「言葉も意味も知っている」回答者に比べ、散布図のプロットが全体として散漫であり、言葉の種類やその専門度に関係なく、協力意向も「中途半端」という傾向がうかがえた。

「言葉も意味も知らない」という回答者は、言葉の認知度レベルの高低によって正反対の傾向となった。「（一般的には）認知度が高い言葉」を知らない回答者は、「使い捨てプラスチックの削減（リデュース・リユース）」への協力意向が相対的に低かったが、対照的に「認知度が低い言葉」を知らない回答者は多くの項目に対して協力意向がかなり高くなる傾向が見られた。

これまでの分析と考察から、「言葉の認知度が高いと協力意向も高くなる傾向が見られる」という「言葉の認知度と協力意向との正相関」がある程度確認できた。

認知度を高める「教育」や「広報」と、「リデュース・リユースへの協力意向」の強弱との相関を確認せずに軽々に結論は下せない。しかし、「言葉への認知度を高めることによって、リデュース・リユースへの協力意向も高めることができる」という可能性があることが確認できた。

9 問2、問3、問4 ごとのご意見

問2、問3、問4のそれぞれでは、自由記述形式でもご意見を聞いた。

問2では『その他、上記以外で普段している「プラスチックごみの削減の取組み』を、問3では『その他、「プラスチックに関するサービス」で過剰だと思うもの』を、問4では『その他、「使い捨てプラスチックの削減の取組み」で協力できると思うもの』をうかがった。

表 2-1 問2、問3、問4の設問に対する自由記述欄でのご意見

※表中の「B」は、無記述
(Blank) を意味する

				問2	問3	問4
市町村	男女	年代	家族構成	(7)その他、上記以外で普段している「プラスチックごみの削減の取組み」があれば、ご記入ください。	(17)その他、「プラスチックに関するサービス」で過剰だと思うものがあれば、ご記入ください。	(20)その他、「使い捨てプラスチックの削減の取組み」で協力できると思うものがあれば、ご記入ください。
富山	男	20	2世代	ペットボトルはスーパーでリサイクル。パック料理は買わない。	スーパーでなんでもかんでもトレイに乗せる、ということがあります。たとえば、容器入りの茶碗蒸しにトレイ、きのこにトレイ、トマトにトレイ、などなど。	B
富山	男	20	2世代	資源ごみの分別をして、スーパーに持って行く。	・生鮮食品についてくる保冷剤 ・さしみ、肉類など、小さいビニールに1個ずつ入れること。汁が漏れないようにしていると思うが、必要なら自分で入れる。	※エコポイントがもう少し増えれば、みんなもっとがんばると思う。 2ポイント→5ポイント or 7ポイント など ※透明な袋に入ったダイレクトメール。のりがくっつくし、あつかいにくのでいらない。
富山	男	20	2世代	B	B	ごみの分別をしっかりする。 マイバッグを常に持参する。
富山	男	20	2世代	使う側がプラゴミをしっかりと分別して捨てること。 それを自治体が確実に処理すれば良いと思うが、守られていない事も多い様思う。	B	B
富山	男	20	2世代	B	生理用ナプキンを別の黒い袋に入れる。	B
富山	女	20	2世代	スーパーでプラスチックのトレイを回収している場合は協力する。	B	B
富山	女	20	3世代	詰め替え（洗剤等）できる物を買うようにしている。	B	B
富山	男	30	2世代	B	B	プラスチック代替品を、富山県産間伐材等再生可能なもので作ってくれば、積極的に買いたい。
富山	男	30	2世代	袋のカスケード利用	B	B
富山	男	30	夫婦のみ	(問2の)3、4(の項目)は、ごみ削減目的ではない。	B	B
富山	男	30	2世代	ゴミ袋がきれいな場合は再利用する。	スーパーでビニール袋がレジの後ろの場所に置いてあるが、それを大量に取っている人がいる。	DMで送られてくるプラスチックの袋などはいつも捨てるので、無駄だと思う。
富山	女	30	夫婦のみ	スーパーなどで買ったプラ容器、ペットボトル等、リサイクルできる物はなるべくリサイクルに出している。	ほとんどの商品が過剰包装。ネット通販など宅配物に関して、緩衝材などオプションにしてお金を発生させても良いと思う。	B
富山	女	30	2世代	B	B	有料になったらなったで、対応できる。
富山	女	30	2世代	B	お土産を買うと個数分の小分け袋を付けてくれるが、必要枚数を聞いて欲しい。	B
富山	女	30	2世代	・食品トレイはスーパーに持って行く ・プラ製容器包装に分別して出す	B	B
富山	女	30	2世代	B	小袋+トレイ+大袋に入っている商品	B

				問2	問3	問4
市町村	男女	年代	家族構成	(7)その他、上記以外で普段している「プラスチックごみの削減の取組み」があれば、ご記入ください。	(17)その他、「プラスチックに関するサービス」で過剰だと思うものがあれば、ご記入ください。	(20)その他、「使い捨てプラスチックの削減の取組み」で協力できると思うものがあれば、ご記入ください。
富山	女	30	2世代	生ごみをプラ袋→新聞紙に包んで捨てる。	B	個人でできることには限りがあるので、国や自治体で強制的にしていきたいと思います。便利なものから不便になるのはつらいですが、子供たちのために少しでも環境に良い取組みをしていけたらと思います。洗剤などの詰替えが量り売りとかになればいいと思う。
富山	男	40	2世代	部屋で生活中に生じたごみから、紙類（主に菓子等のパッケージやDM郵便物など）、廃プラ（主に菓子袋、タバコ等の外装フィルムなど）は分別している。	B	B
富山	女	40	2世代	B	ウニやイクラなど高級食材にありがちに感じるのは、大きなトレイの中に小さなカップや更に小さいトレイに食材が入っていること。いつもムダだと感じています。	B
富山	女	40	2世代	B	遅い時間のスーパーで、それまで自分で好きな量取って買う揚げ物とか、数個ずつプラのトレイに入れて割引シールが貼られてたりする。今から何割引きでいいような気がする。 私が揚げ物を買う時は、ビニール袋とかに入れてくるのですが、その袋はまた生ごみ入れて捨てるとか、利用できるが、使い捨てのプラ容器は使いようがないのでただのごみ。いつもいらないうえだと思います。	B
富山	女	40	2世代	B	デパート等で雨天時に、紙袋にさらにナイロン袋をかけて商品が提供されること。	B
富山	女	40	夫婦のみ	B	食料品購入時に水物（こんにやくなど）、野菜を小袋に入れられること。	B
富山	女	40	2世代	B	B	コーヒーのポーションミルクやガムシロの有無は希望制にすればいいと思う。
富山	女	40	2世代	傘袋はそもそも使いません。レジ袋をもらわない、ぐらいしか出来ることがあまりない。	B	使い捨て、とは少し違いますが、海岸清掃を近隣の方のご好意（ボランティア）だけに頼るのはムリがあります。 海岸付近に住んでいたことがありますが、波の方向によっては打ち上げられる大量のプラごみが翌日には全部海に戻っています。 それを全部ボランティアの手ですくい上げるのは不可能です。特に小さく砕かれたプラスチックは拾うことができません。 更に、海岸ごみの多くはペットボトルです。これにデポジットを付ければ、かなり削減できるかと思えます。 ゴミ箱の設置も少ないし、日本人の良心にごみ処理の方法を頼りすぎだと思います。旅行者に持ち帰りを期待するのも、そもそもムリがあります。 プラごみを減らすのも大事ですが、正しく捨ててもらえる方法を、減らしてしまえる前に考えるのが先ではないかと思えます。

				問2	問3	問4
市町村	男女	年代	家族構成	(7)その他、上記以外で普段している「プラスチックごみの削減の取組み」があれば、ご記入ください。	(17)その他、「プラスチックに関するサービス」で過剰だと思うものがあれば、ご記入ください。	(20)その他、「使い捨てプラスチックの削減の取組み」で協力できると思うものがあれば、ご記入ください。
富山	女	40	3世代	ペットボトルはプラゴミと分別し、専用の回収BOXに入れている。	(12)プラスチックハンガーをやめて、紙のハンガー（有料でも良い）にしたら良い。	・日常の場面での削減は協力できる（富山のレジ袋のように、慣れると出来る）。 ・非日常（私自身にとっては、旅館に泊まる、クリーニングに出すこと、コンビニなど）の場面ではサービスを求めるため、全面的に協力しかねる。
富山	女	40	その他	B	生理用品の別袋	B
富山	女	40	2世代	B	B	お弁当屋さんで、持参したお弁当箱にご飯とおかずを入れてもらう。（ただしその分は割り引いてもらう）
富山	女	40	2世代	B	B	日用品は、詰替え用のものを購入。
富山	男	50	1人	使い捨てライターは使用しない。ガスライター、オイルライターを使用している。詰め替えの商品を買っている。シャンプーとか洗剤とか、ボトルのゴミは無い。	B	マイボトルはできると思う。
富山	男	50	2世代	B	B	プラスチックではなく、紙袋で代替してもらえるものは多いと思います。
富山	男	50	1人	B	特にありません。上記列挙されているものを少しでも過剰と思わなかった自らの意識の低さに反省させられました。	B
富山	男	50	2世代	B	無料、有料かわからず、ポイ捨てされたら結果は同じ。だいたい分別された物がきちんとリサイクルされているとはとても思えない。無駄なことに労力をかけるより、効率良く焼却する方法を考えた方が良い。	B
富山	男	50	夫婦のみ	プラ、ペットボトル→回収しているスーパーへ持って行く。	B	B
富山	男	50	2世代	B	B	ダンボール詰めの際の緩衝材をプラスチック空気袋とかでなく、新聞紙をまるめたり、ダンボールの緩衝材の工夫で代用する。
富山	女	50	3世代	ムダな物はもらわない。	B	B
富山	女	50	夫婦のみ	B	「問3(16)」の件に関しては、水滴がとれる機械等が置いてそこに入れたら店内もぬれないようであれば、傘袋は必要ないかと思う。そういうものがあれば便利。	B
富山	女	50	夫婦のみ	コンビニ等の買い物で、おしぼり、スプーン、フォークは断る。	B	B
富山	女	50	2世代	B	B	100円ショップの収納グッズ等は、使い捨てではないかもしれないが、なくてもよい（代替品でもよい）と思う。
富山	女	50	夫婦のみ	できるだけ簡易包装のものを買うようにする。	B	私達が普段分別しているプラゴミは、リサイクルされているのではなく、ただもやされているだけと聞いて、大変がっかりしています。家庭の努力が直接リサイクルに活かされる仕組みづくりを真剣に取り組んでいくべき時ではないでしょうか。

				問2	問3	問4
市町村	男女	年代	家族構成	(7)その他、上記以外で普段している「プラスチックごみの削減の取組み」があれば、ご記入ください。	(17)その他、「プラスチックに関するサービス」で過剰だと思うものがあれば、ご記入ください。	(20)その他、「使い捨てプラスチックの削減の取組み」で協力できると思うものがあれば、ご記入ください。
富山	女	50	3世代	B	・肉パックの中に葉っぱの模様のバラが入っている ・肉パック、魚パックを買うと、お願いもしないのにいちいちビニール袋に入れる ・通販商品にたくさんのプラスチックの緩衝材が入っている ・人参が一本一本ビニール袋に入っていた ・お菓子が、大袋の中にまた小袋が入って小分けになっている ・お菓子一個一個が小袋に入っている	・さしみ、肉など買うとき、家から容器を持参して、トレイに入れてもらわなくていい。 富山県が率先して日本一の使い捨てプラ使用ゼロになるようがんばりましょう！！
富山	女	50	2世代	リサイクルされると思われている廃プラスチックごみをあえて燃えるゴミとして出す。	スーパーの店員さん（レジのスタッフさん）によっては、ご丁寧に生魚、生肉や汁気のあるおかずなどをプラスチック袋にわざわざ入れて下さいます。サービスとしてやっておられるようですが、そこまでなくてもいいのと思います。	B
富山	女	50	2世代	B	葬儀でいただく香典返しの品物は、何重もの包装しており、とても過剰だと思う。また上げ底の梱包シートもやめればよいと思う。	B
富山	女	50	3世代	毎日の買い物には、いつもカゴをもっていきます。	過剰包装が多いといつも感じていました。プラスチックごみは分別してきましたが、もうやめて燃えるごみに出せるようにすればよいのでは…	ペットボトルは軽くて便利ですが、大量のプラスチックごみになるので、マイボトル、マイカップで、職場ではごみを出さないようにしています。
富山	女	50	2世代	燃えるゴミの時、紙袋に入れて、ゴミを出す事がある。	B	B
富山	女	50	その他	買い物する時は必ずダンボールを使うようにしている。	B	B
富山	男	60	夫婦のみ	プラスチックごみの仕分け出し	B	B
富山	男	60	夫婦のみ	B	B	買物にマイバッグを持参。これを徹底すればいいと思います。ストロー、箸、フォーク、スプーンは、軽い気持ちで取組めば、自然と使用量が減少すると思う。
富山	男	60	2世代	洗剤など家庭用品は極力詰め替え用を利用する。	個人レベルで削減することも重要だが、有価物として取引されたものを不法投棄したり不適切な処分をする業者を放置している方が絶対量も多いし、罪も重い。	「容器包装リサイクル法」がプラゴミ増加の元凶だと思う。（不法投棄も含めて！）法律を改正し、「材質ごとのリサイクル法」にすれば大幅に削減できると思う。
富山	男	60	夫婦のみ	車で買いものに行くことが多いので、ダンボールの箱を積んでいて、いつもそれを利用している。	家電製品の梱包に発泡スチロールがまだ多く使われている。プチプチのエア・クッションも多く、ダンボールを使った緩衝材に代えていくべき。	B
富山	男	60	B	B	B	スーパーへ空トレイを持っていくようにしています。
富山	女	60	夫婦のみ	シャンプーや台所中性洗剤を買う時は、詰め替え用のものを買入している。	食料品の宅配のときの大きな袋は不要なのだが、配達する人にとっては必要なのかな？	B
富山	女	60	夫婦のみ	プラゴミ分別回収に協力。	B	クリーニング店のハンガーは、クリーニング店へ返すと、1個2円返金してくれるし、ホテルのアメニティグッズは、必要なものだけ選ぶところも増えてきています。
富山	女	60	2世代	おみやげを購入した際、なるべく多くのビニール袋をもらわないようにしている。	B	B
富山	女	60	夫婦のみ	洗剤、シャンプー等は必ず詰め替え用を買い、ごみの削減に努めています。	B	B
富山	女	60	夫婦のみ	B	B	傘たてに傘を入れ、何度もなくりました。各自袋を持参、又は自費購入。
富山	女	60	1人	お茶はやかんで沸かし、（使った）ペットボトルに入れている。	B	B

				問2	問3	問4
市町村	男女	年代	家族構成	(7)その他、上記以外で普段している「プラスチックごみの削減の取組み」があれば、ご記入ください。	(17)その他、「プラスチックに関するサービス」で過剰だと思うものがあれば、ご記入ください。	(20)その他、「使い捨てプラスチックの削減の取組み」で協力できると思うものがあれば、ご記入ください。
富山	女	60	夫婦のみ	スーパーの袋はゴミ出し用を使う。ゴミ袋はなるべく買わない。トレイは農作物の下に敷くなどなるべく再利用をして捨てないように心がけています。ゴミではなく必要な物として使うことができたらゴミではないのでは、と思います。	お菓子の小袋の必要があるのか。	小売店で紙で代用できる物はすべて紙にする。
富山	女	60	夫婦のみ	プラスチックゴミの回収の日はなるべく出すように心掛けている。	B	B
富山	女	60	夫婦のみ	B	通販の包装は過剰。とても迷惑!	B
富山	女	60	2世代	普段飲むお茶は、ペットボトルを買わず、自宅で沸かしたお茶を飲むようにしている。	B	B
富山	女	60	夫婦のみ	資源ゴミとしてスーパー等に持って行く。ゴミとならない様に分別して出している。	食品は衛生上不安な時があり、不要な時はことわる。	未来の子供達の為、少しでも削減に微力ながら協力したいと思っている。お金を出して購入するなら、品物を購入しない。
富山	女	60	2世代	特に意識していません。	過剰かどうかは、サービス提供時のT.P.Oによるので、一概に、はい、いいえは答えられない場合があります。	啓蒙といういい意味では、積極的に公共放送等で周知することが大事かと思えます。つまり、「協力」しやすさの一步を早く導入すること。
富山	女	60	1人	プラスチックのペットボトルより紙パックに包装されているものを買うようにしている。	B	B
富山	女	60	2世代	・シャンプー、リンス、洗剤など詰替える物は、詰替え用の物を購入している。 ・コンビニ弁当などは買わず、自分で作った弁当を持っていく(家族全部)。	B	B
高岡	女	20	3世代	B	B	封筒はプラスチックのものではなく、紙封筒でも可能であり、協力できる。
高岡	男	30	2世代	食器など、プラスチック製品はなるべく購入しない。	B	B
高岡	女	30	夫婦のみ	B	お菓子の袋の中に、個包装されているもの。	B
高岡	男	40	夫婦のみ	B	B	リサイクルのシステムをしっかり整備することが必要です。
高岡	男	40	2世代	プラスチックごみが出るものはあまり買わない。	スーパーで肉などを買ったときに小さいビニール袋に入れる。	B
高岡	男	40	夫婦のみ	できるだけプラスチック製品のゴミは、「食品トレイ」洗ってスーパーの回収箱か、市のプラゴミに出すように、普通の燃えるゴミに入れないようにしています。	衣料品の袋は、先日県外のお店で有料だと言われ、自分のバッグに入れて持ち帰りました。確かに、家に帰って捨てるだけなので、良いと思います。マイバッグは常に持っているの良いと感じました。	・カフェなどのコーヒー等の容器を、持ち帰り以外の店内での飲食のときは、陶器などの繰り返し使用できる物にする ・プラスチック以外の物で自然にやさしい商品が安価であればいいと思います。
高岡	女	40	3世代	プラスチック容器は出来るだけ洗い、リサイクルの袋に入れる。(削減にはなっていませんが)	食品トレイのプリント。白色はスーパーのリサイクルの出せるが、プリントしてあるものは、リサイクル(プラ用)袋に入れて出さなければならぬ。最終的に行く先は同じなのかわかりませんが、もし違うのなら、統一ならいいと思います。	コンビニで買い物するとき、割り箸、おしぼりをもらわない(欲しいときだけもらう)。
高岡	女	40	2世代	分別をしてリサイクルゴミになるように心掛けている。	B	B

				問2	問3	問4
市町村	男女	年代	家族構成	(7)その他、上記以外で普段している「プラスチックごみの削減の取組み」があれば、ご記入ください。	(17)その他、「プラスチックに関するサービス」で過剰だと思うものがあれば、ご記入ください。	(20)その他、「使い捨てプラスチックの削減の取組み」で協力できると思うものがあれば、ご記入ください。
高岡	女	40	その他	「詰め替え」ができる商品を選ぶ。(化粧品やシャンプー等)	・スーパーで店員さんが生鮮食品をビニール袋に入れてくれるが正直不要と思う。(向こうもサービスでやってくれているので、不要です、とは言えないが) ・勤め先で、決まったところから定期的に届く書類が必ずビニール袋に入っている。しっかりしたビニール袋なので、保管しておくが、結局使わずたまる一方。この場合のビニール袋は不要と思います。紙袋に入れるのでいいと思うときがある。	モノを買った時は過剰包装等はできるだけ断る。(でも、プレゼントや旅行等非日常と思われる場合はケチケチしたくないしされたくないです。)
高岡	女	40	2世代	・ケーキを買うとき、真夏以外は保冷剤は入れないと断っている。	・保冷の宅配便で干物が届いたとき、発泡スチロールのケースに入れて送ってくるのがよくあるが、段ボール箱でよいのではないと思う。(ダンボールはリサイクルに出せるので処分もラク。) ・小さいものは、レジ袋ではなく、お買い上げシールで十分。	ダイレクトメールで透明なプラスチック袋に宛名シールを貼って送ってくるものがあるので、送付を止めてもらうように連絡する。
高岡	男	50	1人	B	B	マイバッグ。過剰包装をなくす。
高岡	男	50	2世代	スーパーへは、5円の袋を穴があくまで再利用。ドラッグストアも同じ。毎回5円払っていたら袋がたまるので。	コンビニ、スーパーなどで緑の飾りなどは、ほんとうに止めてもらいたい。必要ない。おかずのプラスチック製のカップは必要に応じて。	B
高岡	女	50	3世代	100均ショップの商品、ほとんどプラスチックですぐ壊れるので、買わなくなった。	レジ袋持参推進しているスーパー、ドラッグストアで肉や魚を買うと、薄い袋に入れようとする。ごみにしかならないので、正直迷惑する。ばら売りの野菜、果物も、商品の横にある袋を使わずにスーパーのかごに入れているのに、レジでわざわざ小袋に入れてくれる。要らないから、そのままかごに入れたのに…。	今、使い捨てコンタクトレンズを使用しているが、他のものに代えようと思う。 歯磨き粉については、スクラブ等に利用されているマイクロビーズが、体内にも溜まると聞いて、不使用のものに変更しました。
高岡	女	50	夫婦のみ	B	B	配る袋や容器を減らそうという考え方もよいけど、プラスチック用品を道、川、海に捨てないという教育を小さい頃から学校などで徹底的に教えた方がよいのでは？
高岡	女	50	2世代	・洗剤、柔軟剤は、詰め替え用を買い、ボトルを買わず、そのまま詰め替え用を使っています ・家庭で出た(買った)レジ袋は職場に持って行き、最後までゴミ袋として使用している	お土産屋さんで複数の品物を購入した際、個数分のレジ袋が入っている時。(いつも余ってしまう)	・芳香剤の空容器がたくさん出ると感じます。詰め替え用があればいい ・個包装の物を、可能な限り、5個又は10個単位の大袋に変更し販売できるのでは…(入浴剤とか食品以外) ・蓋付きトレイ容器の販売を極力やめて、袋入り販売に変更したらどうか？
高岡	女	50	1人	・実際にあまり買い物の中身を増やしたくないから、要らないものは要らないという。 ・ビニール製のもの、小さいのは捨てる時が大変です。よく燃えるゴミの所に捨ててしまいます。 ・昔のように、新聞とか包装紙の要らないもので物を包むようにしています。 ・昔の人のことを考えて、物を捨てることを考えて、生活するようにしています。	B	B
高岡	男	60	3世代	過剰な包装はなるべく簡単にしてもらおう。	B	B
高岡	男	60	2世代	プラスチックの容器をきちんと洗い、おかしを盛ったり、かんたんな惣菜、そして漬物を入れて出し、けっこう使って(回数)から捨てている。	高い和菓子の1個ずつの包装が「つつみすぎ」と思う。	①おしぼりは、徹底的に裏返して使い切っている。 ②ストロー使わず、マイ箸・マイスプーンを家族で使っている。 ③イベントは、リユースのものを使ってほしい。(協力します)

				問2	問3	問4
市町村	男女	年代	家族構成	(7)その他、上記以外で普段している「プラスチックごみの削減の取組み」があれば、ご記入ください。	(17)その他、「プラスチックに関するサービス」で過剰だと思うものがあれば、ご記入ください。	(20)その他、「使い捨てプラスチックの削減の取組み」で協力できると思うものがあれば、ご記入ください。
高岡	女	60	2世代	コンビニなどでスプーンや箸をもらうのを断る	B	B
高岡	女	60	夫婦のみ	買い物にはマイバッグのかわりに空き箱を利用している。旅行では、旅行先の歯ブラシセットを利用する。仕事ではなるべくマイボトルを使用する。	B	B
高岡	女	60	その他	B	B	今いわれても思いつきませんが、何か提案があれば協力したいと思います。
高岡	女	60	2世代	B	B	マイクロプラスチックゴミの問題がテレビでもよく取り上げられていますが、このような実態をもっともっと知れわたり、各々が意識して生活できるよう願います。自分でも意識するようになってから、捨て方、使い方削減でき、続けたいと思います。
魚津	女	30	2世代	できるだけ、資源回収場に持っていく。	B	B
魚津	女	30	2世代	家で洗って使っている。(コンビニでもらったストローなど)	B	B
魚津	女	30	2世代	B	(13) ←ホテルは、サービスの最上級を求められるもの。無料であることは変えずに、必要な方はフロントに申し出る、もしくはフロントの横に(フロントの目の届くところに)置いておき、自由に持っていけるようにすれば良いと思う。	地域によって分別の仕方が違うのでよく分からない。全国統一にしたらい。その上で、リサイクルできる物は分別し、リユースしたい。
魚津	女	40	3世代	資源物回収ステーションに出している。	B	B
魚津	女	40	3世代	リサイクルに出している。紙容器を作ったほうがよい。	B	使えるものは洗って使う。
魚津	女	40	2世代	B	・二重に商品をラップしてある。 ・ラップの量が多い。商品(野菜や水ものをレジ袋に入れる前にビニール袋に入れる)の二重包装。	B
魚津	男	50	3世代	B	再利用できないものは不要。	味移りや色移りがあるのでバランや小カップは必要と思う。
魚津	男	50	3世代	B	お店の店頭で置かれている商品包装は本当に過剰だと思います。贈答品の包装も多過ぎます。	・プラスチック容器削減に取組んでいるメーカー、スーパー、コンビニを優先的に利用する。 ・買物する時に容器包装も考慮して決める。 ・私は自営業(販売店)をしているので、メーカー、問屋さんに問いかけます。 ・家族、友人、知り合いとの話題で問いかけます。
魚津	男	60	2世代	ペットボトルは、なるべく家でお茶を沸かして、使わないようにしている。	B	・家庭では燃えるゴミと燃えないゴミの区別をしています。
魚津	女	60	1人	地域ではマイバッグで買い物するのが当たり前になってきており、急にスーパー袋が必要になった時は、お金を払って買っている。又、リサイクルも常識で、家を出たプラスチック類(金物・ペットボトル等もだが)は、きれいに洗ってリサイクルに出している。プラスチックでもなくて良い素材を使って、代用できる物があれば、工夫してもらい、削減してもらいたい。	B	お年寄りや身体が不自由な方や赤ちゃんなど、どうしても出先で、飲み物でストローが必要な方もいると思う。プラスチックという素材を紙などに代えて、必要な方には、無料で提供できるようにした方がよいと思う。何でもすべてお金をいただくのではなく。
氷見	男	20		・水筒の利用 ・アイスやヨーグルト、ゼリーは自宅のスプーンを使って食べる。	B	・きれいに洗って汚れを取り、再資源に出す
氷見	女	20	3世代	コンビニで少量のものしか買わないときは、袋を断る。	パン屋さんで、1つずつのパンを1つずつの袋に入れること。全てまとめて紙袋でもよいと思う。	B

				問2	問3	問4
市町村	男女	年代	家族構成	(7)その他、上記以外で普段している「プラスチックごみの削減の取組み」があれば、ご記入ください。	(17)その他、「プラスチックに関するサービス」で過剰だと思うものがあれば、ご記入ください。	(20)その他、「使い捨てプラスチックの削減の取組み」で協力できると思うものがあれば、ご記入ください。
氷見	女	50	2世代	B	スーパーのレジ袋のほかのナイロン袋（ロールで設置してある物）	B
氷見	女	50	1人	・ボールペンなど、換え芯インクを使用している。 ・洗剤やシャンプーなど詰め替えを利用し、空ボトルの削減に努めている。	B	B
氷見	女	60	2世代	・購入先により、マイバッグ持参を考えていること。 ・後は、分別にてプラスチックゴミを出していること、ぐらいです。	・ファストフード店でのカップ、フォーク、スプーンやフタについては、やはり過剰のケースもあると思います。 ただ、お寿司のバランや食品トレイ、弁当の中の仕切りカップなど、見た目や他の素材の色やにおいを防ぐため、業者の方も苦労していると思います。（食品は特に難しいと思います。） 単にプラ削減だけで、全てがダメというような考え方は違うと思う。代替品の事も考えていくのが、当面の課題かなと考えています。	・レジ袋が有料もしくは購入先で出してもらえない時は、マイバッグで対応しようと考えています。 ・購入先で、商品が小さい（小数）もしくはレジ袋等に入らない（例えばトイレトペーパー等）時は、商品にその店のテープを張ってもらいますが、衣類などの場合、袋なしで店外に持ち出すと「万引き」などと誤解されるケースもあると思うので、この辺の対応も考えていくべきだと思います。
氷見	女	60	3世代	「問1(5)」に対し、ストローが無ければ特にお願いもせず飲みます。付いてくると使用します。 「(7)」に対し、コンビニでレジ袋が普通にもらえる事やスーパーでもレジ袋が無料の所があって取組みに矛盾がある。	おはし、おしぼり等をお付けしますか？と聞かれるとタダならもらっておこうと今までもらっていました。ケーキ用のスプーンやおしぼりは使うことも無くゴミです。改めていきます。ですが必要な時もあるのでその際はできれば無料でお願いしたい。	1
滑川	女	20	3世代	B	チョコレート、クッキー、ゼリーなど、1つ1つ包んであるものが昔に比べると多くなっている。役員会などあるときは、衛生面ではとても安心ではあるけれど、海外からの資源に頼っている日本なのに、ムダ使いが多いと感じる。 壊れやすい商品は別として、箱に入っているのにさらに箱に入れ、また箱に入っていたり、緩衝材でやたらと包まれていたりすることがある。	ストローやレジ袋は要らないと言う。買った量が少ない場合は、お店の目印になるセロハンテープをはってもらう...など、自分では気をつけている。
滑川	女	30	2世代	世の中プラスチック製のものが多すぎる。それが普通に販売されたり提供されているから、当たり前で使用されているだけ。 プラスチック製のもので過剰包装されているものは、極力購入しないようにはしている。	B	使い捨てされるなら、はじめから配布しない。 「便利で当たり前」という意識を変える。ここに書いてある使い捨てプラスチックはなくても暮らしていける。 「SDGs」 英語で略されると誰でもわかりづらいです。
滑川	男	40	夫婦のみ	カップめんは、紙製のものしか買わない。	B	B
滑川	男	50	夫婦のみ	B	下着の個包装	あまりできないので、代替品（素材）を開発して欲しい。紙ストロー、木材スプーン他
滑川	女	50	2世代	スーパーで買い物をする際に、必要以外のポリ袋は使用しないよう心掛けている。	B	B
滑川	女	50	2世代	「問1(6)」に対し、準備（施設やショッピングセンター等）。傘袋は使いません。濡れた傘は、持ち込まず。（普段車（マイカー）移動なので）	スーパー等で、バックに入っている豆腐を、さらに小さなビニール袋に入れられてしまっていることがある。漬物や刺身ならまだわかるが、豆腐には必要ないかと思う。ずっとレジの方の手元をみているわけではないので、気がついたら使われていた...ということがけっこうある。気がついてまにあえば、入れられる前に、「そのままいいです。」と断るが、...	マイボトルを持参すれば削減できるものもあれば、今すぐ行動にうつせませす。計り売りできるのもの。
滑川	男	60	その他	B	B	・プラスチックのリサイクルにもっと新技術を ・リサイクルの簡単な商品を

				問2	問3	問4
市町村	男女	年代	家族構成	(7)その他、上記以外で普段している「プラスチックごみの削減の取組み」があれば、ご記入ください。	(17)その他、「プラスチックに関するサービス」で過剰だと思うものがあれば、ご記入ください。	(20)その他、「使い捨てプラスチックの削減の取組み」で協力できると思うものがあれば、ご記入ください。
滑川	女	60	2世代	スーパーのレジで店員がプラスチック小袋に入れてくれるのを断ることがある。(汁のでない物)	B	B
黒部	男	30	2世代	B	・みやげものの個装 ・お菓子の個装	B
黒部	男	30	1人	B	B	買い物の際は、マイバッグの持参。
黒部	男	40	2世代	使ったプラスチックは、洗って乾かし、地区のリサイクル収集日に出している。	コンビニエンスストアのセルフコーナーのマドラー(←ナイロン袋入り)。 →木製でもよいのでは。1つずつナイロンでの個包は不要。	B
黒部	女	40	2世代	もやせないごみはすべて洗ってリサイクルごみとして出している。	B	B
黒部	男	50	その他	プラスチックごみはリサイクルへ出している。	B	B
黒部	男	50	夫婦のみ	ポイ捨てしないことが海に流れないにつながるので、もっとマナーから徹底すべき。	スーパーの販売品はすべて包装されている。	包装の過剰品はいらないので、新聞紙で包む。レジ袋は使わない。
黒部	女	50	2世代	代用品が必要。(プラスチックに代わるもの)	B	B
黒部	女	50	夫婦のみ	傘袋は使ったことはないです。	B	B
黒部	女	60	夫婦のみ	B	スーパーのトレイは使い過ぎです。すぐ溜まり、置き場所に困る。環境にも悪い。	B
砺波	女	20	1人	なるべくプラスチック製のものを買わない。	B	お菓子の袋を紙製にする。
砺波	男	40	2世代	シャンプーやリンス、洗剤は詰替え用を購入する。	B	B
砺波	男	50	3世代	B	B	私達個人が出来る協力、といわれれば、ずっと(家族が)(20年ほど)してきているつもり。これからは、プラごみを作り出している大企業(ペットボトル本体や本体に巻いてある表示ほか)が、回収時にはそれ相当の資金を出して、削減に真剣に取り組むことが重要。(菓子等の紙パッケージも同じこと。紙ごみは、今回別件かも知れないが)
砺波	女	50	その他	そんなに飲まないようにしている。紙パックに入っているものを買ったり。	B	B
砺波	男	60	2世代	コンビニでは極力レジ袋を断っている。	B	B
砺波	男	60	2世代	(5)紙パック飲料の場合は、本体に付属のためことわれないが、 (6)傘袋は使わないので? (7)レジ袋はもらうこともあるし、使うこともあるが一回使いではなく複数回使用し、最終的にその機能が果たせなくなった時(複数回再使用している)で一般ゴミ(汚れなどのため再利用不向きのため)に出している。この場合は、「使い捨てプラスチック等」にあてはまるのか? 一般的な、商品の長期使用の考え方と同様に思えば、使い捨ての概念に合致しないが	(4)食品によると思うが、(例を挙げれば)魚の切り身などはトレイが必要では。又、トレイなしの場合、液漏れがない袋などが必要では? (5)後の始末や再利用を考えると、「汚れた→処分へ」と「汚れていない→再利用」とでき、効率的とも思われるが、又作業手間等も考えると合理的(全体のフローを考えると)。そう言う中で考えられたものではないのか。企業にその主旨をしてみてもどうか。	アンケート結果のよりよい活用を期待します。
砺波	女	60	3世代	B	クリーニングのビニール袋、菓子のビニール袋、果物の過重包装(たとえば桃など)	クリーニングのハンガーは返している。
砺波	女	60	2世代	外食、小売店での買い物は、ほとんどありません。	必要のないものは断ります。	B
小矢部	男	50	3世代	自動車修理にリサイクル部品を使用	発泡スチロールやビニール袋に空気を入れた緩衝材。ダンボールで代用できる。	不要な袋、スプーン、ストローなど、断る様にする。

				問2	問3	問4
市町村	男女	年代	家族構成	(7)その他、上記以外で普段している「プラスチックごみの削減の取組み」があれば、ご記入ください。	(17)その他、「プラスチックに関するサービス」で過剰だと思うものがあれば、ご記入ください。	(20)その他、「使い捨てプラスチックの削減の取組み」で協力できると思うものがあれば、ご記入ください。
小矢部	女	50	2世代	・スーパーで量り売りの惣菜を買って、プラスチック（過剰包装もの）をなるべく使用していないものを買うようにしている。 ・プラスチック容器もきれいに洗って、スーパーの回収ボックスにもどしている。	B	スーパーで、昔の八百屋さんの様式で、必要なだけ野菜などは買い物が出来れば、もっとプラスチックを減らせるのではないのでしょうか？
小矢部	男	60	その他	・レジ袋の再利用 ・ペットボトルのリサイクル活動への協力 ・包装容器のリサイクル活動への協力	B	・リサイクル活動のため、コンビニ前にペットボトル入れを置いているが、ほんとうにリサイクルされているのか。 ・削減するのも大事だが、もっとリサイクルを進めるように、国・県の対策を進めるのも重要（補助金をリサイクル企業に増やす）。
小矢部	女	60	夫婦のみ	ペットボトル飲料は飲まないようにしています。	B	ペットボトル飲料は飲まない。
小矢部	女	60	2世代	B	列車の車内販売のコーヒーにマドラーが付いてくるのは砂糖がいらぬ人には不要。携帯用の鉛筆の芯が付いたペンも不要。	ドリンクサービスにストローが置かれなくなった。それについて納得できた。
南砺	男	30	3世代	外食しない	B	食品・医薬品等の「量り売り機器（自販機）」の設置・設備管理運営の業務を行う団体を県が創設し、その投資の呼びかけがあれば協力できるか考えてみたいと思います。 近くその様な業態を持つ会社が民間から現れる可能性は高いと考えられ、先駆けを同業務に専門的知識のある医薬品従業者OBが多い富山県が主導で行い、県内外への収益を見込み呼びかけることがより効果的ではないかと考えます。
南砺	女	40	2世代	できるだけ詰め替えできる物を購入するようにしている。	・玩具のパッケージ、・贈り物のラッピング	B
南砺	女	40	3世代	ボディークリームやシャンプー、リンスの容器を買わず、詰替え用を買うようにしている。	B	生鮮食品は衛生面でも食品トレイに入れるべきだと思う。クリーニングのハンガーは回収に協力したら値引きされるので、このままでよいと思う。ビニール袋はせっかくクリーニングに出したのに汚れたら何のために出したか分からない。本来転倒です。
南砺	男	50	2世代	この様な事があること、あらためて考えさせられます。日々変化していく中、一昔前に戻るような感じでも、皆の役に立ち皆の喜ぶこと。	B	B
南砺	男	60	夫婦のみ	B	B	クリーニング店のハンガーの返却
射水	女	20	夫婦のみ	リサイクル（燃えるゴミに出さない）	B	B
射水	女	20	3世代	B	必要以上にシールがはってある。はがすのに大変です。	B
射水	男	30	1人	スーパーでなるべくリサイクル可能な透明なトレイが付いている商品を買う。ボトル系は一回買えば次回は補充用しか買わない。	飲料系がペットボトルばかり。ボトルならアルミでも代用可能だと思う。	B
射水	女	30	夫婦のみ	肉、魚などの入っていたプラトレイは洗って、スーパーの回収BOXへ持っていく。	B	B
射水	女	30	2世代	B	B	段階を踏んで行わなくてはならず、今まで行ってきたことを突然中止することは、あまりに行政の身勝手だと思う。 関心を持って、できることから、自らの意志で気をつけることから始めるべきだ。
射水	女	40	夫婦のみ	調味液などに使用されているプラスチックは、使用后、プラスチック回収所に出しています。	B	必要がない場合は、自ら「要りません！」と伝えています。

				問2	問3	問4
市町村	男女	年代	家族構成	(7)その他、上記以外で普段している「プラスチックごみの削減の取組み」があれば、ご記入ください。	(17)その他、「プラスチックに関するサービス」で過剰だと思うものがあれば、ご記入ください。	(20)その他、「使い捨てプラスチックの削減の取組み」で協力できると思うものがあれば、ご記入ください。
射水	女	40	2世代	・生ゴミの片付けに水切りネットやゴミ袋は使わず、直接ゴミ袋に捨てる。 ・サランラップはなるべく使わず、タッパを利用する。	B	B
射水	女	40	2世代	B	・化粧品ボトルにフィルムやプラスチック箱 ・アイスクリームのフタの下のフィルム ・生ラーメン、冷し中華2食入にトレイが入っている ・ペットボトルの商品名フィルム ・ドレッシングキャップにフィルム ・醤油ボトルキャップにフィルム ・袋麺5個入りの袋	B
射水	女	40	2世代	弁当箱に弁当を入れて職場、学校に行きます。コンビニで買ったゴミが。(プラスチック)を使用、捨ててしまうため。	ショッピングセンターで、あっちで文具具、こっちで衣料品...とレジごとに買物をすると、それぞれで袋に入れてくれるのは、袋のムダだと思います。	駅で朝よく啓蒙イベントをやっていますが、チラシとティッシュを布袋に入れるのをやめたいと思います。手渡していいのでは...。袋は結局ゴミ袋行きなので。
射水	女	40	2世代	B	プラスチックの利用をなくすことは出来ないのでは、せめて必要かどうか、不必要なのか?で判断する必要がある。(たとえばスーパーで必要以上に袋を貰わないとか)	ダイレクトメールなどの個装のものはやめてほしい。ビニールに紙シールを貼るので、捨てる時、住所などを取るのにめんどう。取れにくいものもある。
射水	男	50	2世代	・包装資材の分別、リサイクル ・梱包ロープ(プラ)の再利用	B	ある小売店では、購入品を一切ショッピングバッグに入れませんが、別段違和感はない。富山県は特にマイバッグ持参率が高く、イコール意識が高いのか、回りの人に合わせたがるのかわからないが、買物袋、商品包装については一歩も二歩も先んじた取組みをすべきだと思う。
射水	女	50	2世代	B	スーパーで〇〇〇円以上の購入なので、と言われ、欲しいわけでもないのにプラスチック製の粗品を渡される。(バケツ、ポウルなど)	B
射水	女	50	2世代	B	B	プラスチックの問題は、地球全体で考えなければならない問題。土に返る素材や、環境を考えた素材を開発し、使用できるように技術力を期待します。安心できる素材をどんどん使用していきたい。
射水	男	60	2世代	①ごみの分別、特にプラマーク商品に関しては、注意して分別 ②ペットボトルの再利用(資源回収など)への協力	商品の過剰包装、梱包が多いので、余りプラスチックを使用していない商品は、価格優位にして(値引き補助金制度)消費者へ購入するインセンティブを与えるようにすればよい。	日々のごみの分別には、特に注意しています。買い物時も過剰包装には留意して、家庭にある買物袋は再利用し、資源回収には最大限の協力を実施します。(3R)
射水	男	60	夫婦のみ	B	・高級なお菓子に限り、外箱、フィルム、カップ、脱酸素剤など、中身より包装が多いものがある。包装にお金がかかっているような気がする。	ゴミ削減のために協力したいという気持ちは十分にあるものの、突発的な買物などの場合は、袋持参は難しいものがあると思います。常に容器や紙袋など持ち歩かなくてはならず、特に小さなお子様がいる家庭では、ただでさえ荷物が多くなか、やはり限度があるかなと。一度に削減されると負担になりがちですが、やはり少しずつ消費者も慣れる様、努力が必要ですね。
射水	男	60	2世代	・外出先でどうしても飲食したい際は、ペットボトルのものを買わないで、袋仕様の物を買っている。	孫のオモチャのほぼ皆、プラスチックのものに1個1個に入れ、袋BOX(箱)に入っている物が多い。袋BOXだけで良いと思う。	B
射水	男	60	2世代	畑などで、ビニールシートを使わない。	B	B
射水	女	60	2世代	・ジュースなどは、紙容器入りの商品を買うようにしている。	・菓子箱の仕切り(紙でもよい)	B
射水	女	60	2世代	B	B	B

				問2	問3	問4
市町村	男女	年代	家族構成	(7)その他、上記以外で普段している「プラスチックごみの削減の取組み」があれば、ご記入ください。	(17)その他、「プラスチックに関するサービス」で過剰だと思うものがあれば、ご記入ください。	(20)その他、「使い捨てプラスチックの削減の取組み」で協力できると思うものがあれば、ご記入ください。
射水	女	60	夫婦のみ	トレイをきれいにスーパーへ返す。	B	ペットボトルのキャップも廃棄物にしない。スーパーへ。
上市	女	20	2世代	B	コンビニの熱いものと冷たいものを分けて袋に入れられる。	B
上市	女	30	2世代	B	生鮮食品、惣菜が2重、3重のラップをされているとき。	B
上市	女	30	2世代	B	プレゼントのラッピングが過剰であるお店もある。二重、三重にしていたり。	B
上市	女	40	3世代	必ずリサイクルに出す	B	B
上市	女	60	2世代	自治体で回収していないリサイクル品の包装トレイは透明容器、ペットボトルのキャップ等を近くのスーパーが回収しているので極力持っていくようにしている。	B	B
立山	男	20	2世代	B	スーパーの食品売り場での、肉や魚などの食品がトレイに入って置かれている。プラスチックから紙製のトレイに代えるべき。	B
立山	女	30	3世代	なるべく、パックのジュースを買う。	B	弁当容器をE00なフードパックに変更する。
立山	男	40	2世代	B	B	(6) 番とか、もう少ししっかり考えた提案がよいと思います。誰でもできる発想。
入善	男	30	2世代	・ペットボトル容器の飲物を購入していますが、飲んだ後は必ずキャップを捨て、ペットボトルは水洗いをし、町の再生広場（リサイクル）へ持参しています。 ・車の中には常にマイバッグ数枚持っている。 ・上着の時期には、ポケットに小型のマイバッグ持参中。	テイクアウトが出来る店の容器がプラ	政府の力で、民間企業へ強制的にプラの使用（製造）を禁止させる強い行政指導をすべき。日本は甘い国だと思います。 最初は、食事に関するすべての容器をプラから紙製又はバイオ容器にすべき。 今やらないと、100年、200年後の未来は無くなりますよ。
入善	女	40		毎日の食品系のプラごみは、リサイクルセンターに持ち込んでいる。	B	B
入善	女	60	2世代	リサイクル可能な物は、リサイクル品回収日に持参。	B	B
朝日	女	40	2世代	スーパーで買い物をする時なるべくビニール包装されないもの（レジでさらにビニール袋で包むのを断る）を買うようにする。食品トレイや食品フィルムはできるだけ資源回収に出すようにする。	パン屋さんで何種類かのパンを買った時に、一個一個パンをビニール袋でくるみ、さらにビニールの袋に入れてくれること。	洗剤やシャンプーなどの詰め替えのものを購入する時に、（たとえば容器を持って行って）量り売りみたいなものがあつたらいいと思う。
朝日	女	50	3世代	B	通販等の宅配の箱の中の空間をうめるナイロン（緩衝材）	B
朝日	女	60	夫婦のみ	B	現状の食品については、プラゴミを出さない様エコバッグ等で改善しているが、衣料、電化製品は昔と変わらずプラスチック、発泡スチロール等使用しているものをもっと改善できないものかと思っています。	衣料品店のショッピングバッグは全て紙製にする。

III まとめ

「使い捨てプラスチック等に関する消費者意識調査」では、問2で「普段行っているプラスチックごみの削減の取組み」を、問3で「小売業・飲食店等におけるプラスチックに関するサービスに対する認識」を、問4で「使い捨てプラスチックの削減の取組みへの協力意向」を、問5で「プラスチック・廃棄物に関する言葉の認知度」を聞いた。

なお、調査結果の分析に当たり、全国（環境省調査）との比較検討を行った。
各設問の調査結果の要点を以下にまとめた。

1. 普段行っているプラスチックごみ削減の取組み

- ・「レジ袋が要らないときは、レジ袋をもらうのを断る」が88%と最も高く、次いで「買い物には、極力、マイバッグを持っていく」が85%、「旅行や出張に出かける際は、自分の歯ブラシセットや髭剃りを持っていく」が65%であった。
- ・男女別でみると、全体として女性の実施率がやや高い傾向にあり、特に「外出の際、ペットボトル飲料はなるべく買わない」は男性のほぼ倍の51%であった。
- ・年代別では、年代が上がるほど実施率が上昇する傾向がみられた。20代は、他の世代に比べ実施率の低い項目が目立ち、特に「マイバッグの持参」や「傘袋の携行」では他の世代との乖離が見られた。
- ・家族構成別では、差異はほとんど見られなかった。ただ、「レジ袋をもらうのを断る」、「マイバッグを持っていく」、「旅行や出張時、自分の歯ブラシセットや髭剃りを持っていく」に対して、一人暮らしや夫婦のみはやや距離を置いている傾向がみられた。
- ・居住市町村別では、顕著な差は見られなかったが、「傘袋の携行」、「マイバッグを持ていく」、「レジ袋を断る」、「旅行時など、歯ブラシセットや髭剃りを携行」の励行率については、富山市や高岡市など人口集積地を抱える自治体が、農山漁村の広がる周辺自治体より僅差ながら高い傾向が見られた。
- ・全国（環境省調査）と比較すると、「傘袋の携行」を除けば、富山県は全体的に実施率が顕著に高い。特に「外出の際、ペットボトル飲料をなるべく買わない」は88%の実施率と最も高く、全国の31%と比べ際立っていた。
- ・全国（環境省調査）との比較結果を男女別でみると、いずれの調査項目でも全体として女性の実施率がやや高い傾向にある。「傘袋の携行」を除けば、富山県は全体的に実施率が高く、なかでも「歯ブラシセットや髭剃りの携行」、「レジ袋をもらわない」、「ストローをもらわない」は1.5～3倍の実施率となっていた。

2. 小売業・飲食店等における「プラスチックに関するサービス」に対する認識（過剰か否か）

- ・「通販等で商品よりも大きな箱で配送される」ことに対して、過剰であると認識している方が8割以上であった。また「バラン（緑のギザギザ）」、「贈答品のお菓子に入ったフォーク・スプーン」、「無料うちわ」も、6割前後の方が過剰としていた。
- ・男女別では、目立った認識差はなかった。ただ、僅差ながら過剰と認識している項目が女性の方がやや多い傾向がみられる。
- ・年代別にみると、僅差ながら、「レジ袋を一方的に入れる」、「一方的におしぼりが付けられる」、「一方的にストローを付ける」では、年代が上がるほど過剰と認識する傾向が見られた。
- ・家族構成別にみると、僅差ながら「一人暮らし」が、「レジ袋を一方的に入れる」、「フォーク・スプーンを一時的に入れる」、「一方的にストローを付ける」では「過剰」の認識が低く、他の家族構成との間で差異が見られた。
- ・全国（環境省調査）と比較すると、「レジ袋」、「フォーク・スプーン」、「弁当容器のおかず専用プラカップ」を除けば、富山県は全体として過剰との認識が高い傾向にあった。

3. 小売店・飲食店等の「使い捨てプラスチックの削減の取組み」への協力意向

- ・「スーパーのレジ袋有料化」が94%と最も高く、「通販等注文品の簡易包装化」、「イベント会場等におけるリユース容器の使用」、「うちわの無料配布の廃止」、「お寿司やお弁当へのバラン廃止」、「生鮮食品容器の簡易包装化、紙包装化」が80～90%台であった。
- ・男女別で見ると、差異はあまり見られない、という結果となった。普段行っている「使い捨てプラスチック削減の取組み」では、女性がより積極的に実践している姿勢が確認でき、「過剰なサービス」か否かの認識でも僅差ながら女性の方が過剰と認識している項目がやや多いことが確認できたのは対照的であった。
- ・年代別にみると、僅差ながら、「レジ袋を無料で配布しない」、「ストロー、箸、フォーク、スプーンを無料で配布しない」、「おしぼりを無料で配布しない」、「飲料カップにフタをつけない」、「持ち帰り用の飲料カップを無料で提供しない」では、年代が上がるほど協力意向を示す傾向が見られた。
- ・家族構成別にみると、総体としては顕著な差異は見られなかった。ただ「一人暮らし」は、僅差ながら、「コンビニのレジ袋を無料配布しない」、「生鮮食品の容器を、簡易包装や紙製包装で提供する」、「弁当容器のおかずを別カップに入れたい」、「飲料カップにフタをつけない」、「傘袋を配布しない」等で協力の意向が低くなっており、他の家族構成との間でやや差異が見られた。
- ・全国（環境省調査）と比較すると、富山県は全項目で協力意向がかなり高かった。

4. プラスチック・廃棄物に関する言葉の認知度

- ・「プラマーク」の認知度（言葉も意味も知っている割合）が64%と最も高く、次いで「海洋プラスチックごみ」が57%、「マイクロプラスチック」が42%、「3R」が33%と続き、「SDGs」は9%と最も低かった。
- ・男女別では、それぞれ、女性が「3R」や「プラマーク」で、男性が「SDGs」や「海洋プラスチックごみ」、「マイクロプラスチック」でやや認知度が高かった。
- ・年代別では、30代が「3R」や「SDGs」の認知度が高く、50代、60代以上で「プラマーク」や「海洋プラスチックごみ」、「マイクロプラスチック」の認知度が高くなる傾向がうかがえた。一方、20代は全体として認知度が低い傾向がみられた。
- ・家族構成別、居住地域別ともに、認知度に明確な差異はなかった。
- ・全国（環境省調査）と比較すると、概ね富山県は認知度が高かった。
- ・富山県民は、「プラマーク」は64%と全国（69%）よりやや低いものの、「海洋プラスチックごみ」が57%（全国：27%）、「3R」が33%（同：27%）、「マイクロプラスチック」が42%（同：21%）、「SDGs」が9%（同：4%）となっており、特に「海洋プラスチックごみ」と「マイクロプラスチック」については2倍以上とかなり認知度は高かった。

5. 言葉の認知度と協力意向との間の相関

- ・「言葉も意味も知っている」回答者は、支持する「使い捨てプラスチックの削減（リデュース・リユース）」対策が明瞭である傾向が確認できた。
- ・「言葉のみ知っている」回答者は、「言葉も意味も知っている」回答者に比べ、言葉の種類やその専門度に関係なく、協力意向も「中途半端」という傾向がうかがえた。
- ・「言葉も意味も知らない」という回答者は、言葉の認知度レベルの高低によって正反対の傾向となった。「認知度が高い言葉」を知らない回答者は、「使い捨てプラスチックの削減（リデュース・リユース）」への協力意向が相対的に高かったが、対照的に「認知度が低い言葉」を知らない回答者は多くの項目に対して協力意向がかなり低くなる傾向が見られた。
- ・上記3つの分析と考察から、「言葉の認知度が高いと協力意向も高くなる傾向が見られる」という「言葉の認知度と協力意向との正相関」がある程度確認できた。
- ・認知度を高める「教育」や「広報」と、「リデュース・リユースへの協力意向」の強弱との相関を確認する必要があるが、「言葉への認知度を高めることによって、リデュース・リユースへの協力意向も高めることができる」という可能性があることが確認できた。

資料 調査票

「使い捨てプラスチック等に関する消費者意識調査 調査票」の原票を、次ページ以降に添付した。

使い捨てプラスチック等に関する消費者意識調査 調査票 (190001)

◇ご回答方法

- ・ 調査票を受け取られたご本人が回答してください。
- ・ 各質問について、選択項目から回答をそれぞれ1つ選び、○で囲んでください。
- ・ 「その他」を選択された場合は、その内容をカッコ内に記載してください。
- ・ 同封の返信用封筒に本調査票を入れて7月10日(水)までに投函してください。

◇問い合わせ先

使い捨てプラスチック等に関する消費者意識調査 実施事務局
 <電話> 076-444-0035 <受付時間> 平日 9:00~17:00 (土曜、日曜、祝日を除く。)
 <所在地> 〒939-8790 富山市湊入船町 3-30 (株)ジェック経営コンサルタント内
 ※本調査業務は、富山県が(株)ジェック経営コンサルタントに委託して実施しています。

(性別・年代・家族構成について)

問1 あなたの性別・年代・家族構成を教えてください。【それぞれ1つを○で選択】

性別	男	女				
年代	20代	30代	40代	50代	60代~	
家族構成	一人暮らし	夫婦のみ	二世帯同居	三世帯同居	その他()	

(普段の取組みについて)

問2 あなたが普段している「プラスチックごみの削減の取組み」を教えてください。

【それぞれ「はい」または「いいえ」から1つを○で選択】

(1) 買い物には、極力、マイバッグを持っていく。	はい	いいえ
(2) レジで袋が要らないときは、レジ袋をもらうのを断る。	はい	いいえ
(3) 外出する際は、マイボトルを持っていき、ペットボトル飲料をなるべく買わないようにする。	はい	いいえ
(4) 旅行や出張に出かける際は、自分の歯ブラシセットや髭剃りを持っていく。	はい	いいえ
(5) カフェ、ファストフード店等で、ストローをもらうのを断る。	はい	いいえ
(6) 雨天時には、傘とともに傘袋を持って出かける。	はい	いいえ
(7) その他、上記以外で普段している「プラスチックごみの削減の取組み」があれば、ご記入ください。		

次のページに続きます。

(サービスに対する認識について)

問3 小売店・飲食店等が提供する「プラスチックに関するサービス」に対して、過剰と思うかどうかを教えてください。【それぞれ「はい」または「いいえ」から1つを○で選択】

(1)小売店のレジで、店員がレジ袋を、商品購入者に必要かどうか確認せずに入れる。	はい	いいえ
(2)小売店のレジで、店員が箸・フォーク・スプーンを、商品購入者に必要かどうか確認せずに入れる。	はい	いいえ
(3)食料品購入時に、使い捨てのおしぼりが付いてくる(店員が商品購入者に必要かどうか確認せずに入れる)。	はい	いいえ
(4)生鮮食品が使い捨ての食品トレイに入っている。	はい	いいえ
(5)小売店等で販売されている弁当容器の中で、おかずをさらにプラスチック製のカップに入れる。	はい	いいえ
(6)お寿司やお弁当にバラが入っている。	はい	いいえ
(7)小売店で量り売りしているものの脇に無料のプラスチック袋が置いてある。	はい	いいえ
(8)カフェ、ファストフード店等で、店員が商品購入者に必要かどうか確認せずにストローをつける。	はい	いいえ
(9)カフェ、ファストフード店等で飲料を購入した際、カップにフタをつける。	はい	いいえ
(10)贈答品のお菓子里、個数分のフォークやスプーンが入っている。	はい	いいえ
(11)衣料品店において、店員が商品購入者に必要かどうか確認せずに、ブランド名等が入ったショッピングバックに入れて商品を渡す。	はい	いいえ
(12)クリーニング店で、クリーニング済みの衣類等をハンガーにかけたりビニール袋に入れた状態で引き渡す。	はい	いいえ
(13)ホテル、旅館等で、無料のアメニティグッズ(歯ブラシセット、かみそり)が部屋に置いてある。	はい	いいえ
(14)街中やイベント等で、無料でうちわが配布される。	はい	いいえ
(15)通販等で購入した際に、商品よりもかなり大きな箱、包装で配送される。	はい	いいえ
(16)雨天時に、商店等の入り口で、プラスチック製の傘袋が提供される。	はい	いいえ
(17)その他、「プラスチックに関するサービス」で過剰だと思うものがあれば、ご記入ください。		

次のページに続きます。

(取組みへの協力について)

問4 小売店・飲食店等が実施する「使い捨てプラスチックの削減の取組み」に対して、協力できると思うかどうかを教えてください。【それぞれ「はい」または「いいえ」から1つを○で選択】

(1)スーパーのレジ袋を無料で配布しない(必要な場合は購入)。	はい	いいえ
(2)コンビニのレジ袋を無料で配布しない(必要な場合は購入)。	はい	いいえ
(3)ストロー、箸、フォーク、スプーンを無料で配布しない(必要な場合は購入)。	はい	いいえ
(4)使い捨てのおしぼりを無料で配布しない(必要な場合は購入)。	はい	いいえ
(5)生鮮食品の容器を、簡易包装(ビニール袋、ノントレイ)や紙製包装で提供する。	はい	いいえ
(6)生鮮食品の容器を、使い捨て食品トレイに代わり、繰り返し使用できるデポジット容器※で提供する。 [※ 容器の預かり金を上乗せして販売し、使用后、所定の場所に返却された場合に預かり金を返す仕組みのこと。ビール瓶や一升瓶に導入されています。]	はい	いいえ
(7)小売店等で販売されている弁当容器のなかでおかずを別のカップに入れない。	はい	いいえ
(8)お寿司やお弁当にバランを入れない。	はい	いいえ
(9)小売店で量り売りしているものは、持参した容器に入れる(持参していない場合は容器を購入)。	はい	いいえ
(10)カフェ、ファストフード店等で飲料カップにフタをつけない(必要な場合は購入)。	はい	いいえ
(11)カフェ、ファストフード店等で持ち帰り用の飲料カップを無料で提供しない(必要な場合は購入)。	はい	いいえ
(12)イベントやお祭り会場の食品・飲料はリユース容器で提供する(空になった容器は専用の回収BOXに戻す)。	はい	いいえ
(13)贈答品のお菓子であっても、フォークやスプーンを無料で入れない(必要な場合は購入)。	はい	いいえ
(14)衣料品店においてショッピングバッグを無料で配布しない(必要な場合は購入)。	はい	いいえ
(15)クリーニング店のハンガー、袋を無料で配布しない(必要な場合は購入)。	はい	いいえ
(16)ホテル、旅館等で、アメニティグッズ(歯ブラシセット、かみそり)を部屋に無料で置かない(必要な場合は購入)。	はい	いいえ
(17)街中やイベント等で、うちわを無料で配布しない。	はい	いいえ
(18)通販等で注文された商品を、簡易包装で配送する。	はい	いいえ
(19)傘立てを設置して、プラスチック製の傘袋を配布しない。	はい	いいえ

次のページに続きます。

(※問4の続き)

(20)その他、「使い捨てプラスチックの削減の取組み」で協力できると思うものがあれば、ご記入ください。

(プラスチック・廃棄物に関する言葉について)

問5 最後に、次のプラスチック・廃棄物に関する言葉についてご存知か教えてください。

【それぞれ1～3から1つを○で選択】

	知っている 言葉も意味も	意味は知らない	言葉は知っているが、 知らない	言葉も意味も 知らない
(1) 3 R	1	2	3	
(2) プラマーク	1	2	3	
(3) S D G s	1	2	3	
(4) 海洋プラスチックごみ	1	2	3	
(5) マイクロプラスチック	1	2	3	

質問は以上です。ご協力いただきまして、ありがとうございました。

— 以 上 —